

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 月		工事概要	建築工事	
契約番号	2026000641			みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ	
路線名	みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ			・構造：木造 平屋建て	
工事等名	みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ建築工事			・延床面積 A=15.76㎡	
				建築工事 一式	
			電気設備工事 一式		
工事等場所	南相馬市 鹿島区北右田字大橋 地内		機械設備工事 一式		
			外構その他工事		
総工事費	当初請負		仕様概要	福島県建築・設備工事共通仕様書に準じて入念に施工のこと。	
	当初設計			請負者は、工事に用いる資材において規格、品質が条件を	
	変更請負			満足するものについては、県内産品を優先使用すること。	
	変更設計			詳細は監督員の指示による事。	
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000641)		
みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ建築工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
建築工事		
電気設備工事		
機械設備工事		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ建築工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☐ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☒ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

○ 今回 工事箇所



鹿島区

(工事価格)

()

()

[illegible]

[illegible]

公衆トイレ								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接仮設		1		式			001	
土工		1		式			002	
地盤補強		1		式			003	
鉄筋		1		式			004	
コンクリート		1		式			005	
型枠		1		式			006	
防水		1		式			009	
タイル		1		式			011	
木		1		式			012	
屋根及びとい		1		式			013	
金属		1		式			014	
左官		1		式			015	
建具		1		式			016	
塗装		1		式			018	
内外装		1		式			019	
ユニット及びその他		1		式			020	
計								

[illegible]

公衆トイレ					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		001
計					
土工		1	式		001
計					
地盤補強		1	式		001
計					
鉄筋		1	式		001
計					
コンクリート		1	式		001
計					
型枠		1	式		001
計					
防水		1	式		001
計					
タイル		1	式		001
計					
木		1	式		001
計					
屋根及びとい		1	式		001
計					

公衆トイレ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

公衆トイレ 木						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
●構造材						(コメント)
構造材 土台	米つがKD 防腐注入 105×105×3000	3	本			木 1
構造材 土台	米つがKD 防腐注入 105×105×4000	4	本			木 2
構造材 管柱	杉KD 無等級 105×105×3000	20	本			木 3
構造材 小屋束	杉KD 無等級 90×90×3000	1	本			木 4
構造材 桁梁 G12	米松KD 無等級 105×120×3000	5	本			木 5
構造材 桁梁 G12	米松KD 無等級 105×120×4000	1	本			木 6
構造材 桁梁 G15	米松KD 無等級 105×150×3000	4	本			木 7
構造材 桁梁 G15	米松KD 無等級 105×150×4000	1	本			木 8
構造材 母屋・棟木	杉KD 無等級 90×90×3000	6	本			木 9
構造材 母屋・棟木	杉KD 無等級 90×90×4000	4	本			木 10
構造材 垂木等	杉KD 無等級 45×60×4000 垂木	27	本			木 11
構造材 垂木等	杉KD 無等級 60×60×4000 垂木	3	本			木 12
構造材 間柱等	杉KD 無等級 45×90×3000 間柱、ホート継手 受材、筋交い、窓台まぐさ	74	本			木 13
構造材 下地材	杉KD 無等級 縦胴縁、野縁	0.3	m3			木 14
構造材 板材	杉KD 無等級 破風、鼻隠、小屋筋交	0.1	m3			木 15
構造材 枳材	米つがKD 無節	0.1	m3			木 16
構造材 野地板	構造用針葉樹合板 特類 12×910×1820	17	枚			木 17
土台気密パッキン	W105	11.7	m			木 18
小計	(構造材料費)					(小計)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

公衆トイレ 内外装						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外装)						(コメント)
外壁材	窯業サイディング 厚16 金具止工法	41.8	m ²			内外装 1
外壁材役物	窯業サイディング 厚16用	10.3	m			内外装 2
外壁 透湿防水シート下張り	JIS A 6111同等品	41.8	m ²			内外装 3
防虫通気材	W18用 樹脂製	21.3	m			内外装 4
断熱グラスウール	壁 厚100 24kg/m3	45.7	m ²			刊行物 6 施工P416 コストP376
断熱グラスウール	天井 厚100 24kg/m3	14.8	m ²			刊行物 7 施工P416 コストP376
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	6.2	m ²			B0-538431 260701A-2 市場
天井 有孔けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	2.3	m ²			代価表 0009
小計						(小計)
(内装)						(コメント)
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボード 下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	43.7	m ²			代価表 0010
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボード 下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	1.1	m ²			代価表 0011
壁 ラワン合板張り	厚9.0 1類	7.5	m ²			代価表 0012
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	14	m ²			B0-538431 260701A-2 市場
廻縁	塩ビ製 突付	25.9	m			刊行物 8 施工P424 コストP376
小計						(小計)
計						

[illegible]

公衆トイレ		電灯設備		電灯幹線		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm ²	16	m			E0-132511 260701A-2 市場
EM-CEケーブル	8mm ² - 3C ヒット・天井	5	m			E0-432631 260701A-2 標準
EM-CEケーブル	8mm ² - 3C FEP内 (PF・CD)	2	m			E0-432631 260701A-2 標準
EM-CEケーブル	8mm ² - 3C 管内	3	m			E0-432631 260701A-2 標準
EM-CEケーブル	8mm ² - 3C 露出	1	m			E0-432631 260701A-2 ※標準
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	3	m			E0-131133 260701A-2 市場
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	2	m			E0-131133 260701A-2 市場
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 28mm	1	m			E0-131133 260701A-2 市場
硬質ビニル電線管 (VE)	露出配管 28mm	3	m			E0-131131 260701A-2 市場
金属製 アウトレットボックス(カバー付)	中四角 深型 D54	1	個			E0-131311 260701A-2 市場
金属製 スイッチボックス(カバー付)	5個用	1	個			E0-131313 260701A-2 市場
引込金具	R形アーム	1	個			代価表 0013
分電盤	屋内露出型 樹脂製露出型 8回路	1	面			代価表 0014
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m	2	か所			E0-134132 260701A-2 市場
接地極埋設標	金属製	2	枚			E0-134141 260701A-2 市場
計						

公衆トイレ		電灯設備		電灯、コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 - 125V	3	個			E0-531192 260701A-2 標準
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	3	個			E0-531192 260701A-2 標準
屋外入線カバー	防雨入線カバー	1	個			E0-531156 260701A-2 協議
非常用押釦	300V6A プレート付	1	個			代価表 0015
ジョイントボックス	操作ユニット用	4	個			代価表 0016
操作ユニット	2回路用 プレート付	3	個			代価表 0017
人感センサー 親機	天井埋込型 換気扇連動式	1	個			代価表 0018
人感センサー 親機	天井埋込型	2	個			代価表 0019
人感センサー 子機	天井埋込型 換気扇連動式	2	個			代価表 0020
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	1. 6mm- 2C ヒット・天井	48	m			E0-132621 260701A-2 市場
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	1. 6mm- 3C ヒット・天井	24	m			E0-132621 260701A-2 市場
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	2. 0mm- 2C ヒット・天井	5	m			E0-132621 260701A-2 市場
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	2. 0mm- 3C ヒット・天井	9	m			E0-132621 260701A-2 市場
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	1. 6mm- 2C FEP内 (PF・CD)	8	m			E0-132621 260701A-2 補市
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	1. 6mm- 3C FEP内 (PF・CD)	6	m			E0-132621 260701A-2 補市
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	2. 0mm- 2C FEP内 (PF・CD)	2	m			E0-132621 260701A-2 補市
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	2. 0mm- 3C FEP内 (PF・CD)	8	m			E0-132621 260701A-2 補市
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	9	m			E0-131133 260701A-2 市場
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	10	m			E0-131133 260701A-2 市場
金属製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D44	15	個			E0-131311 260701A-2 市場

[illegible]

公衆トイレ 給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 20A	16	m			M0-631132 260701A-2 標準
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 25A	5	m			M0-631132 260701A-2 標準
水道用ポリエチレン管	軟質管・金属製継手接合 地中配管 20A	6	m			M0-631221 260701A-2 協議
水道用ポリエチレン管	軟質管・金属製継手接合 地中配管 25A	35	m			M0-631221 260701A-2 協議
青銅仕切弁	10K(ねじ) 20A	1	個			M0-634611 260701A-2 標準
不凍水抜栓	25A600L	1	個			代価表 0038
不凍水栓柱	20A 1.2m	1	個			M0-732155 260701A-2 標準
横水栓	F12(胴短) - 13A	1	個			M0-732111 260701A-2 標準
弁樹	機 械 バックホウ0.45m3 VC-P (550H)	2	組			M0-733251 260701A-2 標準
給水管 保温	グラスウール 天井内, バイブシャフト内 アルミガラスクロス 20A	3	m			M0-432111 260701A-2 補市
給水管 保温	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 20A	13	m			M0-432111 260701A-2 市場
給水管 保温	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 25A	5	m			M0-432111 260701A-2 市場
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	12	m3			M0-638612 260701A-2 標準
山砂		5	m3			M0-638651 260701A-2 協議
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	7	m3			M0-638621 260701A-2 標準
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.45m3 土砂 DID区間無し 2.0km以下	5	m3			B0-132623 260701A-2 標準
敷きならし	締め固め共	5	m3			B0-432243 260701A-2 補市
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	往復			B0-132716 260701A-2 参考
計						

[illegible]

その他								
名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	丸め	備 考	
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 2ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1			有り	代価表	0001
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費含 2ヶ月	m ²	1			有り	代価表	0002
内部躯体足場	掛払い手間、基本料、賃料、運搬費含 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 1ヶ月	m ²	1			有り	代価表	0003
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 掛払い手間、基本料、賃料、運搬費含 1ヶ月 平屋用	m ²	1			有り	代価表	0004
スリープ補強	125φ	か所	1			有り	代価表	0005
床タイル張り	一般床タイル張Ⅰ類 無ゆう 150mm角 下地モルタル共	m ²	1			有り	代価表	0006
幅木タイル張り	一般床タイル張Ⅰ類 無ゆう 150mm角 下地モルタル共	m	1			有り	代価表	0007
防腐・防蟻剤塗り	塗装素地ごしらえ工程B種共	m ²	1			有り	代価表	0008
天井 有孔けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	m ²	1			有り	代価表	0009
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボート下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	m ²	1			有り	代価表	0010
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボート下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	m ²	1			有り	代価表	0011
壁 ラワン合板張り	厚9.0 Ⅰ類	m ²	1			有り	代価表	0012
引込金具	R形アーム	個	1			有り	代価表	0013
分電盤	屋内露出型 樹脂製露出型 8回路	面	1			有り	代価表	0014
非常用押釦	300V6A プレート付	個	1			有り	代価表	0015
ジョイントボックス	操作ユニット用	個	1			有り	代価表	0016
操作ユニット	2回路用 プレート付	個	1			有り	代価表	0017
人感センサー 親機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1			有り	代価表	0018
人感センサー 親機	天井埋込型	個	1			有り	代価表	0019
人感センサー 子機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1			有り	代価表	0020

その他								
名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	丸め	備 考	
自動点滅器	100V 3A 光電式	個	1			有り	代価表	0021
照明器具 A	LED11.6W ダウンライト	台	1			有り	代価表	0022
照明器具 B	LED9.5W ミラーライト	台	1			有り	代価表	0023
照明器具 C	LED10.7W ブラケット	台	1			有り	代価表	0024
フラッシュ表示灯 E	LED 100V 壁取付金具共	組	1			有り	代価表	0025
洋風便器	(C1200S) 洗浄便座一体型(流動式)、リモコン 温水洗浄便座、蓋固定、掃除口付、 便座蓋なし 2連式SUSタイプ紙巻器 、その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0026
多目的用便器	(C111RS) 床置床排水大便器(高座面式)流動 式、リモコン温水洗浄便座蓋固定、 掃除口付、便座蓋なし 2連式SUSタ イプ紙巻器、その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0027
手すり	樹脂被覆 固定式P型、L=700 その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0028
手すり	樹脂被覆 L型、L=700 その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0029
洗面器	(L410) 壁掛け袖付洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0030
小 便 器	(U520) 壁掛小便器+FV その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0031
手すり	小便器用 SK-203S同等品、630×30 0×1200H その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0032
洗面器	(L420) 壁掛洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0033
化粧鏡	盗難防止型 600×800 その他標準付属品共	枚	1			有り	代価表	0034
マルチシンク	小型 SK500(同等品) 固定金具、横水栓(レバー式)、排水 金物共 その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0035
ベビーチェアー	YKA15S(同等品) その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0036
ベビーシート	YKA25S(同等品) その他標準付属品共	組	1			有り	代価表	0037
不凍水抜栓	25A600L	個	1			有り	代価表	0038

その他

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 2ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1					代価表 0001	
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 3ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1	1				刊行物 1 施工P118 コストP112	
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 9ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	▲0.333	1				刊行物 21 施工P118 コストP112	
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 6ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	0.333	1				刊行物 22 施工P118 コストP112	
計									
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費含 2ヶ月	m ²	1					代価表 0002	
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅰ類 掛払い手間 -	m ²	1	1				B0-131562 260701A-2 標準	
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅰ類 供用1日賃料 修理費含む -	m ²	60	1				B0-131562 260701A-2 標準	
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅰ類 基本料 修理費含む -	m ²	1	1				B0-131562 260701A-2 標準	
仮設材運搬 (シート・ネット類)		m ²	1	1				B0-131688 260701A-2 標準	
計									
内部躯体足場	掛払い手間、基本料、賃料、運搬費含 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 1ヶ月	m ²	1					代価表 0003	
内部躯体足場	掛払い手間 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	m ²	1	1				B0-134403 260701A-2 標準	
内部躯体足場	供用1日賃料 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	m ²	30	1				B0-134403 260701A-2 標準	
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	m ²	1	1				B0-131693 260701A-2 標準	
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費含む 1ヶ月 平屋用	m ²	1					代価表 0004	
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	m ²	1	1				B0-131526 260701A-2 標準	
内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	m ²	30	1				B0-131526 260701A-2 標準	
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	m ²	1	1				B0-131526 260701A-2 標準	
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	m ²	1	1				B0-131694 260701A-2 標準	
計									
スリープ 補強	125φ	か所	1					代価表 0005	
スリープ 補強	200φ 程度	か所	1	1				刊行物 23 積算P196 コストP162	
計									
床タイル張り	一般床タイル張 I 類 無ゆう 150mm角 下地モルタル共	m ²	1					代価表 0006	
床タイル張り	一般床タイル張 I 類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	m ²	1	1				B0-233224 260701A-2 標準	
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	m ²	1	1				B0-536223 260701A-2 市場	
計									
幅木タイル張り	一般床タイル張 I 類 無ゆう 150mm角 下地モルタル共	m	1					代価表 0007	
床タイル張り	一般床タイル張 I 類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	m ²	0.25	1				B0-233224 260701A-2 標準	
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	m ²	0.25	1				B0-536223 260701A-2 市場	
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
防腐・防蟻剤塗り	塗装素地ごしらえ工程B種共	m ²	1					代価表	0008
防腐・防蟻剤塗り		m ²	1	1				B0-238832 260701A-2	協参
塗装素地ごしらえ	一般塗料用 木部 工程B種	m ²	1	1				B0-238801 260701A-2	参考
計									
天井 有孔けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	m ²	1					代価表	0009
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	m ²	1	1				B0-538431 260701A-2	市場
けい酸カルシウム板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	m ²	▲1 ×1.05	1				B0-218431 260701A-2	材料
有孔けい酸カルシウム 板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	枚	0.603 ×1.05	1				刊行物 10	
計								積算P623	
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボード下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	m ²	1					代価表	0010
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	m ²	1	1				B0-538331 260701A-2	補市
けい酸カルシウム板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	m ²	▲1 ×1.05	1				B0-218431 260701A-2	材料
化粧けい酸カルシウム 板	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装	枚	0.454 ×1.05	1				刊行物 12 物価P512	
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	m ²	1	1				B0-538311 260701A-2	補市
計									

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	壁化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装 鋼製、木、ボード下地 目透かし 下張GB-R 厚 9.5共	m ²	1					代価表 0011
01	壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	m ²	1	1				B0-538331 260701A-2 補市
02	けい酸カルシウム板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	m ²	▲1 ×1.05	1				B0-218431 260701A-2 材料
03	化粧けい酸カルシウム 板	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装	枚	0.454 ×1.05	1				刊行物 12 物価P512
04	壁 シーリング せつこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	m ²	1	1				B0-538314 260701A-2 補市
	計								
	壁 ラワン合板張り	厚9.0 1類	m ²	1					代価表 0012
01	壁合板	施工手間	m ²	1	1				B0-234322 260701A-2 標準
02	ラワン合板	厚9.0 1類	枚	0.603 ×1.05	1				刊行物 18 物価P507 積算P614
	計								
	引込金具	R形アーム	個	1					代価表 0013
01	引込金具	R形アーム	個	1	1				その他 1
02	消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)
03	電工		人	0.13	1			○	E0-911161 260701A-2 参資
	その他		式	1	0.25				
	計								

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	分電盤	屋内露出型 樹脂製露出型 8回路	面	1					代価表 0014
01	分電盤	屋内露出型 樹脂製 8回路	面	1	1				盤 1
02	消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)
			K01						
03	電工		人	0.55	1			○	E0-911161 260701A-2 参資
	その他		式	1	0.25				
	計								
	非常用押釦	300V6A プレート付	個	1					代価表 0015
01	非常用押釦	300V6A	個	1	1				配線器具 2 WN4500相当品
02	プレート	金属製 1連用	個	1	1				E0-511151 260701A-2 材料
03	消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)
			K01+K02						
04	電工		人	0.07	1			○	E0-911161 260701A-2 参資
	その他		式	1	0.25				
	計								

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
ジョイントボックス	操作ユニット用	個	1					代価表 0016	
ジョイントボックス	操作ユニット用	個	1	1				配線器具 1 WJ8010G相当品	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.1	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
操作ユニット	2回路用 プレート付	個	1					代価表 0017	
操作ユニット	2回路用	個	1	1				配線器具 3 WTA5822WK相当品	
プレート	金属製 1連用	個	1	1				E0-511151 260701A-2 材料	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01+K02							
電工		人	0.111	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
人感センサー 親機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1					代価表 0018	
人感センサー 親機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1	1				配線器具 4 WTK2614K相当品	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.09	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
人感センサー 親機	天井埋込型	個	1	1				代価表 0019	
人感センサー 親機	天井埋込型	個	1	1				配線器具 5 WTK24818相当品	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.09	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
人感センサー 子機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1					代価表 0020	
人感センサー 子機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1	1				配線器具 6 WTK29318相当品	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.09	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
自動点滅器	100V 3A 光電式	個	1					代価表 0021	
自動点滅器 (光電式)	100V3A(埋込) ホックス共	個	1	1				E1-101008 260701A-2 材料	
消耗品・雑材料		式	0.02	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.163	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
照明器具 A	LED11.6W ダウンライト	台	1					代価表 0022	
照明器具 A	LED11.6W ダウンライト	台	1	1				照明器具 1	
消耗品・雑材料		式	0.05	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.209	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
照明器具 B	LED9.5W ミラーライト	台	1					代価表 0023	
照明器具 B	LED9.5W ミラーライト	台	1	1				照明器具 2	
消耗品・雑材料		式	0.05	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.13	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
照明器具 C	LED10.7W ブラケット	台	1					代価表 0024	
照明器具 C	LED10.7W ブラケット	台	1	1				照明器具 3	
消耗品・雑材料		式	0.05	1				(見積り・刊行物等)	
		K01							
電工		人	0.13	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									
フラッシュ表示灯 E	LED 100V 壁取付金具共	組	1					代価表 0025	
フラッシュ表示灯 E	LED 100V	台	1	1				回転灯 1	
壁面取付金具	スチール製	個	1	1				回転灯 2	
消耗品・雑材料		式	0.05	1				(見積り・刊行物等)	
		K01+K02							
電工		人	0.13	1			○	E0-911161 260701A-2 参資	
その他		式	1	0.25					
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
洋風便器	(C1200S) 洗浄便座一体型(流動式)、リモコン 温水洗浄便座、蓋固定、掃除口付、 便座蓋なし 2連式SUSタイプ紙巻器 、その他標準付属品共	組	1					代価表 0026	
洋風便器	(C1200S) 洗浄便座一体型(流動式)、リモコン 温水洗浄便座、蓋固定、掃除口付、 便座蓋なし 2連式SUSタイプ紙巻器 、その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 1	
大便器 取付	タンク式 温水洗浄便座	組	1	1				M0-531022 260701A-2 市場	
計									
多目的用便器	(C111RS) 床置床排水大便器（高座面式）流動 式、リモコン温水洗浄便座蓋固定、 掃除口付、便座蓋なし 2連式SUSタ イプ紙巻器、その他標準付属品共	組	1					代価表 0027	
多目的用便器	(C111RS) 床置床排水大便器（高座面式）流動 式、リモコン温水洗浄便座蓋固定、 掃除口付、便座蓋なし 2連式SUSタ イプ紙巻器、その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 2	
大便器 取付	高座面形 温水洗浄便座	組	1	1				M0-531022 260701A-2 市場	
計									
手すり	樹脂被覆 固定式P型、L=700 その他標準付属品共	組	1					代価表 0028	
手すり	樹脂被覆 固定式P型、L=700 その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 3	
洗濯機パン 取付	トラップ付き	組	1	1				M0-531081 260701A-2 市場	
計									

その他									
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考
	手すり	樹脂被覆 L型、L=700 その他標準付属品共	組	1					代価表 0029
01	手すり	樹脂被覆 L型、L=700 その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 4
02	洗濯機ハシ 取付	トラップ 付き	組	1	1				M0-531081 260701A-2 市場
	計								
	洗面器	(L410) 壁掛け袖付洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1					代価表 0030
01	洗面器	(L410) 壁掛け袖付洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 5
02	洗面器 取付	自動水栓 1個付 小	組	1	1				M0-531065 260701A-2 市場
	計								
	小 便 器	(U520) 壁掛小便器+FV その他標準付属品共	組	1					代価表 0031
01	小 便 器	(U520) 壁掛小便器+FV その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 6
02	小便器 取付	洗浄弁式床置小便器 小形	組	1	1				M0-531033 260701A-2 市場
	計								
	手すり	小便器用 SK-203S同等品、630×300×1200H その他標準付属品共	組	1					代価表 0032
01	手すり	小便器用 SK-203S同等品、630×300×1200H その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 7
02	洗濯機ハシ 取付	トラップ 付き	組	1	1				M0-531081 260701A-2 市場
	計								

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
洗面器	(L420) 壁掛洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1					代価表 0033	
洗面器	(L420) 壁掛洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 8	
洗面器 取付	自動水栓 1個付 小	組	1	1				M0-531065 260701A-2 市場	
計									
化粧鏡	盗難防止型 600×800 その他標準付属品共	枚	1					代価表 0034	
化粧鏡	盗難防止型 600×800 その他標準付属品共	枚	1	1				衛生器具 9	
鏡 取付	600×800mm程度	枚	1	1				M0-531071 260701A-2 市場	
計									
マルチシンク	小型 SK500(同等品) 固定金具、横水栓(レバー式)、排水 金物共 その他標準付属品共	組	1					代価表 0035	
マルチシンク	小型 SK500(同等品) 固定金具、横水栓(レバー式)、排水 金物共 その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 10	
掃除流し 取付	パッキ無し又はパッキ付き	組	1	1				M0-531064 260701A-2 市場	
計									
ベビーチェアー	YKA15S(同等品) その他標準付属品共	組	1					代価表 0036	
ベビーチェアー	YKA15S(同等品) その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具 11	
洗面器 取付	自動水栓 1個付 大	組	1	1				M0-531065 260701A-2 市場	
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
ベビーシート	YKA25S(同等品) その他標準付属品共	組	1					代価表	0037
ベビーシート	YKA25S(同等品) その他標準付属品共	組	1	1				衛生器具	12
洗面器 取付	自動水栓 1個付 大	組	1	1				M0-531065 260701A-2	市場
計									
不凍水抜栓	25A600L	個	1					代価表	0038
水抜栓	25φ×600L	個	1	1				M1-101030 260701A-2	独自
水抜栓 取付	20A	個	1	1				M0-732150 260701A-2	標準
計									
排気ファン	V-1 パイプ用ファン 150φ×100CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1					代価表	0039
排気ファン	V-1 パイプ用ファン 150φ×100CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1	1				換気扇	1
パイプ用ファン 据付	150φ以下	台	1	1				M0-745274 260701A-2	標準
計									
排気ファン	V-2 パイプ用ファン 200φ×175CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1					代価表	0040
排気ファン	V-2 パイプ用ファン 200φ×175CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1	1				換気扇	2
パイプ用ファン 据付	150φ以下	台	1	1				M0-745274 260701A-2	標準
計									

その他									
名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
A型ハ°リケート°	5ヶ月	m	1					代価表 0041	
01 A型ハ°リケート°	1200×800 基本料	台	1 ×0.833	1				刊行物 16 物価P829	
02 A型ハ°リケート°	1200×800 供用1日賃料	台	150 ×0.833	1				刊行物 17 物価P829	
計									
仮設鉄板敷	敷鉄板 1524×6096×22mm 設置費, 撤去費, 賃料, 整備費, 運搬費共 5ヶ月	m ²	1					代価表 0042	
01 仮設鉄板敷	設置費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	m ²	1	1				B0-131431 260701A-2 標準	
02 仮設鉄板敷	撤去費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	m ²	1	1				B0-131431 260701A-2 標準	
03 仮設鉄板敷	供用1日賃料 敷鉄板 1524×6096×22mm 6ヵ月以下	m ²	150	1				B0-131431 260701A-2 標準	
04 仮設鉄板敷	整備費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	m ²	1	1				B0-131431 260701A-2 標準	
05 仮設敷鉄板運搬		m ²	1	1				B0-131697 260701A-2 標準	
計									
交通誘導員	交通誘導員B	人	1					代価表 0043	
01 交通誘導員	交通誘導員B	人	1	1			○	刊行物 19 物価P881	
その他		式	1	0.25					
計									

見積単価一覧表

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	備 考
水中ポンプ	φ50 0.75kw 揚程10m程度	1	日	180	刊行物 20 物価P806
材料費	EPS20・発泡排水材 建物基礎下厚500mm敷設	1	m ²	33,400	地盤補強 1
材料費	L7 [〃] ク [〃] ル・コの字ビ [〃] ン	1	m ²	2,080	地盤補強 2
労務費	建物基礎下厚500mm敷設	1	m ²	3,920	地盤補強 3
土木シート	材工	1	m ²	1,440	地盤補強 4
間接費	施工図・報告書作成含む	1	式	200,000	地盤補強 5
スクラップ	鉄くず ベ [〃] ー H2	1	t	▲29,800	刊行物 2 物価P795 積算P77
止水材 (ビ [〃] ット打継部)	水膨張性コ [〃] ム弾性シ [〃] ル材	1	m	4,000	防水 1
ケイ酸質系塗布防水	高水圧面一般防水	1	m ²	2,940	刊行物公表 1 施工P254 コストP235
構造材 土台	米つがKD 防腐注入 105×105×3000	1	本	12,800	木 1
構造材 土台	米つがKD 防腐注入 105×105×4000	1	本	5,680	木 2
構造材 管柱	杉KD 無等級 105×105×3000	1	本	4,630	木 3
構造材 小屋束	杉KD 無等級 90×90×3000	1	本	2,730	木 4
構造材 桁梁 G12	米松KD 無等級 105×120×3000	1	本	4,700	木 5
構造材 桁梁 G12	米松KD 無等級 105×120×4000	1	本	6,270	木 6
構造材 桁梁 G15	米松KD 無等級 105×150×3000	1	本	5,890	木 7
構造材 桁梁 G15	米松KD 無等級 105×150×4000	1	本	7,840	木 8
構造材 母屋・棟木	杉KD 無等級 90×90×3000	1	本	4,170	木 9
構造材 母屋・棟木	杉KD 無等級 90×90×4000	1	本	5,570	木 10

構造材 垂木等	杉KD 無等級 45×60×4000 垂木	1	本	1,420	木 11
構造材 垂木等	杉KD 無等級 60×60×4000 垂木	1	本	3,200	木 12
構造材 間柱等	杉KD 無等級 45×90×3000 間柱、ホート継手 受材、筋交い、窓台まぐさ	1	本	1,730	木 13
構造材 下地材	杉KD 無等級 縦胴縁、野縁	1	m3	169,000	木 14
構造材 板材	杉KD 無等級 破風、鼻隠、小屋筋交	1	m3	80,100	木 15
構造材 枳材	米つがKD 無節	1	m3	257,000	木 16
構造材 野地板	構造用針葉樹合板 特類 12×910×1820	1	枚	2,000	木 17
土台気密パッキン	W105	1	m	1,140	木 18
ホルタルン用A. BT	Zマーク M16	1	本	820	木 19
土台用A. BT	Zマーク M12 角座金共	1	本	60	木 20
一般金物	Zマークその他 床面積15.76m2	1	m ²	10,800	木 21
工場加工費	床面積15.76m2 ブレカット・図面作成費含む	1	m ²	7,100	木 22
運搬費	床面積15.76m2 工場～現場	1	m ²	3,620	木 23
現場建て方施工費	床面積15.76m2 揚重機含む	1	m ²	12,200	木 24
屋根 鋼板立平葺き	カラーGL鋼板 厚0.4	1	m ²	8,800	屋根 1
アスファルトルーフィング 葺き	940同等品	1	m ²	560	刊行物 3 施工P286 コストP260
唐草	カラーGL鋼板 厚0.4	1	m	2,800	屋根 2
破風・鼻隠	カラーGL鋼板 厚0.4 190×25	1	m	4,400	屋根 3
エルボ	75φ用	1	か所	1,070	刊行物 4 コストP264
集水器	角型120用	1	か所	3,600	刊行物 5 コストP264

土台水切	カラーGL	1	m	2,800	金属 1
アルミドア AD-1	金物及び取付費、運搬費共	1	か所	912,000	アルミサッシ 1
アルミドア AD-2	金物及び取付費、運搬費共	1	か所	409,000	アルミサッシ 2
アルミ窓 AW-1	金物及び取付費、運搬費共	1	か所	36,200	アルミサッシ 3
トイレブース TB-1	金物及び取付費、運搬費共	1	か所	642,000	トイレブース 1
トイレブース TB-2	金物及び取付費、運搬費共	1	か所	232,000	トイレブース 2
ガラスフィルム	飛散防止・ホワイト	1	m ²	8,980	刊行物公表 2 施工P375
外壁材	窯業サイディング 厚16 金具止工法	1	m ²	10,400	内外装 1
外壁材役物	窯業サイディング厚16用	1	m	6,800	内外装 2
外壁 透湿防水シート下張り	JIS A 6111同等品	1	m ²	800	内外装 3
防虫通気材	W18用 樹脂製	1	m	2,000	内外装 4
断熱グラスウール	壁 厚100 24kg/m3	1	m ²	1,790	刊行物 6 施工P416 コストP376
断熱グラスウール	天井 厚100 24kg/m3	1	m ²	1,790	刊行物 7 施工P416 コストP376
廻縁	塩ビ製 突付	1	m	470	刊行物 8 施工P424 コストP376
サイン S-1	カットニングシート貼	1	か所	25,100	サイン 1
サイン S-2	カットニングシート貼	1	か所	10,100	サイン 2
サイン S-3	カットニングシート貼	1	か所	10,100	サイン 3
サイン S-4	アクリル板厚4 掘込文字 150×200	1	か所	65,100	サイン 4
ホースフォームライニング	W120	1	m	26,900	仕上げユニット 1
集水桝	360×360×480	1	か所	34,500	刊行物 9 コストP394

	名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	備 考
01	くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 3ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1	1,560	刊行物 1 施工P118
						コストP112
02	くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 9ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1	2,450	刊行物 21 施工P118
						コストP112
03	くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ10m未満 幅600 6ヶ月 掛払い手間、賃料、基本料、運搬費 安全手すり含む	m ²	1	2,140	刊行物 22 施工P118
						コストP112
01	スリーブ補強	200φ程度	か所	1	2,200	刊行物 23 積算P196
						コストP162
03	有孔けい酸カルシウム 板	タイプ 2(ノアス)0.8FK 厚 6	枚	1	1,840	刊行物 10
						積算P623
03	化粧けい酸カルシウム 板	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装	枚	1	6,960	刊行物 12 物価P512
03	化粧けい酸カルシウム 板	厚6 3×8 アクリルウレタン塗装	枚	1	6,960	刊行物 12 物価P512
02	ラワン合板	厚9.0 1類	枚	1	1,950	刊行物 18 物価P507
						積算P614
01	引込金具	R形アーム	個	1	11,100	その他 1
02	消耗品・雑材料		式	1	11,100	(見積り・刊行物等) その他 1
			K01			
01	分電盤	屋内露出型 樹脂製 8回路	面	1	14,800	盤 1
02	消耗品・雑材料		式	1	14,800	(見積り・刊行物等) 盤 1
			K01			
01	非常用押釦	300V6A	個	1	1,170	配線器具 2 WN4500相当品
03	消耗品・雑材料		式	1	1,446	(見積り・刊行物等) 配線器具 2
			K01+K02			
01	ジョイントボックス	操作ユニット用	個	1	1,490	配線器具 1 WJ8010G相当品
02	消耗品・雑材料		式	1	1,490	(見積り・刊行物等) 配線器具 1
			K01			
01	操作ユニット	2回路用	個	1	3,720	配線器具 3 WTA5822WK相当品
03	消耗品・雑材料		式	1	3,996	(見積り・刊行物等) 配線器具 3
			K01+K02			

01	人感センサー 親機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1	8,760	配線器具 4 WTK2614K相当品
02	消耗品・雑材料		式	1	8,760	(見積り・刊行物等) 配線器具 4
			K01			
01	人感センサー 親機	天井埋込型	個	1	9,780	配線器具 5 WTK24818相当品
02	消耗品・雑材料		式	1	9,780	(見積り・刊行物等) 配線器具 5
			K01			
01	人感センサー 子機	天井埋込型 換気扇連動式	個	1	6,180	配線器具 6 WTK29318相当品
02	消耗品・雑材料		式	1	6,180	(見積り・刊行物等) 配線器具 6
			K01			
02	消耗品・雑材料		式	1	3,580	(見積り・刊行物等) 自動点滅器
			K01			
01	照明器具 A	LED11.6W ダウンライト	台	1	15,200	照明器具 1
02	消耗品・雑材料		式	1	15,200	(見積り・刊行物等) 照明器具 1
			K01			
01	照明器具 B	LED9.5W ミラーライト	台	1	7,080	照明器具 2
02	消耗品・雑材料		式	1	7,080	(見積り・刊行物等) 照明器具 2
			K01			
01	照明器具 C	LED10.7W ブラケット	台	1	16,400	照明器具 3
02	消耗品・雑材料		式	1	16,400	(見積り・刊行物等) 照明器具 3
			K01			
01	フラッシュ表示灯 E	LED 100V	台	1	26,400	回転灯 1
02	壁面取付金具	スチール製	個	1	1,120	回転灯 2
03	消耗品・雑材料		式	1	27,520	(見積り・刊行物等) 回転灯 1、回転灯 2
			K01+K02			
01	洋風便器	(C1200S) 洗浄便座一体型(流動式)、リモコン 温水洗浄便座、蓋固定、掃除口付、 便座蓋なし 2連式SUSタイプ紙巻器 、その他標準付属品共	組	1	187,000	衛生器具 1

01	多目的用便器	(C111RS) 床置床排水大便器（高座面式）流動式、リモコン温水洗浄便座蓋固定、掃除口付、便座蓋なし 2連式SUSタイプ紙巻器、その他標準付属品共	組	1	216,000	衛生器具 2
01	手すり	樹脂被覆 固定式P型、L=700 その他標準付属品共	組	1	26,300	衛生器具 3
01	手すり	樹脂被覆 L型、L=700 その他標準付属品共	組	1	28,500	衛生器具 4
01	洗面器	(L410) 壁掛け袖付洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1	49,100	衛生器具 5
01	小 便 器	(U520) 壁掛小便器+FV その他標準付属品共	組	1	57,500	衛生器具 6
01	手すり	小便器用 SK-203S同等品、630×300×1200H その他標準付属品共	組	1	40,000	衛生器具 7
01	洗面器	(L420) 壁掛洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共	組	1	42,900	衛生器具 8
01	化粧鏡	盗難防止型 600×800 その他標準付属品共	枚	1	32,600	衛生器具 9
01	マルチシンク	小型 SK500(同等品) 固定金具、横水栓(レバー式)、排水金物共 その他標準付属品共	組	1	33,200	衛生器具 10
01	ベビーチェアー	YKA15S(同等品) その他標準付属品共	組	1	57,500	衛生器具 11
01	ベビーシート	YKA25S(同等品) その他標準付属品共	組	1	113,000	衛生器具 12
01	排気ファン	V-1 パイプ用ファン 150φ×100CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1	14,300	換気扇 1
01	排気ファン	V-2 パイプ用ファン 200φ×175CMH×10Pa SUS製パイプフード(防鳥アミ付)共	台	1	22,700	換気扇 2
01	A型ハ゜リケート	1200×800 基本料	台	1	240	刊行物 16 物価P829
02	A型ハ゜リケート	1200×800 供用1日賃料	台	1	7	刊行物 17 物価P829
01	交通誘導員	交通誘導員B	人	1	16,100	刊行物 19 物価P881

令和6年度

みちのく鹿島球場サブグラウンドトイレ建築工事

設計図

発注者	南	相	馬	市
設計者	(株)山口建築設計事務所			

図面リスト

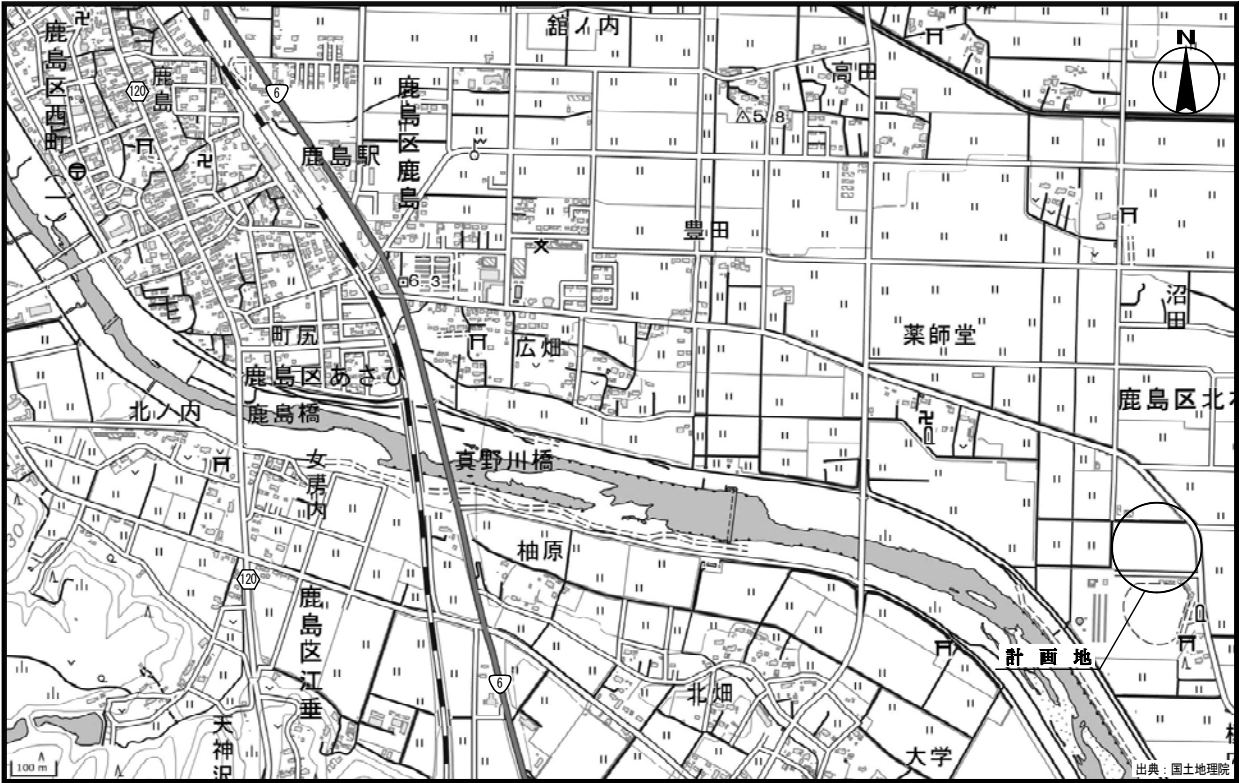
図面NO	図 面 名 称	縮 尺	
A－0 1	福島県建築工事概要書、案内図	1 /	NON
A－0 2	福島県建築関係工事特記仕様書	1 /	NON
A－0 3	建築工事特記仕様書（１）	1 /	NON
A－0 4	建築工事特記仕様書（２）	1 /	NON
A－0 5	建築工事特記仕様書（３）	1 /	NON
A－0 6	建築工事特記仕様書（４）	1 /	NON
A－0 7	建築工事特記仕様書（５）	1 /	NON
A－0 8	建築工事特記仕様書（６）	1 /	NON
A－0 9	建築工事特記仕様書（７）	1 /	NON
A－1 0	建築工事特記仕様書（８）	1 /	NON
A－1 1	建築工事特記仕様書（９）	1 /	NON
A－1 2	配置図	1 /	600
A－1 3	敷地求積図	1 /	800
A－1 4	敷地断面図、建物求積図	1 /	100、300
A－1 5	平面図、屋根伏図、天井伏図、仕上表	1 /	50
A－1 6	立面図	1 /	50
A－1 7	矩計図	1 /	30
A－1 8	展開図	1 /	50
A－1 9	建具・サインキープラン、建具表、サイン詳細図	1 /	8、50、100
A－2 0	地質調査報告書	1 /	100
A－2 1	地盤置換土工法記仕様書	1 /	NON
A－2 2	地盤置換平面図、地盤置換断面図	1 /	50
A－2 3	ピット伏図、基礎伏図	1 /	50
A－2 4	基礎詳細図	1 /	20
A－2 5	梁伏図、小屋伏図	1 /	50
A－2 6	耐力壁位置図、壁量計算、N値計算	1 /	50
A－2 7	仮設計画図	1 /	50

[illegible]

1. 工事名称その他	工事名称	みちのく鹿島球場 サブグラウンドトイレ建築工事	建 築 主 (発注者)	南相馬市長 門馬 和夫	建 設 地 地名地番	南相馬市鹿島区北右田字大橋 地内	主要用途	公衆便所 (08310)	工事種別	(新築)・増築・改築・模様替・その他)
------------	------	-------------------------	----------------	-------------	---------------	------------------	------	--------------	------	---------------------

2. 敷地状況	敷地面積	都市計画区域	用途地域	防火地域	道路種別幅員	都市計画道路	規制地域の指定	その他の許可届出等(根拠法令等・届出・許可番号・年月日)
	16,921.23㎡	○内・市街化区域 ・市街化調整区域 ○区域区分未設定区域 ・外	・有 ○無	・防火 ・準防火 ○無 ○法22条地域	・上面 道 m ○右側面市道 17.56m ・下面 道 m ・左側面 道 m	○無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	・騒音規制 ・振動規制 ・その他	

3. 構造・規模面積		計画部分		計画以外の部分			合計		棟別名	構造	基礎工法	階数	建築面積	床面積			
		1 階		2 階		階		合計									
	建 築 面 積	15.76 ㎡		㎡			15.76 ㎡		公衆便所	木造	直接基礎＋地盤改良	1	15.76 ㎡	15.76 ㎡			15.76 ㎡
	延 べ 面 積	15.76 ㎡		㎡			15.76 ㎡						㎡				㎡
	建 蔽 率	0.10 %	各種高さ	最 高 高 さ	3.378 m	増築予定	・有 ○無					㎡					㎡
	容 積 率	0.10 %		最 高 軒 高	2.825 m						㎡				㎡		
				居室の床高	0.10 m						㎡				㎡		
	その他（ピロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等）												㎡				㎡
													㎡				㎡
合計												15.76 ㎡	15.76 ㎡			15.76 ㎡	



附近案内図 Sc=1/NO N

地業 工事	○ 1 支持地盤	・杭基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む) ・図示による・() ○直接基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む) ○図示による・() 長期設計支持力度 ○(50)kN/m2・() ・地盤の載荷試験 ・行う 試験の位置、方法等は図示による 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490 ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・() 試験掘 ・あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う ・なし 寸法、継手、性能等(種別：種類、性能及び曲げ強度区分) <table><tr><th></th><th>種類</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (mm)</th><th>継手数</th><th>長期設計支持力 (kN/本)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う・() 試験杭の位置、本数 ※最初の本・図示による 杭先端部形状 ・開放形・半開放形・閉そく形・() 施工方法 ・打込み工法(・油圧ハンマー・ディーゼルハンマー) プレボーリングの併用 ・行う 掘削深さ及び径 ・図示による・行わない 打込杭推定支持力度の算定 ・図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4かつ100mm以下・() 杭の傾斜・1/100以内・() ・セメントミルク工法 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・1.5m程度・() 杭の支持地盤への根入れ深さ ・1.0m以上・() 杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4かつ100mm以下・() 杭の傾斜・1/100以内・() ・特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha = 250$を採用できる工法 図示による ・上記以外の特定埋込杭工法 図示による 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・() 杭周固定液 ・使用する・使用しない 杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4かつ100mm以下・() 杭の傾斜・1/100以内・() 杭継手工法 ・アーク溶接継手 ・標仕 4.3.6による 溶接材料 ・標仕 7.2.5(1)(2)による・標仕 7.2.5(1)(2)以外() ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 ・() 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 ・() 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による ・() 杭頭処理 ※〔県：第2編 4.3.8〕による・() 杭頭補強用コンクリート型枠 ※鋼製型枠・() 杭頭補強 ※〔県：第2編4.3.1図～4.3.2図〕による・図示による 寸法、継手、性能等(4.2.2)(4.4.2) <table><tr><th></th><th>種類</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (mm)</th><th>継手数</th><th>長期設計支持力 (kN/本)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考	試験杭	上杭 中杭 下杭						本杭	上杭 中杭 下杭												種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考	試験杭	上杭 中杭 下杭						本杭	上杭 中杭 下杭											2 既製コンクリート杭地業	3 鋼杭地業	試験杭(4.2.2) 試験杭の位置、本数及び寸法 ・図示による 杭の材料(4.4.3) ・図示による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5による 施工方法 ・標準仕様書4.3.5による 杭の精度(4.4.4) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4以内かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内・評定条件又は設定条件による 杭の現場継手(4.4.5) ・溶接継手(4.4.3)(7.2.5) 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(a)(b)による・図示による 溶接部の確認方法 ・標準仕様書7.6.10による 抜き取り率 ・全数 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による 杭頭の処理(切断方法)(4.4.6) ・処理しない(切断しない) ・処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・図示による 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの 杭径、長さ、仕様等 ・図示による・() 材料その他 帯筋・図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ・図示による セメントの種類 ※高炉セメントB種・() コンクリートの種別(4.5.4)(表4.5.1) ・A種・B種 ・審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度()N/mm2(4.5.4～6) 構造体強度補正值(S) ・3N/mm2 ・審査(評定又は大臣認定)された内容による ・() 掘削工法(4.5.1)(4.5.5～6) ・アースドリル工法 安定液・使用する・使用しない ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り・行う・行わない 併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による 鋼管巻き材料・SKK400・SKK490・() ・拡底杭工法 図示による 安定液・使用する・使用しない ・() 試験杭(4.2.2)(4.5.5～6) 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う・() 試験杭の位置、本数 ※最初の本・図示による 孔壁測定(4.5.5～6) ・行う 測定方法、測定箇所は図示による ・行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ・100mm以下・() 杭の傾斜・1/200以内・() 工法 ○地盤置換工法(EPS置換) 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力度 ○(50)kN/m2 形状、支持地盤、仕様 ・図示による 長期設計支持力度 ()kN/m2・() セメントの種類 ・高炉セメントB種・() コンクリートの設計基準強度()N/mm2 構造体強度補正值(S)＝()N/mm2	1 地業工事	7 液状化対策	工法・() 仕様、範囲、計測、試験等 ・図示による	○ 8 砂利地業(4.6.2) 材料 ※再生クラッシュラン・切込砂利及び切込碎石(4.6.3) 厚さ、幅及び使用範囲 <table><tr><th>地業</th><th>幅 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>割り石</td><td>フーチング各外面より+150</td><td>・150・()</td></tr><tr><td>砂利(碎石)</td><td>フーチング各外面より+150</td><td>・60 ○150</td></tr></table>	地業	幅 (mm)	厚さ (mm)	割り石	フーチング各外面より+150	・150・()	砂利(碎石)	フーチング各外面より+150	・60 ○150	○ 9 捨てコンクリート(4.6.4)(6.14.1～3) コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる・() セメントの種類 ※高炉セメントB種・() 厚さ、幅及び使用範囲(4.6.3) <table><tr><th>部 位</th><th>幅 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>基 礎</td><td>フーチング各外面より+100</td><td>※50・()</td></tr><tr><td>地中ばり</td><td>フーチング各外面より+100</td><td>※50・()</td></tr></table>	部 位	幅 (mm)	厚さ (mm)	基 礎	フーチング各外面より+100	※50・()	地中ばり	フーチング各外面より+100	※50・()	10 床下防湿層(4.6.5) 施工範囲 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・() 材料 ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・() 防湿層の位置 ・図示による・()	2 鉄筋工事	○ 1 鉄筋の種類(5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th colspan="5">呼び名 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>○SD295</td><td>○D10</td><td>○D13</td><td>・D16</td><td>・()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・SD345</td><td>・D10</td><td>・D13</td><td>・D16</td><td>・()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び名 (mm)					備考	○SD295	○D10	○D13	・D16	・()			・SD345	・D10	・D13	・D16	・()			・							・							2 溶接金網(5.2.2) <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>・溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				○ 3 鉄筋の継手(5.3.4)(5.5.2) <table><tr><th>部位</th><th>継手方法</th><th>呼び名 (mm)</th></tr><tr><td>柱、梁の主筋</td><td>※ガス圧接・機械式継手</td><td></td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>※重ね継手・</td><td></td></tr><tr><td>その他の鉄筋()</td><td>※重ね継手・</td><td></td></tr></table> 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ(5.3.4) ※図示による 継手位置図 ※図示による 鉄筋の定着方法(5.3.4) ※図示による	部位	継手方法	呼び名 (mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手・		その他の鉄筋()	※重ね継手・		○ 4 鉄筋の定着の方法及び長さ(5.3.4) 鉄筋の定着長さ ※図示による・()	○ 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)(5.3.5) 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による・() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・有り 適用箇所() 最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 ・() ○無し 軽量コンクリートで土に接する部分 ○無し ・有り 適用箇所() ・図示による ・() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ○無し ・有り 適用箇所() ・図示による ・() 鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)(5.3.5)(図5.3.6) ○図示による ・()	6 特殊な鉄筋継手(5.5.2) ・機械式継手 使用箇所 ※図示による・() 性能(H12建告第1463号に適合するもの) ・A級・() 機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ・図示による・() 品質の確認方法 ・図示による・() 不良となった継手の修正方法等 ・図示による・()	・溶接継手 使用箇所 ※図示による・() 性能(H12建告第1463号に適合するもの) ・A級・() 溶接継手の工法() 鉄筋相互のあき ※図示による・() 品質の確認方法 ※図示による・() 不良となった継手の修正方法等 ※図示による・()
		種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考																																																																																																																																													
	試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																		
本杭		上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																		
		種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考																																																																																																																																													
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																			
	本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																		
地業		幅 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																	
割り石	フーチング各外面より+150	・150・()																																																																																																																																																		
砂利(碎石)	フーチング各外面より+150	・60 ○150																																																																																																																																																		
部 位	幅 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																		
基 礎	フーチング各外面より+100	※50・()																																																																																																																																																		
地中ばり	フーチング各外面より+100	※50・()																																																																																																																																																		
種類の記号	呼び名 (mm)					備考																																																																																																																																														
○SD295	○D10	○D13	・D16	・()																																																																																																																																																
・SD345	・D10	・D13	・D16	・()																																																																																																																																																
・																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																				
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																																																	
・溶接金網																																																																																																																																																				
・鉄筋格子																																																																																																																																																				
部位	継手方法	呼び名 (mm)																																																																																																																																																		
柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手																																																																																																																																																			
耐力壁の鉄筋	※重ね継手・																																																																																																																																																			
その他の鉄筋()	※重ね継手・																																																																																																																																																			
2 既製コンクリート杭地業	3 鋼杭地業	試験杭(4.2.2) 試験杭の位置、本数 ※最初の本・図示による 杭の材料 ・図示による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による・標仕 7.2.5(1)(2)以外() ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 ・() 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 ・() 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による ・() 杭頭処理 ※〔県：第2編 4.3.8〕による・() 杭頭補強用コンクリート型枠 ※鋼製型枠・() 杭頭補強 ※〔県：第2編4.3.1図～4.3.2図〕による・図示による 寸法、継手、性能等(4.2.2)(4.4.2) <table><tr><th></th><th>種類</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (mm)</th><th>継手数</th><th>長期設計支持力 (kN/本)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考	試験杭	上杭 中杭 下杭						本杭	上杭 中杭 下杭											3 地業工事	4 場所打ちコンクリート杭杭地業	○ 5 地盤改良	6 置換コンクリート地業(ラッフルコンクリート地業)	形状、支持地盤、仕様 ・図示による 長期設計支持力度 ()kN/m2・() セメントの種類 ・高炉セメントB種・() コンクリートの設計基準強度()N/mm2 構造体強度補正值(S)＝()N/mm2																																																																																																																			
	種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考																																																																																																																																														
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																			
	本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																																		

鉄筋工事	○ 7	各部配筋	各部配筋 ※図示による	(5. 3. 7)	鉄骨工事	1	鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の5に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・S・H・M・R・J グレード ・監督員の承諾する工場(標仕 7. 1. 1 以外の適用範囲に限る。)	(7. 1. 3)	鉄骨工事	14	工作図	監督員による現況検査 ・行わない ・行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。	(7. 3. 2)
	8	圧接完了後の試験	外観試験 ※行う (全数) 抜取試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	(5. 4. 10)		2	施工管理技術者	・適用する ・適用しない	(7. 1. 3) (7. 1. 4)		15	鉄骨の製作精度	※標仕 7. 3. 3による 溶接ずれ及び食い違い ・溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り。 ・図示による	(7. 3. 3)
	9	帯筋	組立の形の種別	※図示による		3	鋼材	材質等 (7. 2. 1) (表7. 2. 1)			16	鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 確認方法、確認項目 ※図示による	(7. 3. 10)
	10	最上階柱頭補強	補強方法	※図示による		4	高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T)	(7. 2. 2) (7. 3. 2) (7. 4. 1~7. 4. 9)		17	溶接技能者の技量付加試験	試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※図示による	(7. 6. 3)
	11	片持ちスラブの出隅部の補強配筋 (出隅受け部分の補強筋を含む)	配筋方法	※図示による		5	普通ボルト	有効細長比(圧縮材に限る) ※図示による ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T) 高力ボルトの径 ・図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等	(7. 2. 1) (表7. 2. 1) (7. 2. 2) (7. 3. 2) (7. 4. 1~7. 4. 9) (7. 4. 2)		18	溶接接合	開先の形状 スカラップの形状 エンドタブの切除する部分 ・全て ・見え掛り部となる部分 ・切除する部分なし 溶接部の余盛り高さ ・() ・()	(7. 6. 4) (7. 6. 7) (7. 6. 7) (7. 6. 7) (7. 6. 7)
	○ 13	梁貫通孔の補強	補強形式 配筋種別 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ※図示による	※図示による ※図示による ※図示による		6	溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・1種 (F8T相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 摩擦面の処理 ・プラスト処理(表面粗度50μmR2以上) ・() 適用 ・構造用アンカーボルト セットの種類 ・JSS II 13-2004 ABR400 ・JSS II 13-2004 ABR490 ・() 形状、寸法 ・図示による ・建方用アンカーボルト 材質 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・標仕 表7. 2. 3による ・() 形状、寸法 ・図示による	(7. 2. 2) (7. 12. 3~4) (7. 3. 8) (7. 2. 4) (表7. 2. 3) (7. 10. 3)		19	現場溶接の有無	・無し ・有り 適用箇所 ・図示による	(7. 6. 7) (7. 6. 7)
	○ 14	基礎梁主筋の継手		※図示による		7	アンカーボルト	アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・標仕 表7. 2. 3による ・() 形状、寸法 ・図示による	(7. 2. 2) (7. 12. 3~4) (7. 3. 8) (7. 2. 4) (表7. 2. 3) (7. 10. 3)		20	入熱、バス間温度溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 適用箇所 ・図示による ・図示による ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	(7. 6. 7) (7. 6. 7) (7. 6. 7)
	15	機械吊上げ用フック	種別	※図示による		8	溶接材料	溶接材料 ※標仕 7. 2. 5(1)(2)による。 ・標仕 7. 2. 5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による	(7. 2. 5)		21	溶接部の試験	完全溶込み部の超音波探傷試験 ※行わない ※行う ・工場溶接の場合 ・全数検査 ・抜取検査 A O Q L (%) ・4. 0 ・2. 5 ・工事現場溶接の場合 ・全数検査 ・計数連続生産型抜取検査 A O Q L (%) (・4. 0 ・2. 5)	(7. 6. 12) (表7. 6. 2) (表7. 6. 3) (表7. 6. 4)
	3 コンクリート工事	○ 1	コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (Fcc) N/mm2 種別 ・18 ○ 21 ・24 ・27 普通コンクリート 部位 基礎・犬走 軽量コンクリート 部位 上記には補正値Sは含まれない 軽量コンクリートの設計基準強度 (Fcc) N/mm2 適用箇所 ・24 ・ スラブの値(単位: cm) (6. 2. 4) (表6. 2. 2) 打込み箇所 所要スラブ 15、18 18		(6. 2. 2)	9	ターンバックル	種類 建築用ターンバックル鋼 ・割格式 ・() 建築用ターンバックルボルト ・羽子板ボルト ・() ねじの呼び ・図示による 材質、形状及び寸法 (7. 2. 7) ・構造床 ・合成スラブ ・床型特用 ・ 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。) ・図示による デッキプレートと鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) ・アークスポット溶接又は隅肉溶接 ・() デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ) ・焼抜き栓溶接 ・スタッド 耐火認定 ・有り 耐火時間 ・図示による ・() ・無し 形状及び寸法等 ・図示による ・() 材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド J I S B 1198 ・() 呼び名等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無収縮モルタル ※収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7. 2. 9(2)による ・() 品質及び試験方法 ※標仕 表7. 2. 5による ・() モルタルの種類 ・() ※無					

8 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ※標仕 表 1 1 . 1 . 1 による ・ 図示による (11. 1. 3) (表11. 1. 1)
	○ 2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2) (11. 2. 2～8) 施工箇所 主な用途による区分 (JIS) 形状/寸法 吸水率による区分 I 類 II 類 III 類 うわぐすり 役物 色 再生材 性耐凍害 備考 床・巾木 150×150 ○ 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・ MOR工法 ・ 目荒し工法 (高圧洗浄) ・ 壁タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
	3 接着剤による陶磁器質タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 3. 2～8) 施工箇所 主な用途による区分 (JIS) 形状/寸法 吸水率による区分 I 類 II 類 III 類 施ゆう 無ゆう 有 無 標準 特注 再生材 性耐凍害 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 () 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ MOR工法 ・ 目荒し工法 (高圧洗浄) ・ ()
	4 陶磁器質タイル型枠先付け	タイルの形状、寸法等 建築工事整理指針 (11. 4. 1) 施工箇所 主な用途による区分 (JIS) 形状/寸法 吸水率による区分 I 類 II 類 III 類 施ゆう 無ゆう 有 無 標準 特注 再生材 性耐凍害 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない タイル型枠先付けの種類 種 類 適用タイル タイル型枠先付け面のせき板の種類 ・タイルシート法 ・小口タイル ※ 標仕 6. 8. 2 (2) (4) ・目地樹法 ・二丁掛けタイル ・金属製タイル先付け用パネル ・棧木法 大形タイル
	5 階段滑り止め	※磁器製 () ・ ()
9 木工工事	○ 1 表面仕上げ	(12. 1. 4) 表面仕上げの種類 適用箇所 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種
	○ 2 製材	(12. 2. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1) ○ 「製材の日本農林規格」による下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 備考 ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 備考 ※1等 ・ ※A種・B種 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 備考 ※1等 ・ ※A種・B種 ・ ・ 「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 造作材の材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 備考 () ・ 適用する ※A種・B種 ・ 造作材の場合 (※A種・B種) ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 代用樹種を使用できない箇所 ()
	○ 3 造作用集成材	(12. 2. 1) ・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面の等級 備考 ※ 1 等 ・ 2 等 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法 見付け材面の等級 備考 ※ 1 等 ・ 2 等 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法 化粧薄板の厚さ (mm) 備考 ・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面の品質 含水率 備考 ※A種 ・ B種 ・ ・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 備考 ※A種 ・ B種 ・
9 木工工事	3 造作用集成材	・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法 見付け材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 備考 ※A種 ・ B種 ・
	4 造作用単板積層材	(12. 2. 1) 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防虫処理 備考 ・ 有り (加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 適用する ・ ・ 無し (等級:) ・ 適用しない
	5 床張り用合板等	(12. 2. 1) ・ 普通合板 施工箇所 厚さ 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防災処理 備考 ※5. 5 ・ 7ワン ※1類 ・ 2類 広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上 ・ ・ 構造用合板 施工箇所 厚さ 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 備考 ※12 ・ ※2級以上 ・ 1級 ※1類 ・ 特種 ・ ・ パーティクルボード 施工箇所 厚さ 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 ※15 ・ ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ・ 構造用パネル 施工箇所 厚さ 等級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級
	6 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (1 2 . 2 . 2 ～ 3) ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ()
	7 防腐・防蟻	・ 防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 (1 2 . 3 . 1 ～ 2) 適用部位: () ・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・ K 2 ・ K 3 ・ K 4 ・ K 2 ・ K 3 ・ K 4 ・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 ※標仕12. 3. 1 (イ) (b) ①～④による ・ ※標仕12. 3. 1 (イ) (b) ①～④による ・ ※標仕12. 3. 1 (イ) (b) ①～④による ・ ・ ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()
10 木造工事	5) 接合金物等の材質	鋼材の材質 ※SS400 ・ S400A ・ () ・ ()
	6) 製作制度	※精度基準は次による 部位等 精度基準 短辺 製作図寸法の±1. 5mm以内 長辺 製作図寸法の±1. 5mm以内、かつ、±5mm以内 材長 工作図寸法の±5mm以内 断面直角精度 直角とのひずみ±1/100mm
	7) 表面仕上げ	仕上げる強度 ・ A種 ※B種
	8) アンカーボルト	材質 ※SS400 ・ () 寸法 ※図示 ・ () アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A種 ※B種 ・ C種
	9) 柱底均し仕上げ	柱底均しモルタルの厚さ ※30mm程度 ・ () 柱底均しモルタルの工法 ・ A種 ※B種
	10) 普通ボルト	普通ボルトの材料等 ※〔県：第2編 表12-2. 4. 5〕による。 ・ () ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ ※図示及び〔県：第2編 表12-2. 4. 6〕による。 ボルトが受ける応力の種類 ※図示による。
	11) ボルト孔	ボルト孔の径 ※〔県：第2編 表12-2. 4. 7〕及び〔県：第2編 表12-2. 4. 8〕による。 ・ 集成材の場合 () ・ 集成金物の場合 ()
	12) ラグスクリー	ラグスクリーの形状、寸法 ※図示 ・ ()
	13) ドリフトピン	ドリフトピンの形状、寸法等 ※図示 ・ ()
	14) ジベル	ジベルの種類及び材質 種類 () 材質 () ジベルの形状、寸法等 ※図示 ・ ()
	15) 錆止め塗装	錆止め塗装による防錆処理を行う構造金物及び接合具等 ※見え掛かりとなるすべての構造金物及び接合具等 ・ () 錆止め塗装の種類 ・ A種 ※B種
	16) 垂鉛めっき	垂鉛めっきによる防錆処理を行う材料等 ※すべての構造金物及び接合具等 ・ () 垂鉛めっきの種類 ※2種HDZ 5 5 ・ 2種HDZ 4 5 ・ 2種HDZ 3 5
	17) 防火被覆材	防火被覆材 ・ 厚さ25mm以上の木材 ・ 厚さ15mm以上の強化せつこうボード ・ 厚さ12mm以上のけい酸カルシウム板 ・ ()
	18) 防火被覆処理	ボルト、ドリフトピン等の防火被覆処理 ・ 行う ・ 行わない
11 屋根及びとい工事	○ 1 長尺金属板葺	(13. 2. 2～3) 施工箇所 板及びタイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ 屋根葺形式 備考 ※JIS G 3322の屋根用コイル (GGLCCR-20-AZ150) ・ 下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層タイプ ・ 粘着層付タイプ) 雪止め ※設置する (図示) ○設置しない
	2 折板葺	(13. 2. 2) (13. 3. 2～3) (表 13. 2. 1) 施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ 軒先面戸板 耐火性能 山高 山ピッチ ・ 重ね形 () 種 ※鋼板製 ・ 75mm合板板製 ・ はせ締形 ・ かん合形 材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル (GGLCCR-20-AZ150) ・ () 断熱材 ・ 有り (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 無し
	○ 3 とい	といの材質 (13. 5. 2～3) (表 13. 5. 5) 種 別 材 種 径 施工箇所 備考 たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル免脱三層管 □G 軒どい ○角型塩ビ ・ ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ () 鋼管製といの防露巻き ・ 適用する (工法: ※標仕 表13. 5. 4による ・) ・ 適用しない とい受金物 ※ステンレス製 ・ 鋼製 (垂鉛めっき) (13. 5. 2) (表 13. 5. 5) ルーフトレン 種 別 施工箇所 ・ ろく屋根用 (・ 縦型 ・ 横型) ・ バルコニー用 ・ バルコニー中継用

12
金属工事

1
あと施工アンカーの確認試験

(14.1.3(b) (4)) による確認試験を行う。

(14.1.3)

2
鉄鋼の垂鉛めっき

(14.2.3) (表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融垂鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気垂鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	

3
軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
屋外（※25形・19形） 屋内（※19形・25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する
（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）
倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
※900程度（ ）
周辺部の端からの間隔
※図示による（ ）
野縁の間隔
※300程度（ ）
・補強 ※図示による（ ）
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示による（ ）
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※標仕14.4.4(8)（ア）（イ）による（ ） 図示による
・天井のふところ3.0mを超える場合
補強方法 ※図示による（ ）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示による（ ）
補強方法 ※図示による（ ）

(14.4.2~4)

4
軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
（表14.5.1）によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による（ ）

(14.5.3) (表14.5.1)

5
金属成形板張り

材種	・アルミニウム	・（ ）
製法	※押出し	・プレス ・ロール
寸法	板幅※100	・（ ） 板厚※1.0
形状	・スパンドレル形	・パネル形
表面処理等	・B-1種	・C-1種
	・B-2種	・C-2種

伸縮調整継手 ・設ける ・設けない

6
アルミニウム製笠木

部材の種類
・250形 ・300形 ・350形 ・100形
・板折り曲形（本体幅 mm）
板厚（mm）※2 ・（ ）
表面処理
表面処理の種類 ※標仕 表14.2.1による（ ）
被膜等の種類 ※標仕 表14.2.1による（ ）
着色（ ）

(14.6.2~3) (表14.2.1)

13
左官工事

1
仕上塗材仕上げ

・薄付け仕上塗材
呼び名
・外装薄塗材S i
・可とう形外装薄塗材S i
・外装薄塗材E
・可とう形外装薄塗材E
・防水形外装薄塗材E
・外装薄塗材S
・内装薄塗材C
・内装薄塗材L
・内装薄塗材S i
・内装薄塗材E
・内装薄塗材W
・複層仕上塗材
呼び名
・複層塗材C E
・可とう形複層塗材C E
・複層塗材S i
・複層塗材E
・複層塗材R E
・防水形複層塗材C E
・防水形複層塗材E
・防水形複層塗材R E
・防水形複層塗材R S
・軽量骨材仕上塗材
呼び名
・吹付用軽量塗材
・こて塗用軽量塗材

防火材料
・砂壁状
・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗）
・さざ波状
・平たん状
・凹凸状（・吹付け ・こて塗）
・着色骨材砂壁状
（・吹付け ・こて塗）
・砂壁状じゅらく
・京壁状じゅらく
吸放湿性 ・適用する ・適用しない
耐湿性 ・適用する ・適用しない

仕上げの形状等
・凸部処理
・凹凸模様
上塗り材
耐候性 ※耐候形3種
溶媒 ※水系 ・溶剤系
樹脂 ※アクリル系
外観 ※つやあり つやなし
増塗材 ・適用する ・適用しない

仕上げの形状等

内壁目地部の形状 ※V形目地付き（ ）
種別 ・A種 ・B種（仕上材塗り：EP-G ※B種 ・A種）
種 類 色 彩 吹付け厚さ
・一般用（ ） ・着色 ・原色 ・10 ・15 ・20 ・25

(15.5.2)
(15.6.4)
(15.7.2)
(15.12.2~4)

14
建具工事

○ 1
アルミニウム製建具

性能等級
外部に面する建具
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
枠の見込み寸法
表面処理
外部に面する建具
屋内の建具
結露水の処理方法
水切り板、ぜん板

(16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表16.2.1)

2
網戸等

種類
・防虫網
・防鳥網

材種
※合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス（SUS316）製
ステンレス（SUS304）線材

線径
※0.25mm以上
・（ ）
1.5mm

網目
※16~18メッシュ
網目寸法15mm

(16.2.3)

3
樹脂製建具

性能等級
外部に面する建具
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

(16.3.5)

4
鋼製建具

性能等級
簡易気密型
外部に面する建具の耐風圧性
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)

5
鋼製軽量建具

性能等級
簡易気密型
外部に面する建具の耐風圧性
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

(16.2.2) (16.5.2~4)

6
ステンレス製建具

性能等級
簡易気密型
外部に面する建具の耐風圧性
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
鋼板 ※垂鉛めっき鋼板
鋼板の厚さ
召合せ、縦小口包み板等の材質

(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)

7
木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類
合板の種類
※普通合板
・天然木
化粧合板
・特殊加工化粧合板
表面板の厚さ

(16.7.2~4)

14
建具工事

○ 8
建具用金物

標準型建具
○マスターキー
※シリンダー箱錠
※レバーハンドル
※ドアクローザー
標準型建具以外の建具
・マスターキー
※シリンダー箱錠
※レバーハンドル
・握り玉
・錠錠
※レバーハンドル
・握り玉
グレモン錠
・
・点検口錠（平面ハンドル錠）
・非常錠
・（ ）
・ヒポットヒンジ
・フロアヒンジ
・ヒンジクローザー（丁番形）
・ヒンジクローザー（ヒポット形）
・ドアクローザー
・閉鎖順位調整器
・押棒、押板
・アームストッパー
・クレセント
・排煙オペレーター
・レール
形式
・30本（ ）
・60本（ ）
鋼製既製品とし、監督員の承諾による。
9
鍵箱
10
自動ドア開閉機構
自動ドア
性能
防錆
センサーの種類
凍結防止
駆動力
補助セッ
工事範囲
11
自閉式上吊り引戸装置
12
重量シャッター
13
軽量シャッター

(16.4.6)
(16.8.1) (16.8.2)
(16.8.4)
(16.9.2~3)
(16.10.2~3) (表16.10.1)
(16.11.2~4) (表16.11.1)
(16.12.2~4)

株式会社 山口建築設計事務所
郡山市八山田西丁目02番地 TEL 024(032)5800
FAX 024(032)5801

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号
管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

建築工事特記仕様書（5）
S=1/ NON
S=1/

建築工事特記仕様書（5）
S=1/

執図 吉田
担当 園分
令和 7年 6月

A 枚/内 07

17 内装工事	11 壁紙張り	<table><tr><td colspan="4">(19.8.2)</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>壁紙の種類</td><td>防火種別</td><td>商品名(程度)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃</td><td>・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃</td></tr></table> 商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。 素地ごしらの種別 モルタル及びプラスター面 せっこうボード面 コンクリート及びALC面 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・断熱材打込み工法 (19.9.2) <table><tr><td colspan="2">種類</td><td>厚さ(mm)</td></tr><tr><td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)</td><td>※2種b ・3種b(設地部分)</td><td>※25</td></tr><tr><td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・フェノール保温材(3種2号を除く)</td><td></td><td></td></tr></table> ・断熱材現場発泡工法 (19.9.3) <table><tr><td>種類</td><td>厚さ(mm)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※A種1 ・B種1</td><td>・25 ・30</td><td>※図示による</td></tr></table>	(19.8.2)				施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)			・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃	・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃	種類		厚さ(mm)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材			※押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	※2種b ・3種b(設地部分)	※25	・A種硬質ウレタンフォーム保温材			・フェノール保温材(3種2号を除く)			種類	厚さ(mm)	施工箇所	※A種1 ・B種1	・25 ・30	※図示による	12 断熱材	
	(19.8.2)																																				
施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)																																		
		・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃 ・不燃	・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃 ・準不燃																																		
種類		厚さ(mm)																																			
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																					
※押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	※2種b ・3種b(設地部分)	※25																																			
・A種硬質ウレタンフォーム保温材																																					
・フェノール保温材(3種2号を除く)																																					
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																			
※A種1 ・B種1	・25 ・30	※図示による																																			

| 18 ユニット及びその他工事 | 1 フリーアクセスフロア | (20.2.2) | | | |------------|---| | 構法 | ・パネル構法
・溝構法 | | 寸法(mm) | ※450角以上600角以下 | | 高さ(mm) | ※100
・110(床版から仕上材天端までの寸法) | | 耐震性能 | ・1.0G
・0.6G | | 所定荷重(N) | ※3000
・5000 | | 表面仕上げ材 | ※タイルカーベット
・帯電防止床材 | | 床パネルの材質 | ※アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等 | | 構造材の材質 | ・アルミニウム製
・鋼製(仕上げ:) | | 配線用取り出しパネル | フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
・20～30% | | 配線取り出し開口 | ・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上
・図示による | | 空調用吹き出しハッチ | ・なし
・あり(形式、施工箇所:図示による) | | ローリングロード性能 | ※適用しない
・適用する(適用室:) | | 2 可動間仕切 | | | | | | | |------------|---------|------------|---------------|-------------------| | 構造形式 | 構成基材の種類 | | 総厚さ(mm) | 遮音性(db) | | | スタッド | パネル | | | | ・スタッド式(内蔵) | ・アルミ | ・木質系 | ※30以上
・() | ・0
・12 | | ・スタッド式(露出) | ・スチール | ・スチール系 | ※60以上
・() | ・20
・28
・36 | | ・パネル式 | | ・ガラス系 | | | | ・スタッドパネル式 | | ・アルミニウム合金系 | | | | 3 移動間仕切 | 表面仕上げ材 | | | | |-------------|--------------|----------------------------------| | 材質 | 厚さ(mm) | パネル表面仕上げ | | ・鋼板
・() | ・0.6
・0.8 | ・メラミン樹脂焼付
又はアクリル樹脂焼付
・壁紙張り | パネル内に取り付ける建具 ・あり(※図示による) ・なし (20.2.4) | | | | | | |------------------------|------------------|-----------------|---------------------|-------------------| | 操作方法 | 圧縮装置
操作方法 | 総厚さ(mm) | 表面仕上げ材 | 遮音性
(db/500Hz) | | ・手動式
・電動式
・部分電動式 | ・フッシュ式
・ハンドル式 | ・60程度
・100程度 | ・鋼板
・鋼板
・壁紙張り | ・36未満
・36以上 | | 4 トイレブース | (20.2.5) | | | | | |------------------------------|----------|-----------|--------------------------------| | 表面材の種類 | 脚部
形状 | 形状 | ドアエッジ
材質 | | ※メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板 | ※幅木タイプ | ・標準
○R | ・アルミニウム製
・ステンレス製
・表面材と同等 | | 5 視覚障害者用床タイル | | | | | | |----|-----------------------------------|----------------------|--------| | 種類 | | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | | 屋内 | ・塩化ビニル製
・磁器質タイル
・レンジコンクリート製 | ・せっ器質タイル
・コンクリート製 | ・7.0 | | 屋外 | ・磁器質タイル
・レンジコンクリート製 | ・せっ器質タイル
・コンクリート製 | | ブロックパターンはJIST 9251による | 6 階段滑り止め | (20.2.6) | | | | |-----------------------------|-------------|---------------| | 材種 | 幅(mm) | 取付工法 | | ・ステンレス製(SUS304)
ビニルタイヤ入り | ※35
・() | ※接着工法
・() | | 7 床目地棒 | (20.2.7) 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 ※ステンレス製 □型 (幅40程度 ア1.5) ・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12 | 8 手すり | | | | | | |---|-----------------------------------|--------------------|-------------------------------| | 材種 | 表面仕上げ | 直径(mm) | 備考 | | ・タモ
・ステンレスパイプ
・鋼製パイプ
・ビニル製ハンドレール | ・クリアラッカー
・HL
・EP-G・SOP
・ | ・35
・45
・() | ・1段手すり
・2段手すり
(指づめ防止材共) | | 9 ホワイトボード | (20.2.8) | | | | | |--------|------|------------|-----------------| | 種類 | 取付方法 | 形状 | 備考 | | ほうろう白板 | 直付け | ※平面
・曲面 | マーキングペン
受け付き | | 19 排水工事 | 1 排水管 | 材種 ・遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※VP ・VU ・RS-VU) ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 | 2 铸铁製ふた | (21.2.2) | | | | |--|-------------------------------|------------| | 種類 | 適用荷重 | 鍵 | | ・水封形
・簡易密閉形(パッキン形)
・密閉形(テーパ・パッキン形)
・中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン形)
・RS-VU | ・T-2用
・T-6用
・T-20用
・ | ・有り
・無し | 上記以外の品質等は(公社)空調調和衛生工学会SHASE-S209による。 ※表面には用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2) | | | | | | | | |-------------------------|-------------------------|---|------------------------------------|--------------|----------------|---------------------| | 材質 | 形式 | 用途 | 適用荷重 | メインバー
ピッチ | 亜鉛めっき
(付着量) | 上面形状 | | ○鋼製
ホールふた
・ステンレス製 | ・受枠
付き、
ボルト
固定 | ・溝ふた
(横断用)
・溝ふた
(側溝用)
○枅ふた
・U字溝用 | ○T-2用
・T-6用
・T-14用
・T-20用 | ・細め
・() | ・()
・() | ・凹凸形
・()
・平形 | | 3 グレーチング | | 4 埋戻し土 | ※B種 ・() | 20 舗装工事 | 1 路床 | 路床の材料 (22.2.2～3) | | | |---------|---| | 種別 | 材料 | | ・盛土 | ・A種 ※B種
・C種
・D種
・建設汚泥から再生した処理土 | | ・遮断層 | ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) | | ・凍上抑制層 | ・再生クラッシュラン
・クラッシュラン | | ・フィルター層 | ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) | 試験 砂の粒度試験 路床度の支持力比(CBR)試験 路床締固めの試験 ・行う ・行わない ・行う ・行わない ・行う ・行わない | 2 路盤 | 路盤の材料 (22.3.3) ・砕石 C-40 ※再生クラッシュラン RC-40 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ CS-40 試験 路床締固めの試験 ・行う ・行わない | 3 アスファルト舗装 | 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) | | | | | |------|--|------|--| | 一般地域 | ・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13) | ・寒冷地 | ・密粒度アスファルト混合物 (13F)
・細粒度アスファルト混合物 (13F) | |------|--|------|--| シールコートの施工 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない ・行う ・行わない | 4 コンクリート舗装 | 早強セメント ※使用しない 溶接金網 ※使用しない 試験 コンクリート版の厚さの試験 ・使用する ・使用する ・行う ・行わない | 5 ブロック系舗装 | ・コンクリート平板舗装 ・インターロッキングブロック舗装 (22.9.2～3) | 6 車止め | 車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き 全面接着アンカー併用固定(掘り込み30mm埋め込み65mm以上) | 7 区画線等 | トラフィックペイント JIS規格品 ※溶融型(ア1.5) ・加熱型(ア1.0程度) 区画線幅 ※150 ・() ・身障者専用駐車スペース表示 (1300角) ・駐車スペースナンバー表示 (350角) | 21 植栽及び屋上緑化工事 | 1 植栽地の確認等 | 土壌の水素イオン濃度(pH)試験 水溶性塩類(EC)の試験 ・行う ・行わない ・行う ・行わない | 2 植栽基盤の整備 | 土壌改良材 ・適用する ・適用しない | 3 植込み用土 | ※建設発生土の良質土 ・客土 | 4 土壌改良材 | ・適用する(施工範囲 ※図示による) | 5 芝 | 種類 ※コウライ芝 ・ノシバ | 6 樹木札 | 図示による | 7 枯損樹木などの 植替え | ※引渡し日から1年 ・() | 8 その他 | |

25 現場環境改善（快適トイレの設置）	○ 1 内容	①受注者は、現場環境改善の一環として、工事現場毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。 【快適トイレに求める標準仕様】 (1) 洋式（洋風）便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置含む） (3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能） （必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること） (4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等） （二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できるもの） (5) 照明設備（電源がなくても良いもの） (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚（耐荷重を5kg以上とする） 【付属品として備えるもの（全項目必須）】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9) サニタリーボックス（女性専用トイレに必ず設置） (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品】 (12) 室内寸法900mm×900mm以上（面積A=0.81m2以上ではない。幅・奥行き各900mm以上） (13) 振音装置（機能を含む） (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 窓などの室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場等） ②受注者は、快適トイレの設置にあたって、①の内容を満たす参考見積書（標準仕様、付属品の内訳を明示したもの）を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等（カタログなど）を施工計画書提出に合わせ提出する。 ③現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。	27 準備期間確保工事・フレックス工事	○ 1 準備期間確保工事	準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日（工事の始期）を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。																				
	○ 2 設置に要する費用	快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額（10,000円/基・月）は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。	28 再生資源利用（促進）計画	○ 1 再生資源利用計画書	受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。	○ 2 フレックス工事	フレックス工事試行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。																		
			○ 3 着工届の提出	着工届は、着工後速やかに提出すること。	○ 4 コリンズの登録	受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。																			
			○ 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係	施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。	○ 6 その他	・準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。（準備期間確保工事） ・工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。（フレックス工事）																			
26 熱中症対策	○ 1 工期・工程等 猛暑による作業不能日数	本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。 i) 作業不能日数： 6 日間 ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方相馬※1（福島）地点における WBGT 値（気温・湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和元年～5年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。 iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方 相馬（福島）地点における WBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。 ※1 下表の観測地点を記入（参考） <table><tr><th>建設事務所管内</th><th>観測地点</th></tr><tr><td>県北</td><td>茂庭、梁川、福島、簗倉、二本松</td></tr><tr><td>県中</td><td>船引、郡山、湯本、小野新町、石川</td></tr><tr><td>県南</td><td>白河、東白川</td></tr><tr><td>会津若松</td><td>金山、若松</td></tr><tr><td>喜多方</td><td>桧原、喜多方、西会津、猪苗代</td></tr><tr><td>南会津</td><td>只見、南郷、田島、桧枝岐</td></tr><tr><td>相双</td><td>相馬、飯館、浪江、川内、広野</td></tr><tr><td>いわき</td><td>山田、小名浜</td></tr></table>	建設事務所管内	観測地点	県北	茂庭、梁川、福島、簗倉、二本松	県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川	県南	白河、東白川	会津若松	金山、若松	喜多方	桧原、喜多方、西会津、猪苗代	南会津	只見、南郷、田島、桧枝岐	相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野	いわき	山田、小名浜	29 総合評価方式における技術提案書の確認	1 内容	※総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について 総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式（確認書）」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある		
建設事務所管内	観測地点																								
県北	茂庭、梁川、福島、簗倉、二本松																								
県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川																								
県南	白河、東白川																								
会津若松	金山、若松																								
喜多方	桧原、喜多方、西会津、猪苗代																								
南会津	只見、南郷、田島、桧枝岐																								
相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野																								
いわき	山田、小名浜																								

株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目92番地 TEL 024(932)5890
FAX 024(932)5891

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

建築工事特記仕様書（9）

S=✓

NON

S=✓

執図 吉田

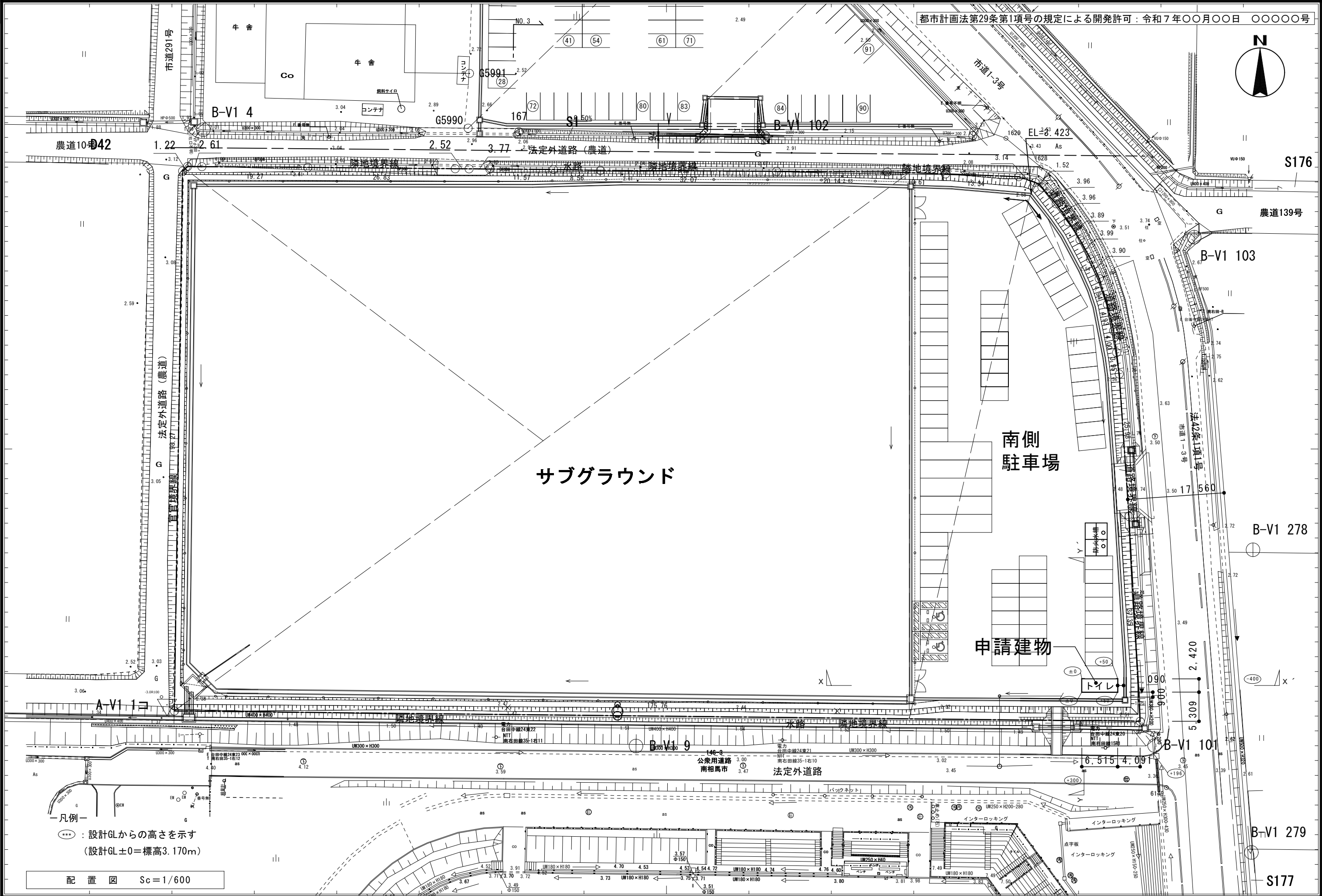
A 枚ノ内 11

S=✓

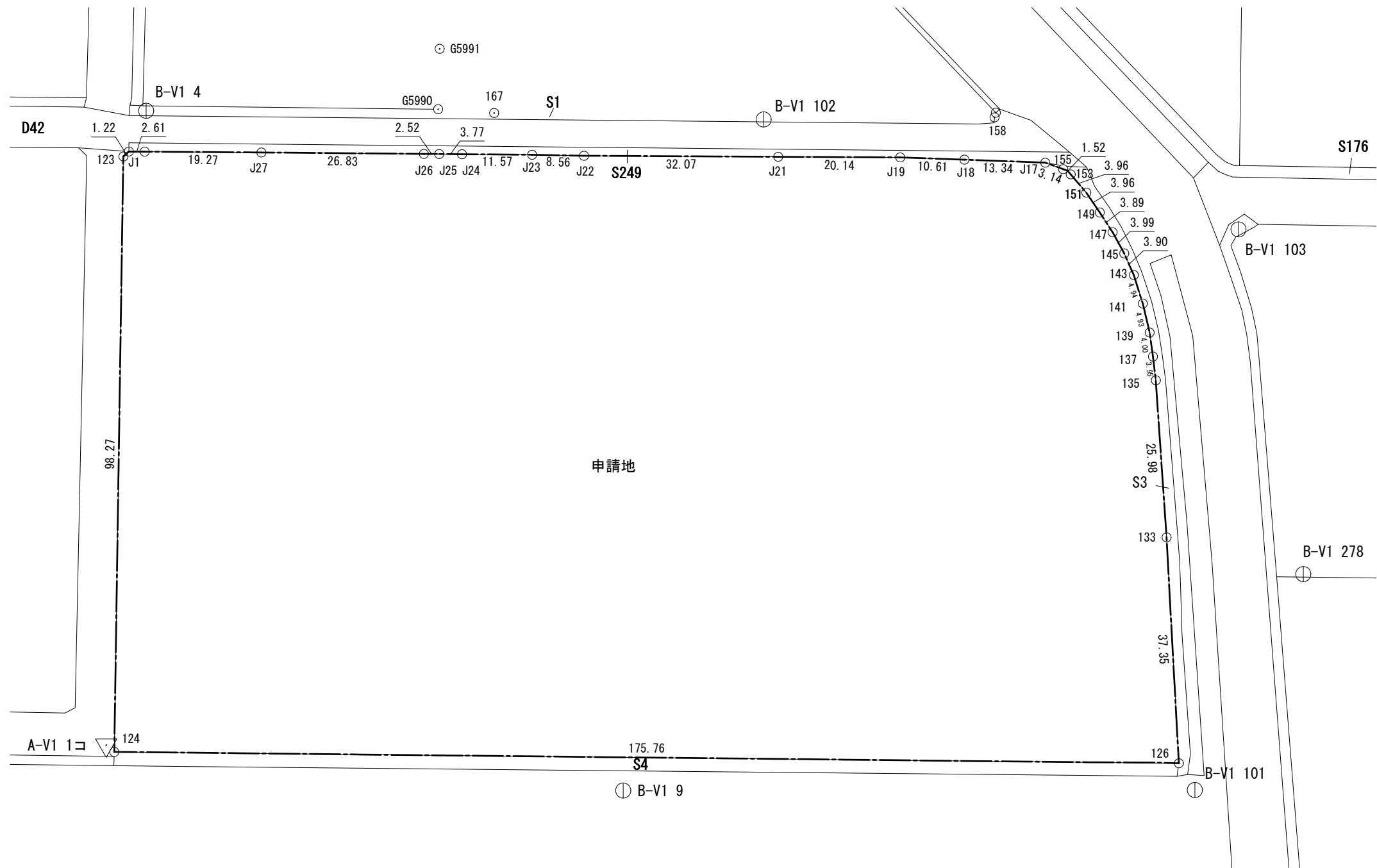
S=✓

担当 園分

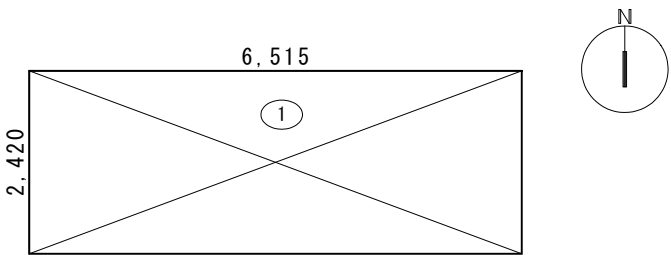
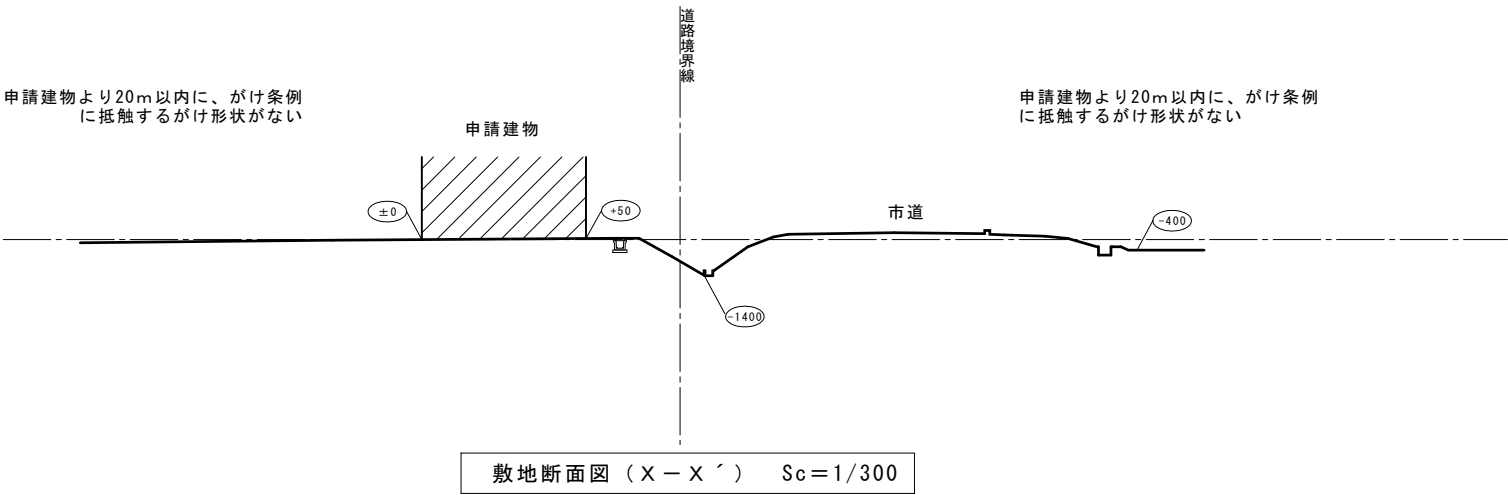
令和 7年 6月



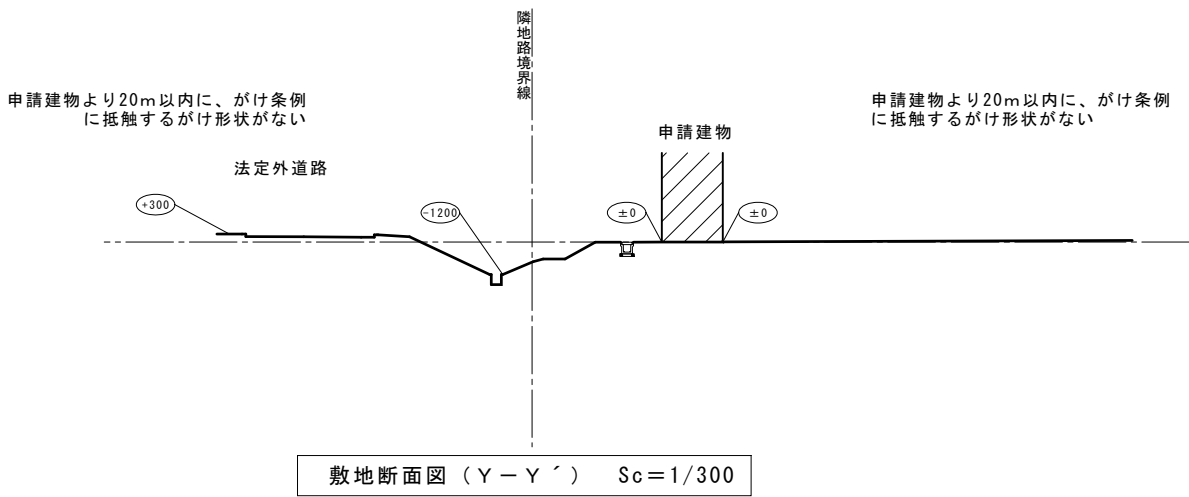
株式会社 山口建築設計事務所 郡山市八山田西丁目2番地 TEL 024 (832) 5860 FAX 024 (832) 5861	変更事項 1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号 管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優	みちのく鹿島球場 サブグラウンドトイレ建築 工事設計図	配置図 S=1/600	S=1/600 執図 吉田 担当 園分 A 枚/内 12 令和 7年 6月
---	---	---	---------------------------	--



地 番 測 点	X	Y	X-X	Y (X-X)	边 長
J1	188820.308	101994.774	0.800	81595.819200	2.61
J28	188820.278	101997.387	-0.167	-17033.563629	19.27
J27	188820.141	102016.653	-0.374	-38154.228222	26.83
J26	188819.904	102043.484	-0.257	-26225.175388	2.52
J25	188819.884	102046.006	-0.049	-5000.254294	3.77
J24	188819.855	102049.780	-0.121	-12348.023380	11.57
J23	188819.763	102061.354	-0.257	-26229.767978	8.56
J22	188819.598	102069.911	-0.328	-33478.930808	32.07
J21	188819.435	102101.980	-0.268	-27363.330640	20.14
J19	188819.330	102122.121	-0.477	-48712.251717	10.61
J18	188818.958	102132.724	-0.874	-89264.000776	13.34
J17	188818.456	102146.059	-1.563	-159654.290217	3.14
155	188817.395	102149.016	-1.925	-196636.855800	1.52
153	188816.531	102150.269	-3.874	-395730.142106	3.96
151	188813.521	102152.846	-6.289	-642439.248494	3.96
149	188810.242	102155.061	-6.540	-668094.098940	3.89
147	188806.981	102157.182	-6.758	-690378.235956	3.99
145	188803.484	102159.110	-7.060	-721243.316600	3.90
143	188799.921	102160.684	-8.270	-844868.856680	4.94
141	188795.214	102162.168	-9.501	-970642.758168	4.93
139	188790.420	102163.301	-8.752	-894133.210352	4.00
137	188786.462	102163.846	-7.877	-804744.614942	3.95
135	188782.543	102164.327	-29.834	-3047970.531718	25.98
133	188756.628	102166.095	-63.207	-6457612.366665	37.35
126	188719.336	102168.128	-35.413	-3618079.916864	175.76
124	188721.215	101992.377	100.142	10213720.617534	98.27
123	188819.478	101993.875	99.093	10106879.055375	1.22
倍 面 積	-33842.478224				
面 積	16921.239112				
地 積	16921.23 m ²				

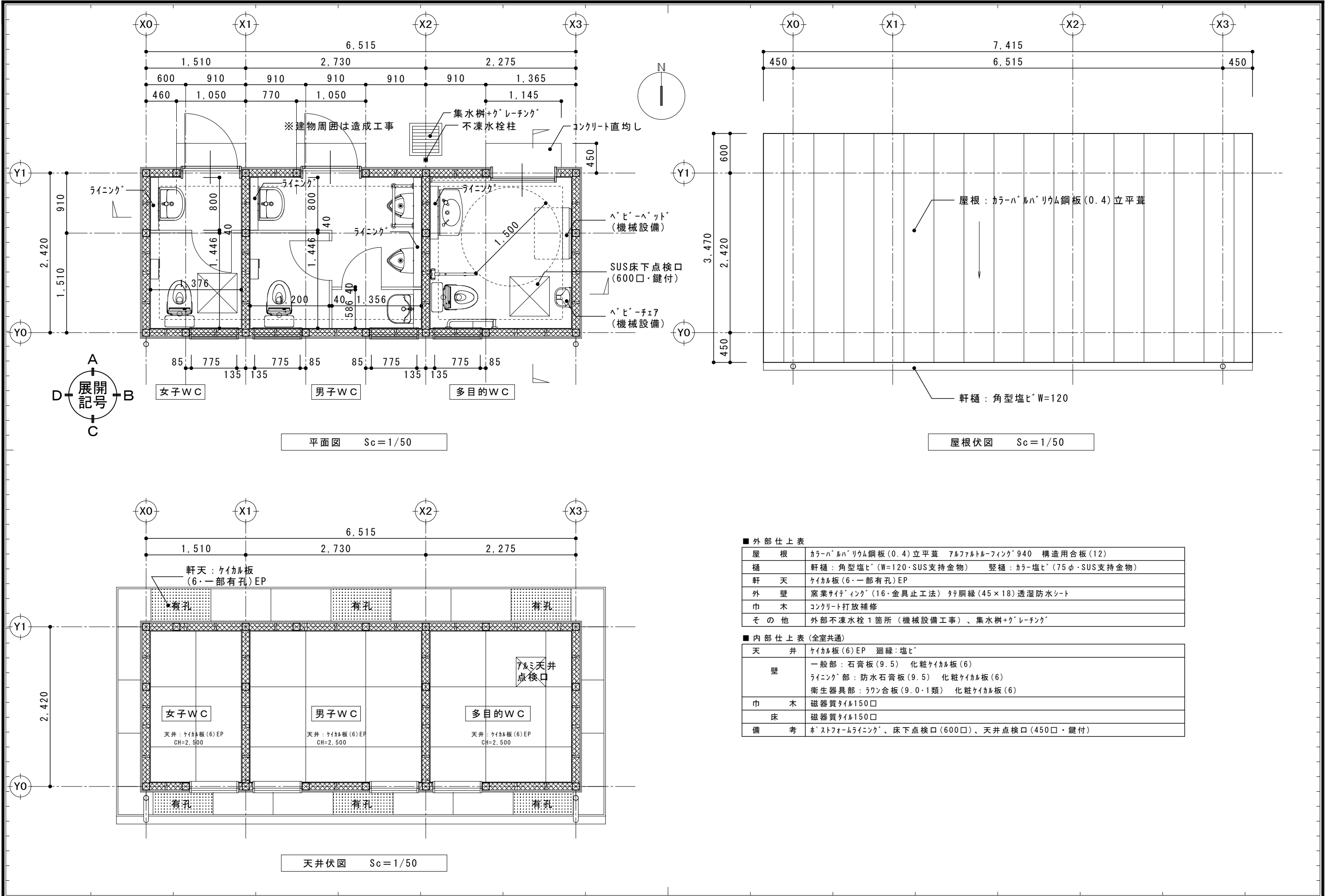


建物求積図 Sc=1/100

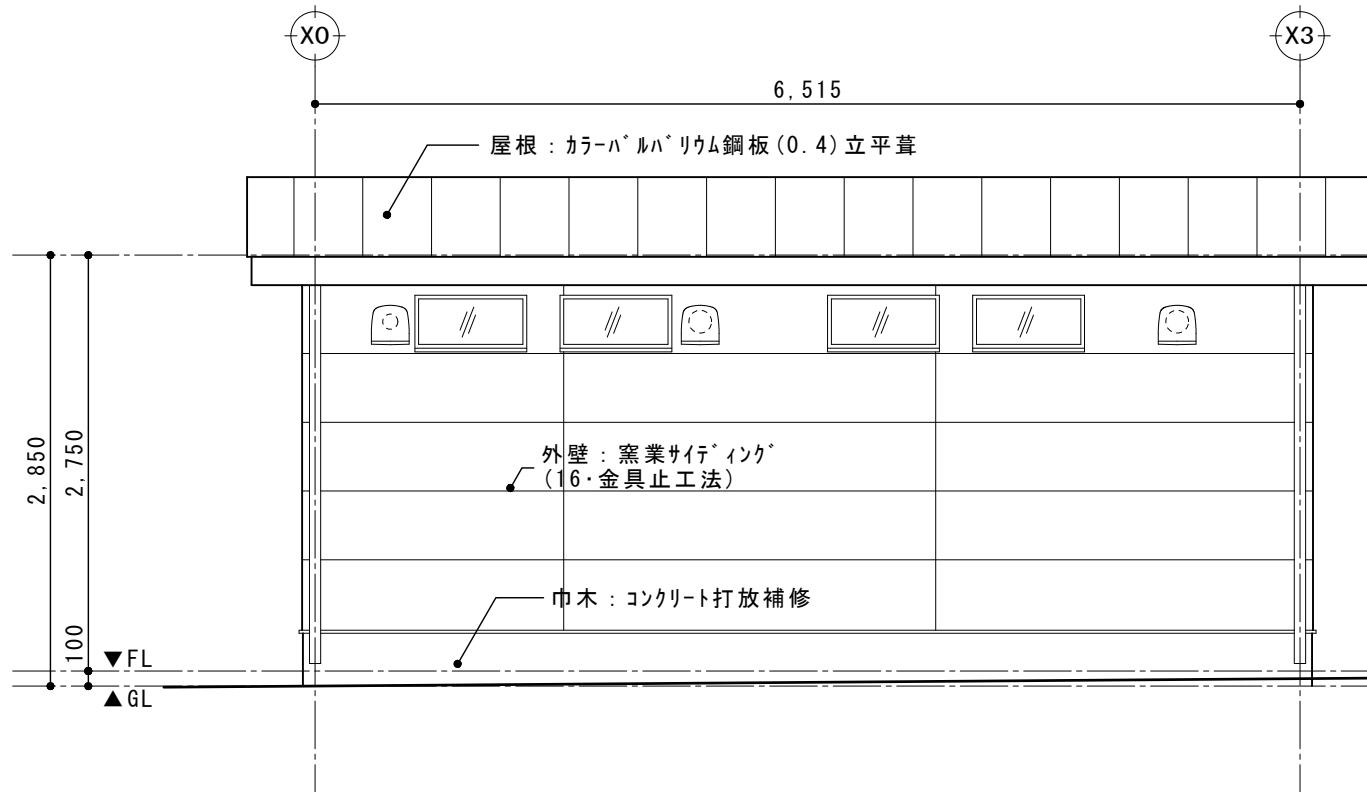


■ 建物求積表

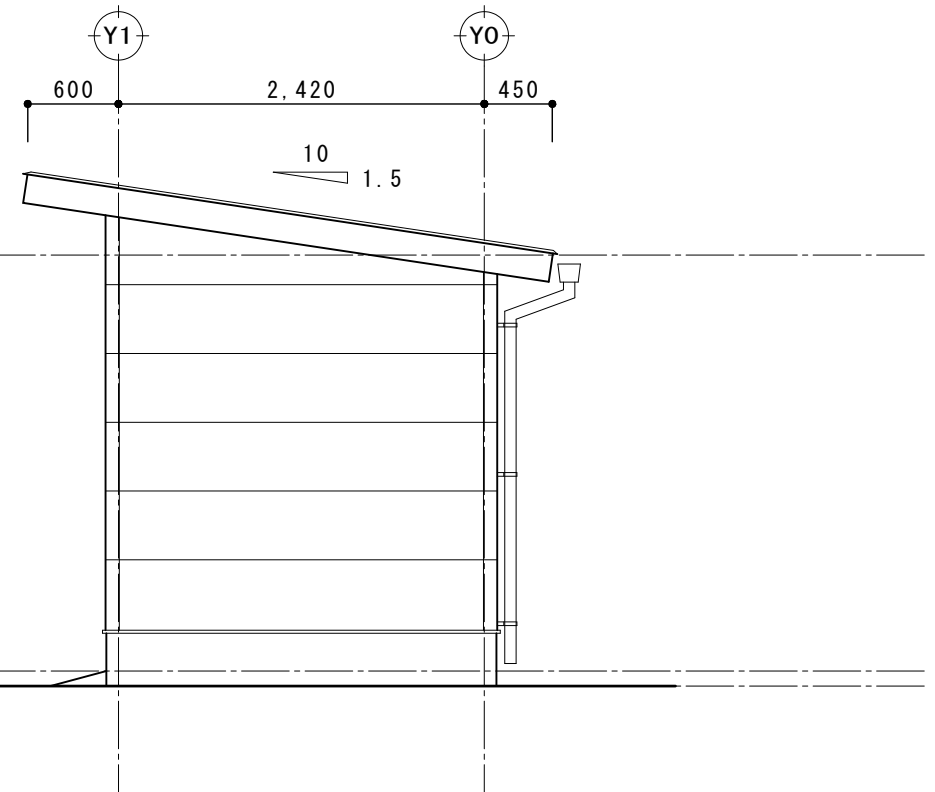
番号	底辺 (m)	高さ (m)	面積
1	6.515	2.420	15.7663
建築面積			15.76 m ²
延床面積			15.76 m ²



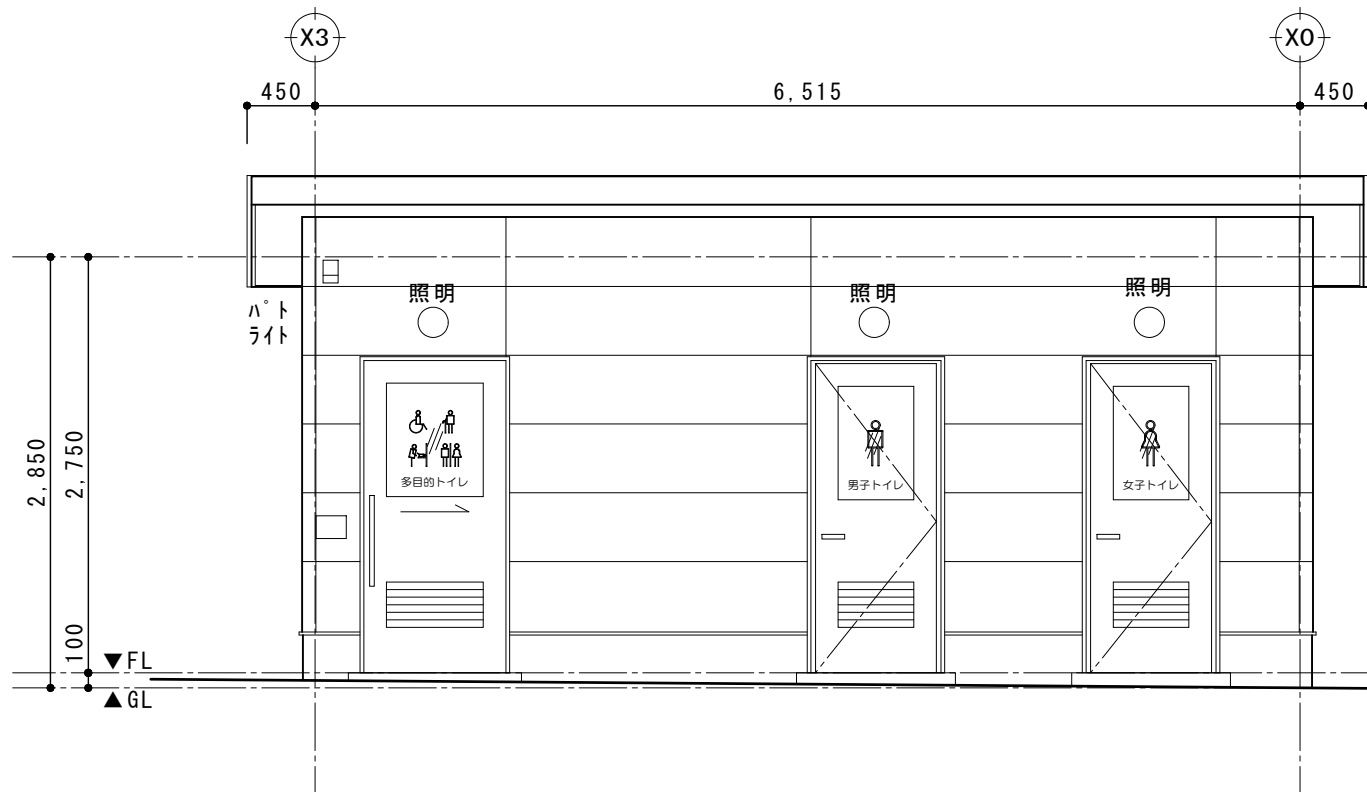
■ 外部仕上表	
屋根	カラーハルハリウム鋼板(0.4)立平葺 アルファルトルーフィング 940 構造用合板(12)
樋	軒樋：角型塩ビ(W=120・SUS支持金物) 縦樋：カラー塩ビ(75φ・SUS支持金物)
軒天	ケイカル板(6・一部有孔)EP
外壁	窯業サイディング(16・金具止工法) タテ胴縁(45×18)透湿防水シート
巾木	コンクリート打放補修
その他	外部不凍水栓1箇所(機械設備工事)、集水桝+クレーチング
■ 内部仕上表(全室共通)	
天井	ケイカル板(6)EP 廻縁：塩ビ
壁	一般部：石膏板(9.5) 化粧ケイカル板(6)
	ライニング部：防水石膏板(9.5) 化粧ケイカル板(6)
	衛生器具部：ラワン合板(9.0・1類) 化粧ケイカル板(6)
巾木	磁器質タイル150φ
床	磁器質タイル150φ
備考	ホースフォームライニング、床下点検口(600φ)、天井点検口(450φ・鍵付)



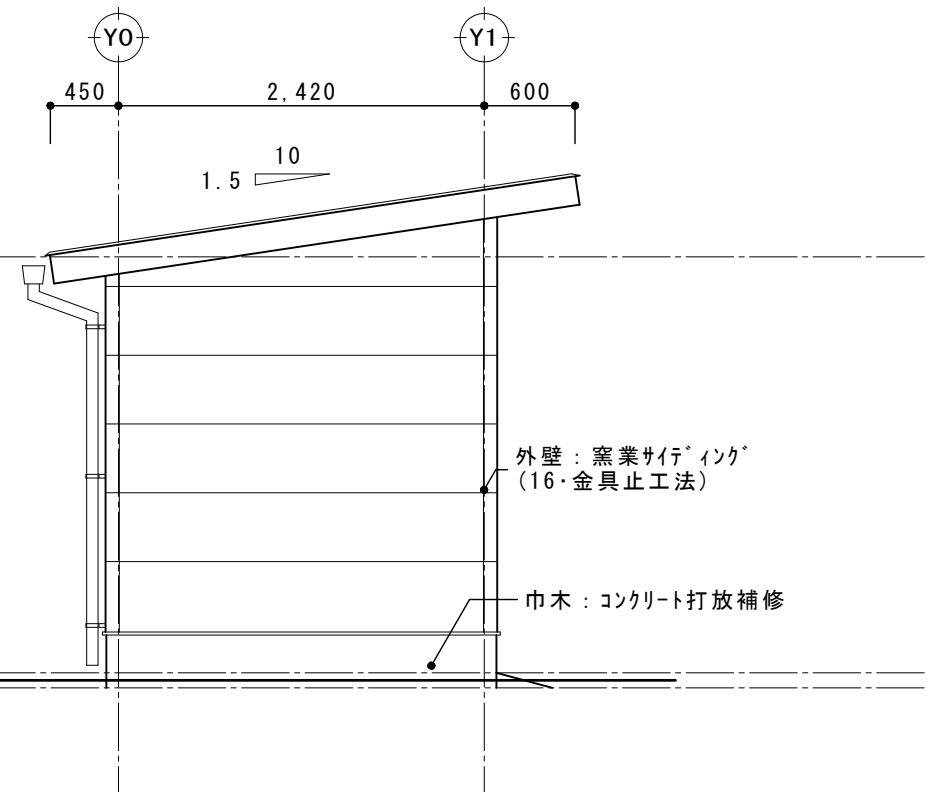
南側立面図 Sc=1/50



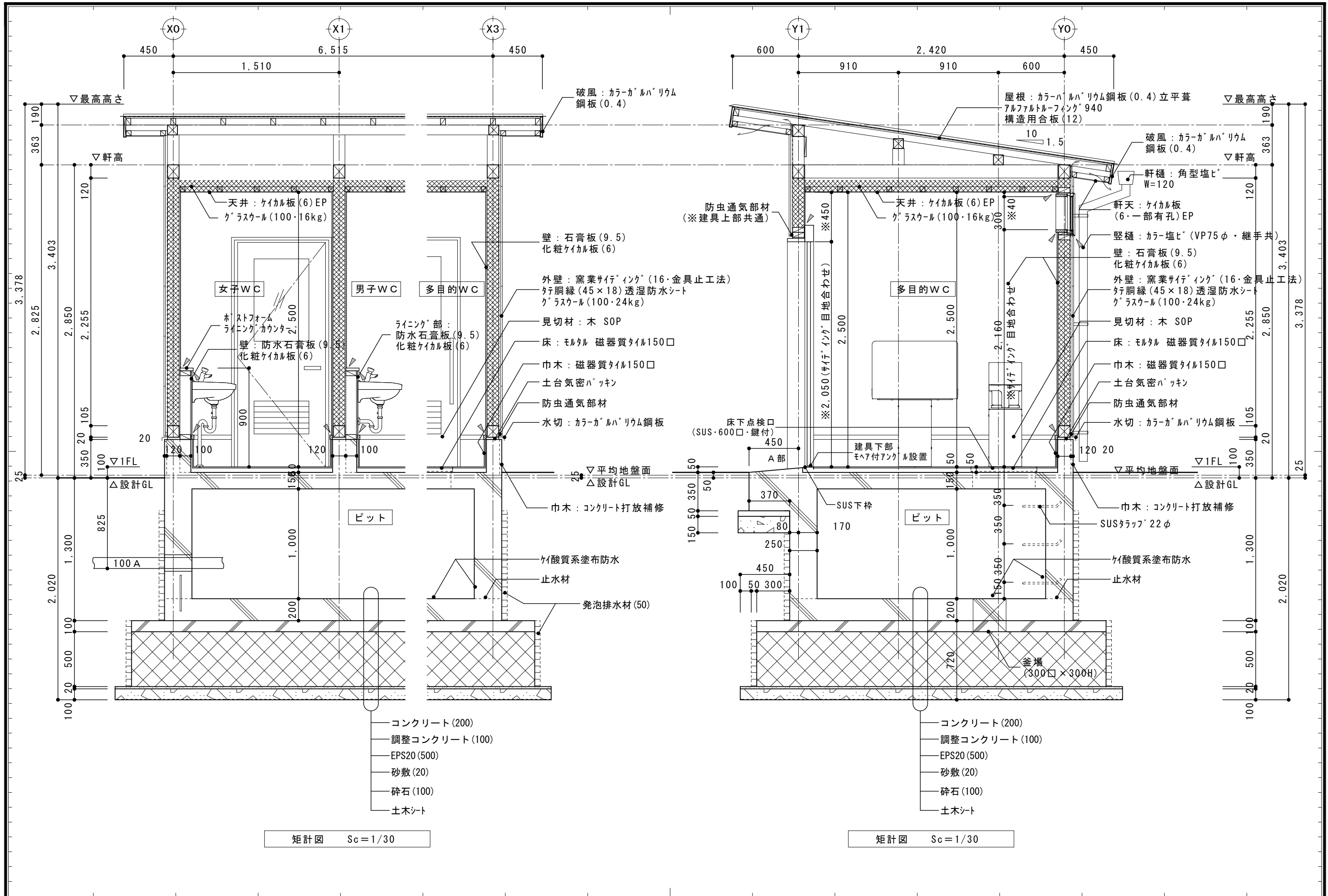
西側立面図 Sc=1/50

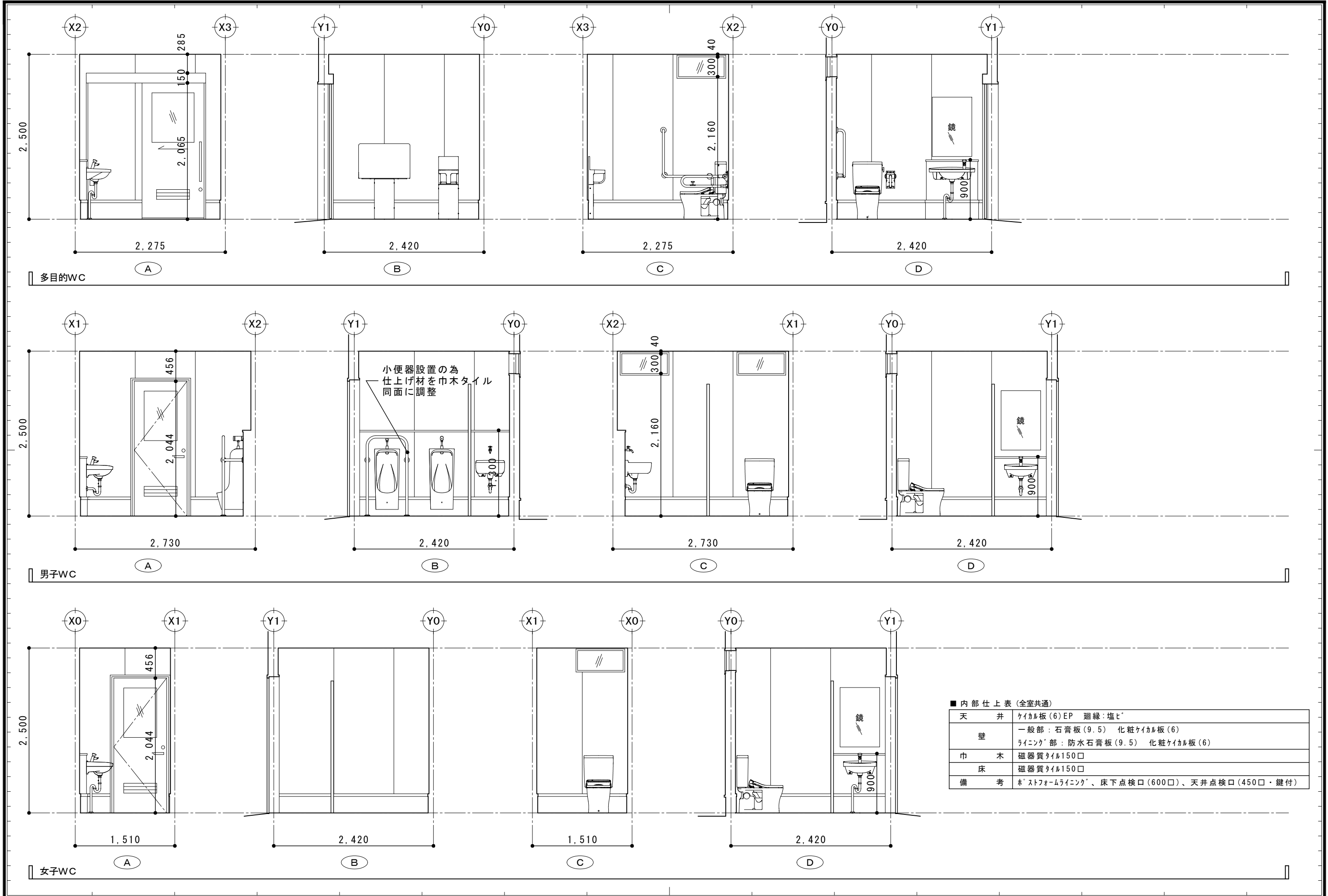


北側立面図 Sc=1/50



東側立面図 Sc=1/50



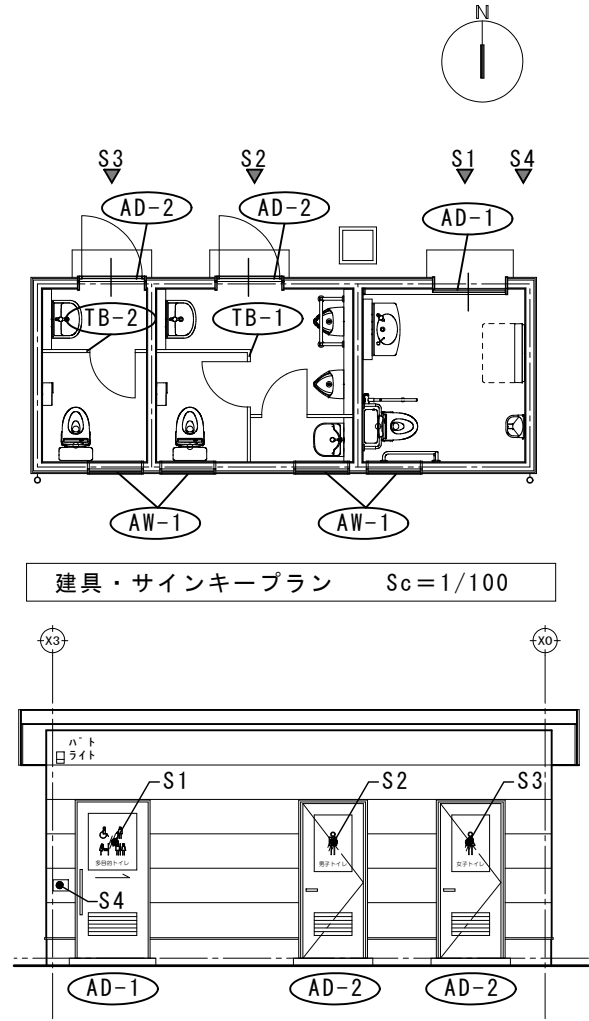


■ 建 具 表

記号・数量	A D - 1 ×1ヶ所 多目的WC	A D - 2 ×2ヶ所 男女子WC	A W - 1 ×4ヶ所	T B - 1 ×1ヶ所 男子WC	T B - 2 ×1ヶ所 女子WC
形状・寸法					
種別・方法	アルミ製片引戸（自閉式ハンガー）	アルミ製片開戸	アルミ製F1X窓（半外付）	トイレブース	トイレブース
見 込	80	70	70	40 高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）	40 高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）
硝 子	透明強化（5・飛散防止乳白フィルム貼）	透明強化（5・飛散防止乳白フィルム貼）	透明強化（5・飛散防止乳白フィルム貼）		
金 物	SUS引棒、表示錠（大型レバー）、引戸錠、内外3方アルミ額縁	レバーハンドル、開戸錠、丁番、内外3方アルミ額縁	内部4方アングル	笠木、巾木金物（SUS製）、ロック、戸当たり（SUS製）、壁付レール、	笠木、巾木金物（SUS製）、ロック、戸当たり（SUS製）、壁付レール、
金 物	SUS靴摺、モヘア付アングル、その他附属品一式	DC、戸当、SUS靴摺、その他附属品一式	その他附属品一式	ドアフレーム、バネエッジ（アルミ押出型材）、吊元指はさみ防止仕様、アルミエッジ	ドアフレーム、バネエッジ（アルミ押出型材）、吊元指はさみ防止仕様、アルミエッジ

■ サイン詳細図

S - 1 詳細図 S : 1 / 8	S - 2 詳細図 S : 1 / 8	S - 3 詳細図 S : 1 / 8	S - 4 詳細図 S : 1 / 8
・建具にカットニングシート貼 ・内容・書体・色及び取付け位置は監督員との協議による。 多目的トイレ	・建具にカットニングシート貼 ・内容・書体・色及び取付け位置は監督員との協議による。 男子トイレ	・建具にカットニングシート貼 ・内容・書体・色及び取付け位置は監督員との協議による。 女子トイレ	・アクリル板（厚4.0）掘込文字 ・内容・書体・色及び取付け位置は監督員との協議による。 多目的トイレで異常があった場合 回転灯が点灯します。



株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目02番地 TEL 024(032)5880
FAX 024(032)5881

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

建具表

S=1/

50

S=1/

換気 吉田

A 枚/内 19

サイン詳細図

S=1/

8

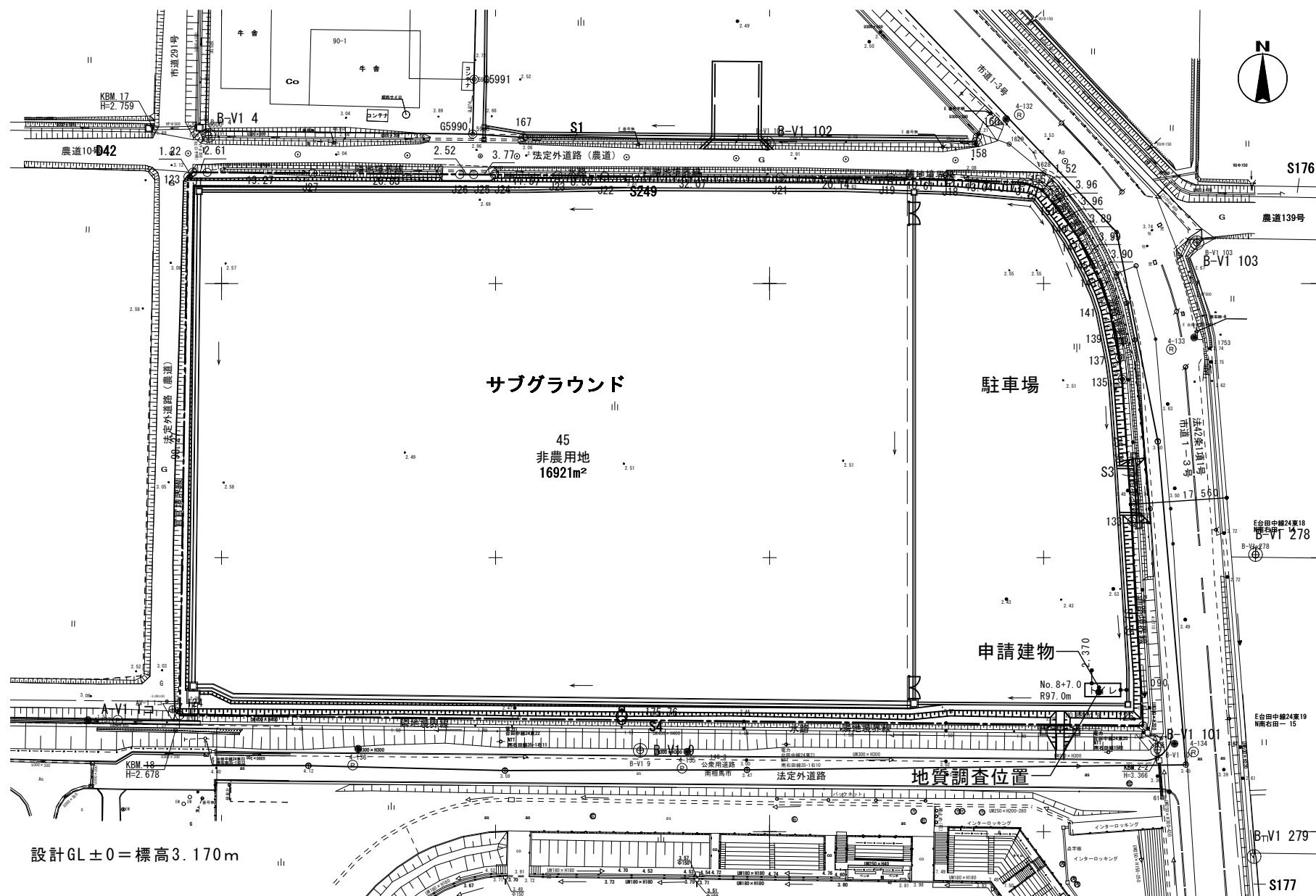
建具・サインキープラン

S=1/

100

担当 図分

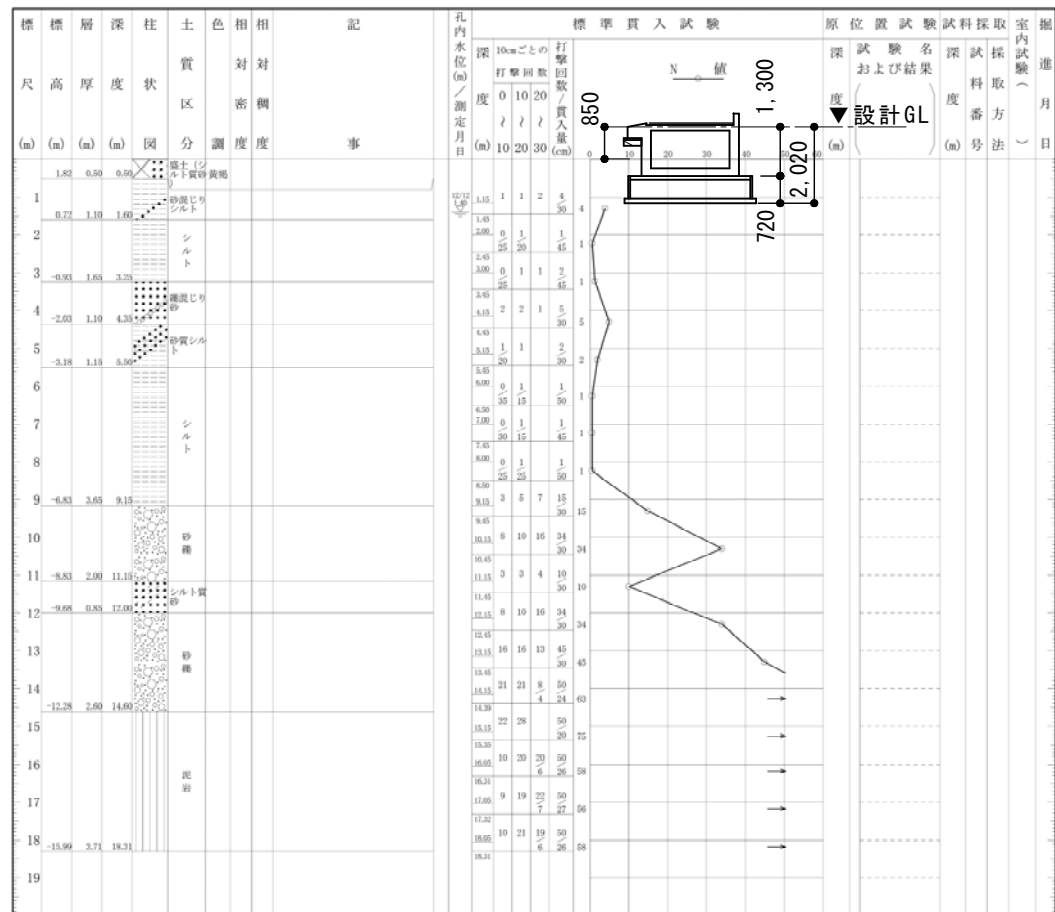
令和 7年 6月



設計GL±0＝標高3.170m

地質調査位置図 Sc=1/1,000

調査名		みちのく鹿島球場サブグラウンド実施設計業務委託		シートNo		1	
事業・工事名		B-1		調査位置		南相馬市鹿島区北右田地内	
発注機関		南相馬市		調査期間		令和6年12月11日～6年12月14日	
調査業者名		株式会社福建コンサルタント		主任技師		斎藤利光	
調査者名		株式会社福建コンサルタント		現代人		田中邦彦	
孔口標高		2.32m		地盤勾配		北 0° 0' 90° 東	
総掘進長		18.31m		使用機種		ハンマー落下用機	
						ポンプ	



株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目2番地 TEL 024(832)5880
FAX 024(832)5881

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

地質調査位置図

S=1/1,000

地質調査報告書

S=1/1,000

執図 吉田

A 枚/内 20

担当 園分

令和 7年 6月

地盤置換工法特記仕様書

技術審査証明 BL審査証明-054

1, 工法概要

本工法は、基礎下地盤を掘削し、軽量地盤（ジオフォーム）に置換え軽量地盤を構築する。
置換される土や盛土との比重差分、増加応力を軽減し建物の沈下を抑制する。
軽量地盤は、建築設計図に表記ある資料を確認し、物性の規格と数量、形状を設計されたものを使用する。
施工は、ジオフォーム施工図と施工手順書に従って関連する工事と連係して工事を行う。

使用する材料の物性、規格、強度

〔表－１〕 軽量地盤材の物性・規格

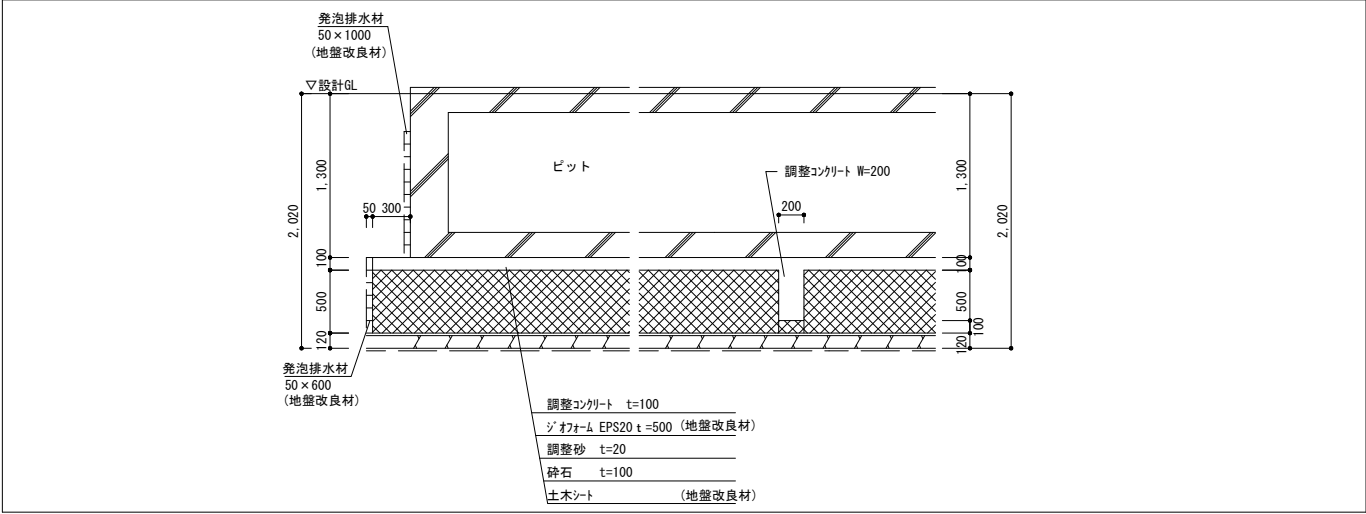
主な効果	荷重軽減（軽量盛土・かさ上げ）			
材料名	ジオフォームEPS プレカット品			
単位体積重量 (kg/m ³)	30	25	20	16
密度 (kg/m ³) ※1	30 ±2.0	25 ±1.5	20 +1.5 -1.0	16 ±1.0
許容圧縮強さ (kN/m ²) ※2、3	90.0	70.0	50.0	35.0

※1 試験方法 JIS K7222 ※2 試験方法 JIS K7220 ※3 地震時は許容圧縮応力度の割増係数 1.5

〔表－２〕 耐油耐薬品性

薬品の種類	反応	薬品の種類	反応
塩酸	○	無機塩	○
硫酸	○	セメント	○
硝酸	○	海水	○
水酸化ナトリウム	○	アスファルト	×※1
水酸化カリウム	○	LPG	○
動植物油	○	LNG	○
ガソリン	×	水性塗料	○
重油	△	油性塗料	×
グリース	○	消毒液	△
脂肪族炭化水素	△	肥料(N、P、K)	○
芳香族炭化水素	×	除草剤	○※2
ハロゲン族炭化水素	×	殺虫剤	○※2
ケトン類	×	殺菌剤	○※2
エステル類	×	エーテル類	○
(○：安定 △：膨潤 ×：粘度が低い場合 ※希釈状態)			

2, 軽量地盤設計



2.2 軽量地盤材

部位	厚さ (mm)	材料名	密度 (kg/m ³)	圧縮強さ (kN/m ²)	使用材料
上段	500	ジオフォームEPS	16	35.00	○
			20	50.00	
			25	70.00	
			30	90.00	
下段	—	ジオフォームEPS	16	35.00	
			20	50.00	
			25	70.00	
			30	90.00	
中段	—	ジオフォームEPS	16	35.00	
			20	50.00	
			25	70.00	
			30	90.00	

その他材料	厚さ	強度
土木シート	0.2mm以上	引張 1000N/5cm(kg)
調整コンクリート	30mm以上	FC-18

3, 一般事項

工事実施前に、施工計画書を工事監理者に提出する。
施工計画書：施工業者は、敷地条件を考慮した計画の作成。
施工管理・品質管理・安全管理・工程管理を行う。

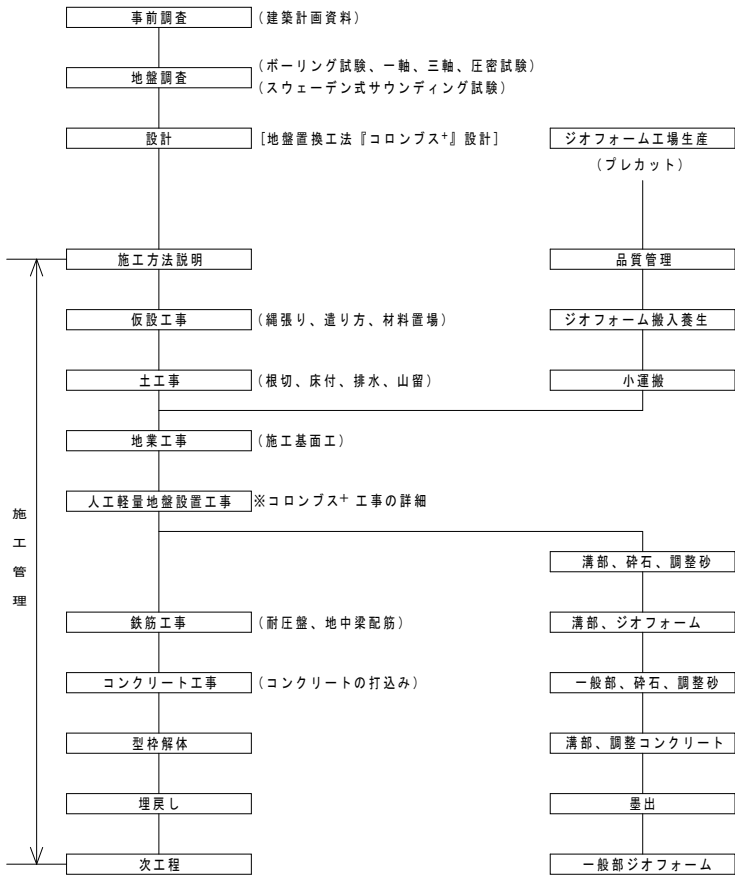
施工計画書には下記の事項を具体的に記述する。

施工計画書記述事項	
記述事項	記述内容
工事概要	工事名称、工事場所、受注形態、工程表
現場組織表	施工組織をフロー形状に示す
施工方法	施工フローチャート、施工準備手順、材料搬入計画
施工管理	施工管理基準と施工管理手法、工程管理、工事写真管理
品質管理	品質検査の方法及び不適合管理方法、管理記録
安全衛生管理	安全管理体制、施工環境による留意点、重点施策等

参考図

4, 施工要領

施工に関しては、〔図－１〕に関連フローを含めた施工フローを示す。
施工上の注意事項を〔表－３〕に示す。



〔図－１〕 地盤置換工法『コロンプス+』関連工事を含めたフロー

〔表－３〕 施工上の注意事項

項目	注意事項
雨天時	基面に水が浮く雨天時、降雪時の施工は作業中止とする。
排水計画	湧水、降雨などによって軽量地盤材が浮上にならないように釜場を設け排水をする。
強風時	強風時は軽量地盤材が飛散しないよう固定またはネットなどで被っておく。
火気	施工時の火気、ストックヤードにおいての火気使用は厳禁とする。やむを得ず、使用する場合は現場責任者の許可を得る。
気温	軽量地盤敷設気温は特に定めない。
養生	施工が完了した区域は十分な養生を行い、軽量地盤材が損傷を受けないようにする。 ・鉄筋工事に使用するスラブ・梁下用スぺーサーには十分な強度・面積を有するプレートを取付け、軽量地盤材を保護しなければならない。

5, 施工管理記録

施工者は、担当検査員から『コロンプス+』に関する、管理並びに施工方法の指導を受け、検査報告書①に記載し、担当検査員に提出する。

株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目02番地 TEL 024(032)5860 FAX 024(032)5861

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項 _____

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

地盤置換工法特記仕様書

S=✓

NON

S=✓

S=✓

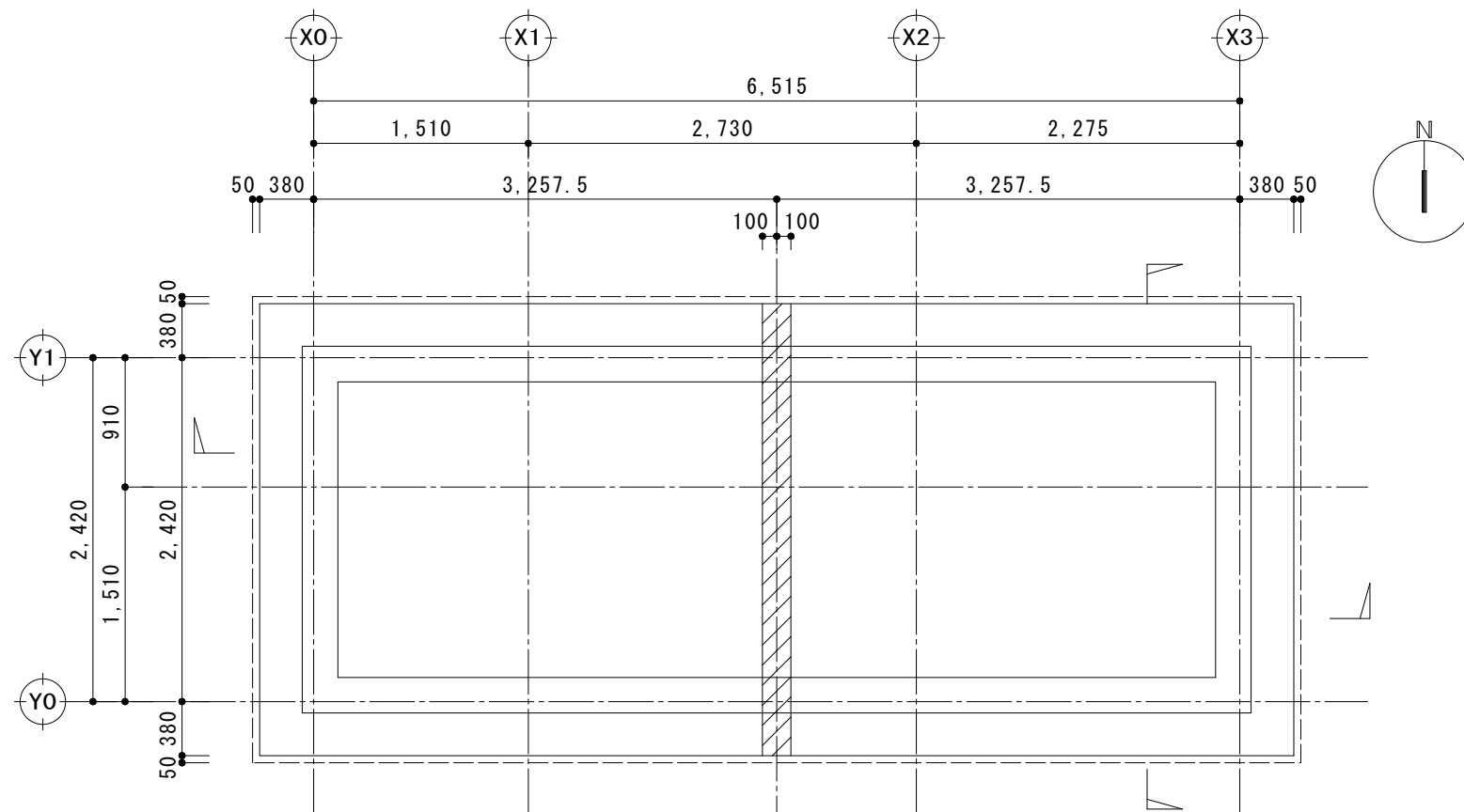
執図 吉田

A 枚/内 21

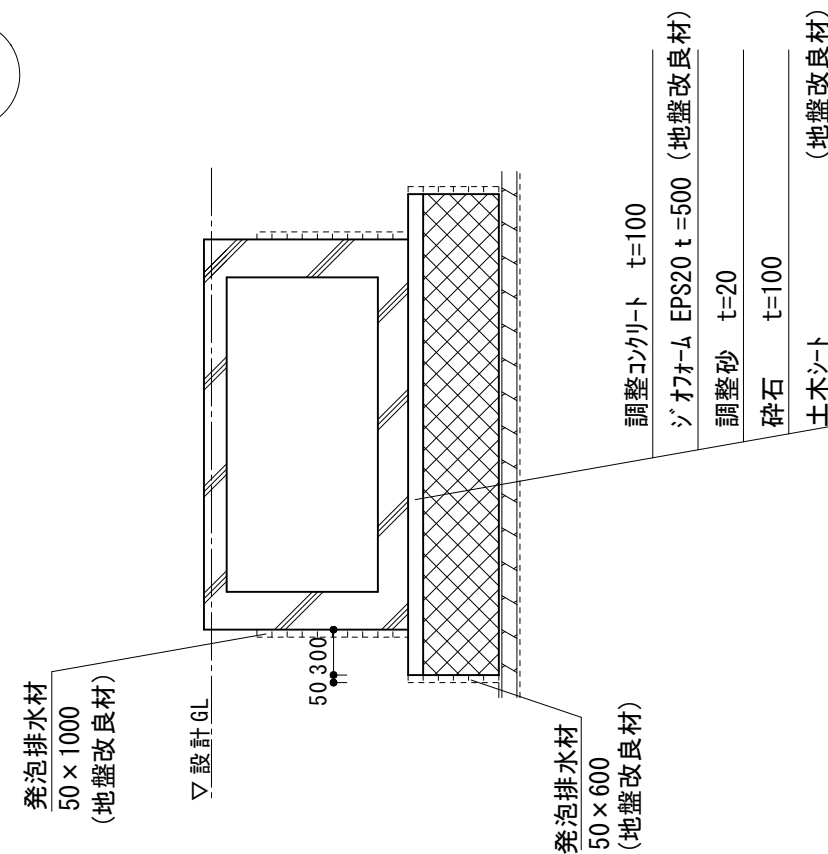
S=✓

担当 園分

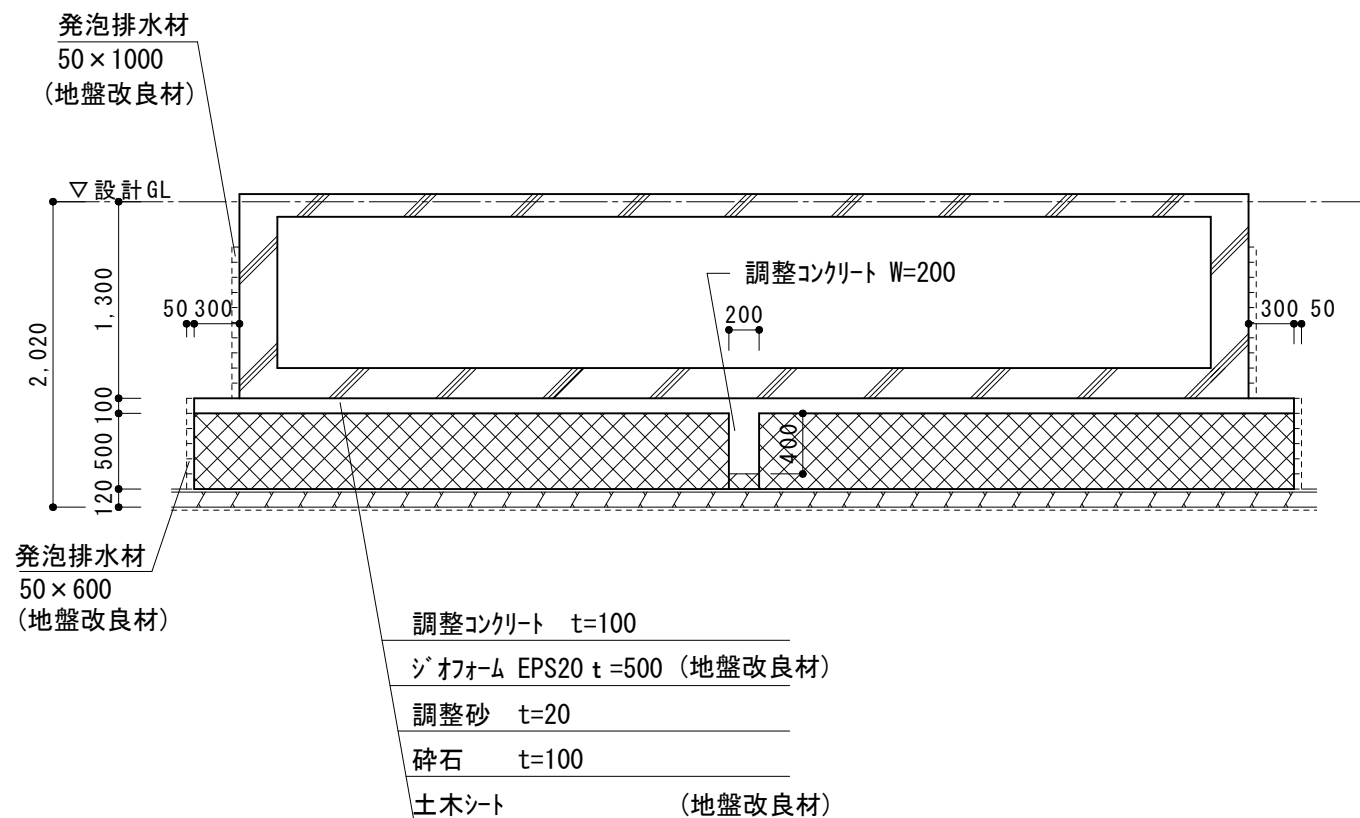
令和 7年 6月



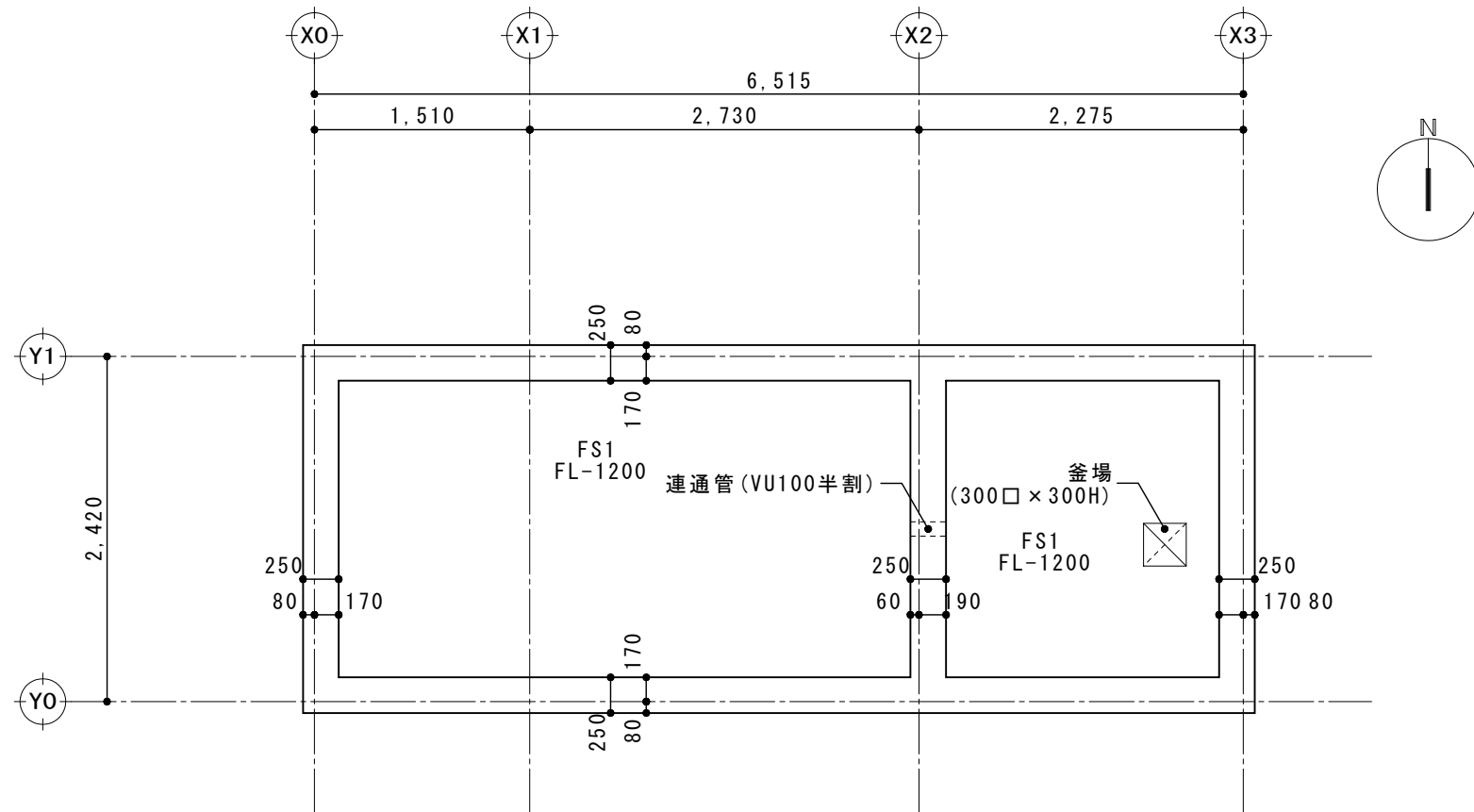
地盤置換平面図 Sc=1/50



地盤置換断面図 Sc=1/50



地盤置換断面図 Sc=1/50



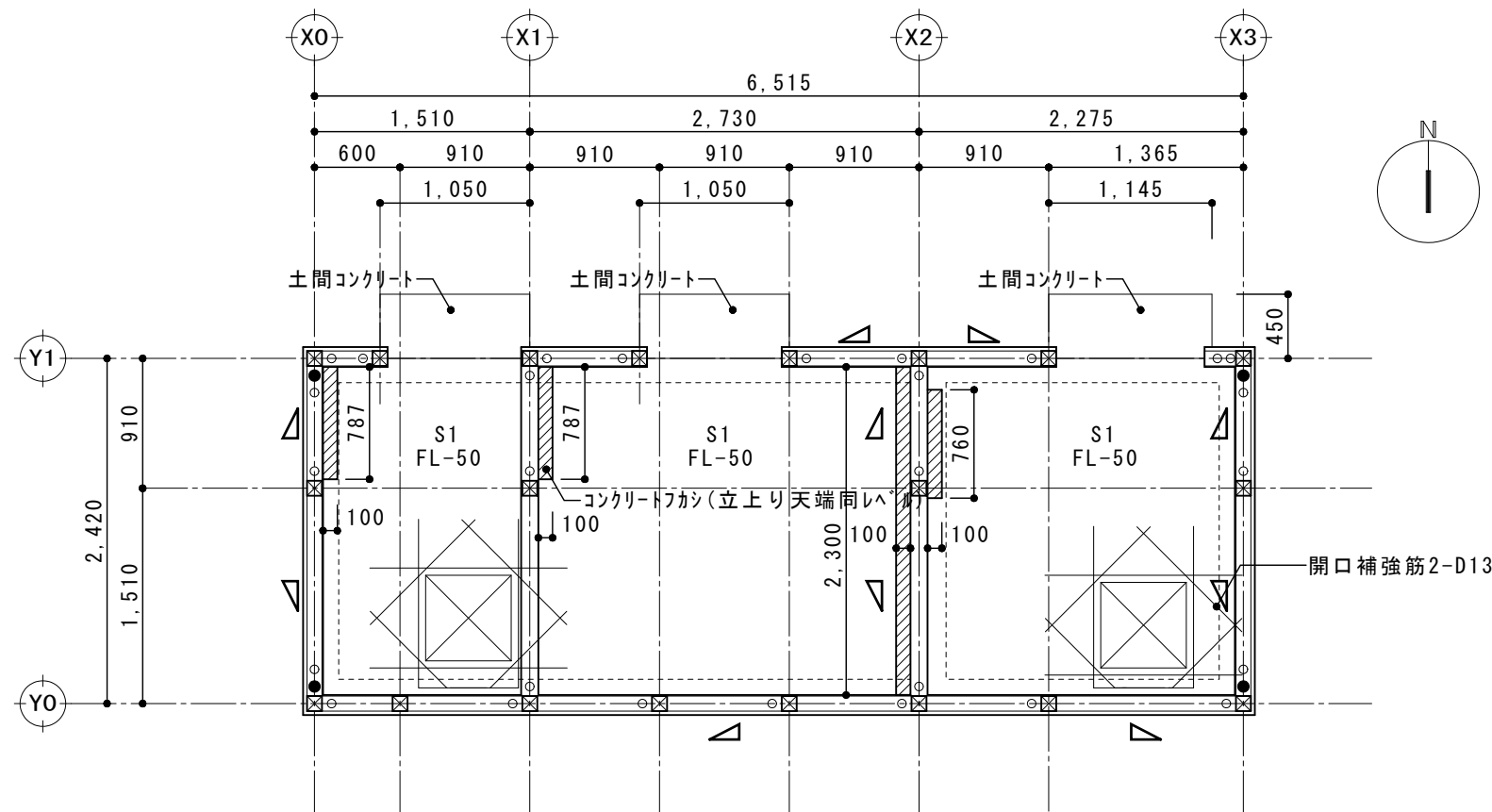
ピット伏図 Sc=1/50

■床版断面表

符 号	床板厚	位 置	短辺方向断面	長辺方向断面	備 考
FS1	200	上 端 筋	D13-@200	D13-@200	
		下 端 筋	D13-@200	D13-@200	
S1	150	上 端 筋	D10D13-@200	D10-@200	
		下 端 筋	D10-@200	D10-@200	

■コンクリート強度

適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	調合管理強度 F _m =N/mm ²		スラブ [°] (cm)	備 考
			A	B		
捨コンクリート	普通	1 8	1 8	1 8	1 5	
基礎、基礎梁、床スラブ	普通	2 1	2 4	2 7	1 8	



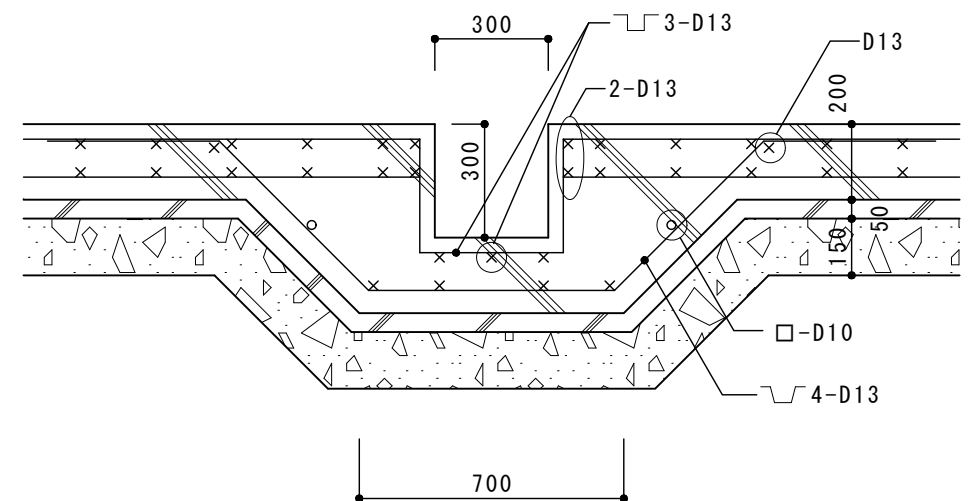
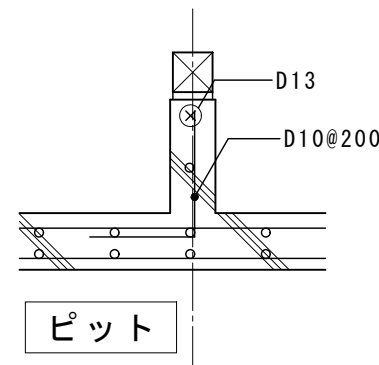
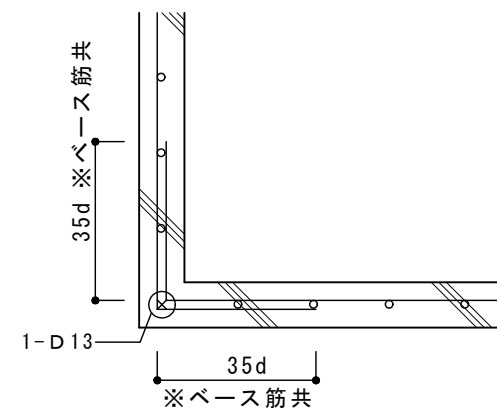
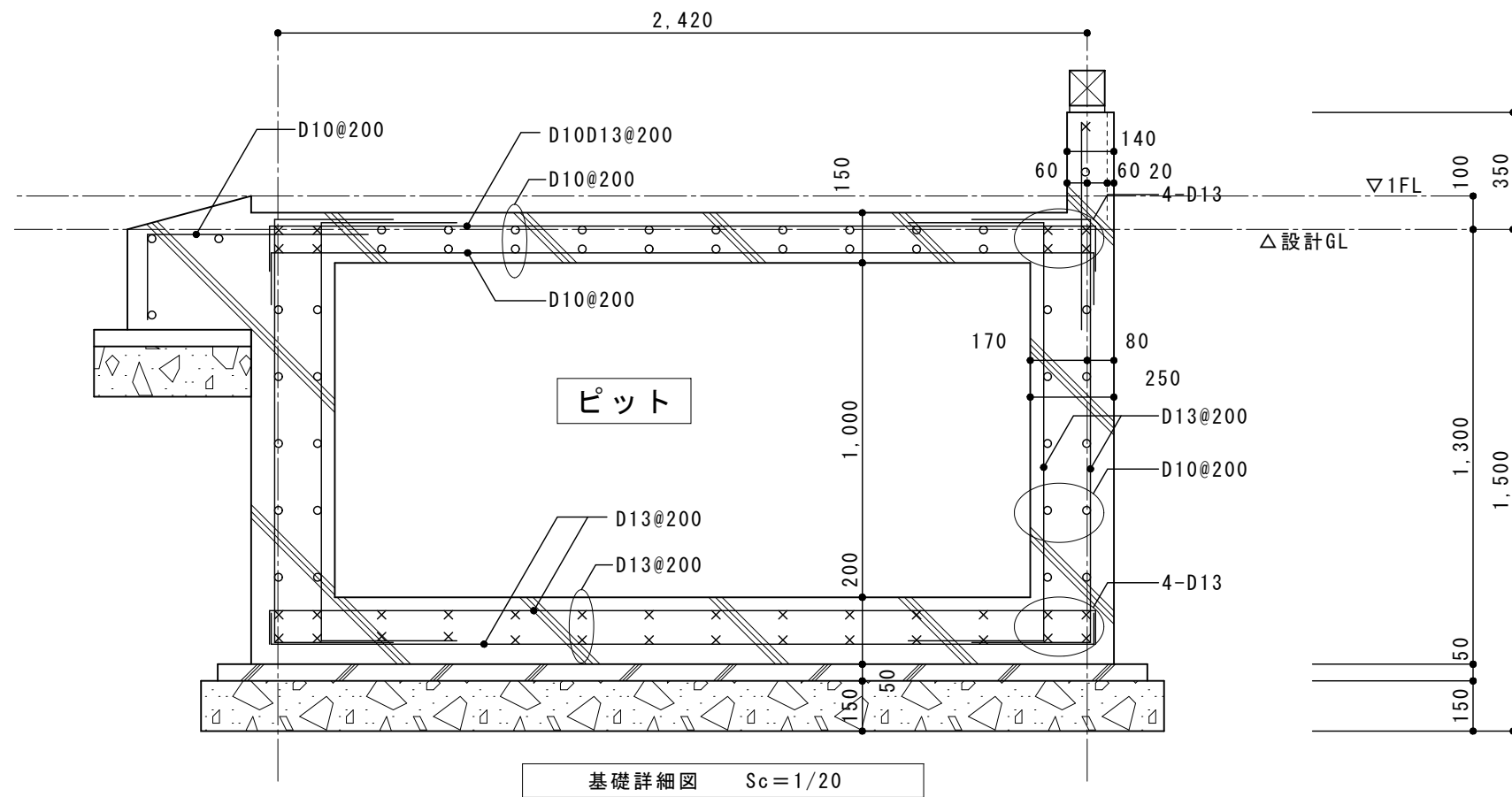
基礎伏図 Sc=1/50

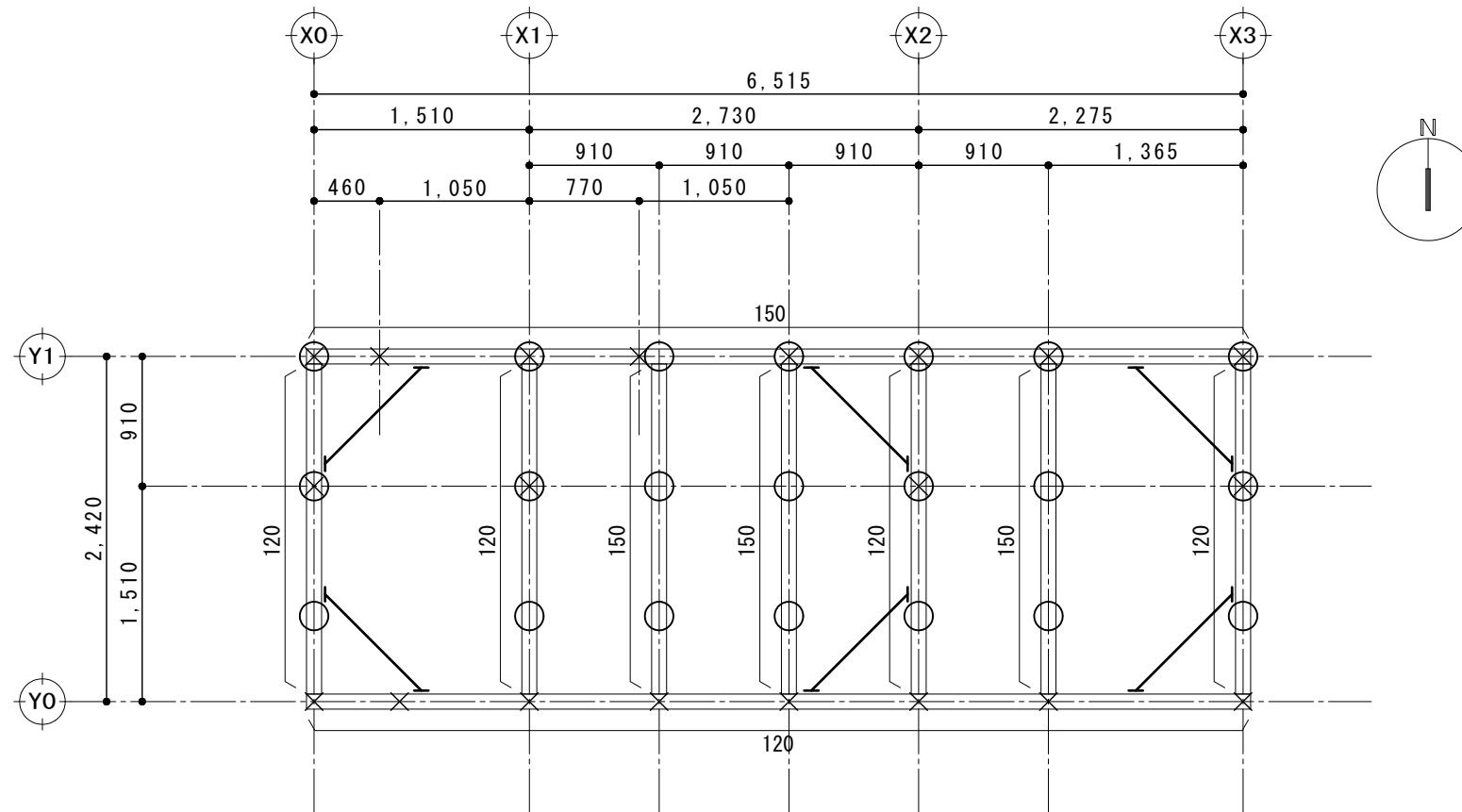
ー凡例ー (特記なきは下記を示す)

- : アンカーボルト (M12-400L、埋込深さ250mm以上)
 - ・耐力壁両端柱芯より200mm以内、隅柱芯より120mm内外
 - ・土台端部及び仕口箇所の上木端部共施工
 - ・ホールダウンアンカーボルト芯より120mm内外
 - ・上記以外は1.8m以内に施工

- : ホールダウン用アンカーボルト (M-16)
 - ・柱芯より120mm内外
 - ・20kNまで埋込深さ360mm以上
 - ・25kNまで埋込深さ408mm以上
 - ・35kNまで埋込深さ503mm以上

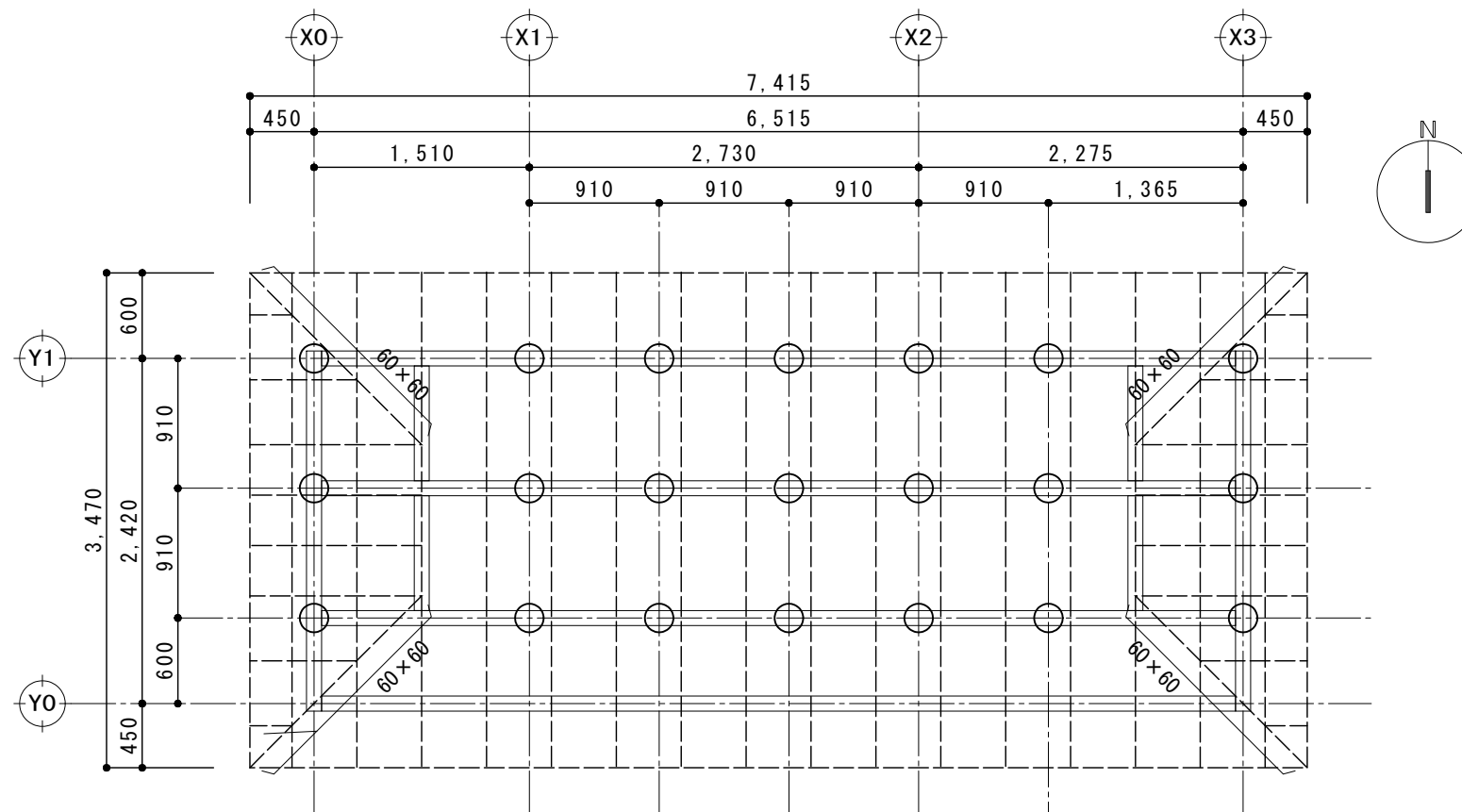
※土台 (105×105※防腐・防蟻材加圧注入)
※木材は地盤面より1m以内は防腐材塗
※構造用合板は全て特類2級を使用すること。
※床コンクリート打設時にはアンカーボルト
設置を考慮し施工。





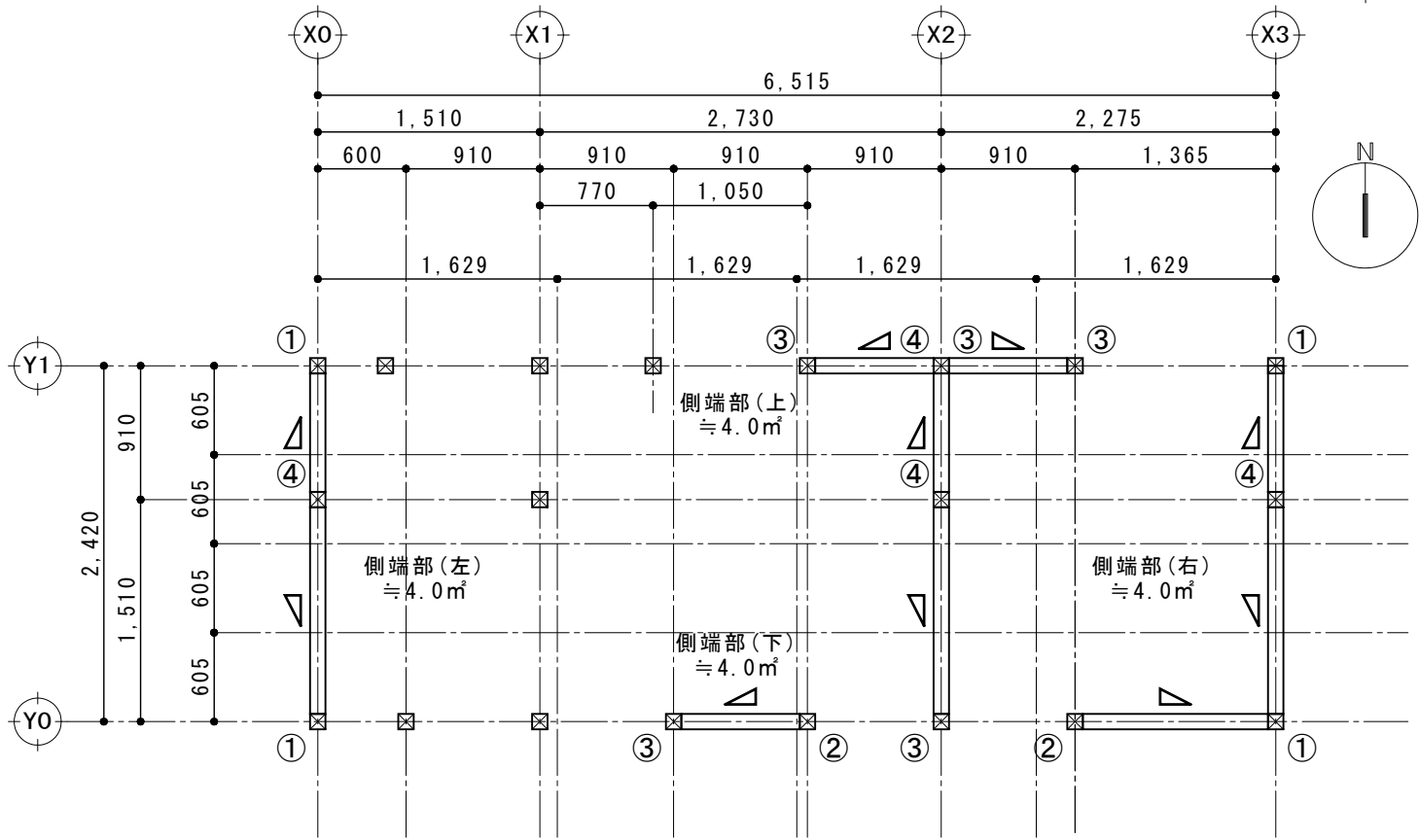
梁伏図 Sc=1/50

- 凡例— (特記なきは下記を示す)
- × : 下部柱位置 (105×105)
 - : 小屋束 (90×90)
 - : 梁・桁 (105×105)
※特記数値は梁成を示す幅は105
 - : 火打金物 (Zマ-ク)
※木材は地盤面より1 m以内は防腐材塗



小屋伏図 Sc=1/50

- 凡例— (特記なきは下記を示す)
- : 小屋束 (90×90)
 - : 母屋 (90×90)
 - - : 垂木 (45×60×455@)



耐力壁位置図 Sc=1/50

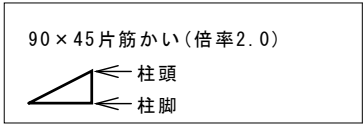
△ : 筋かい (詳細は右記による)

(**) : 設置金物記号 (N 値計算より)

※使用金物は柱頭・柱脚同仕様

※使用金物は表示記号以上の耐力金物使用

※耐力壁以外の軸組使用金物は『は』以上を使用



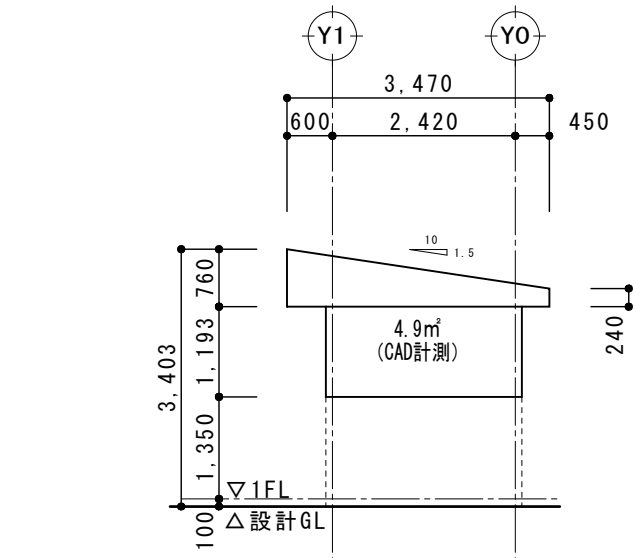
■必要壁量の計算

必要壁量の計算	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)			風圧力に対する必要壁量 (cm)						必要壁量 (cm)	
		床面積	屋根数値	必要壁量	X方向			Y方向			X方向	Y方向
					見付面積	表3数値	必要壁量	見付面積	表3数値	必要壁量		
	1F	15.76	12	189.12	4.90	50	245.00	13.70	50	685.00	245.00	685.00

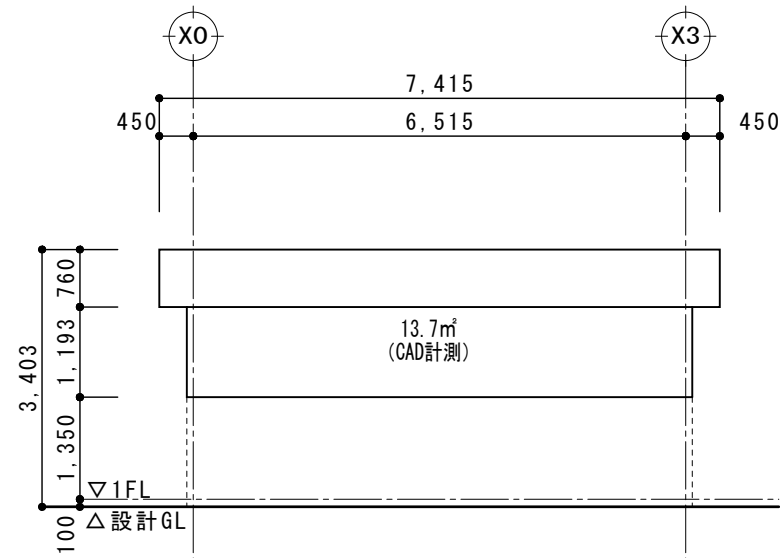
設計壁量の計算	階数	耐力壁の種類	倍率	有効壁量 (cm)									
				X方向					Y方向				
				壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長		壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長	
	1F	片筋交い(90×45)	2.0	91.00	3	2.0	546.00		91.00	3	2.0	546.00	
				136.00	1	2.0	272.00		151.00	3	2.0	906.00	
				合計	245.00	<	818.00	3.34	合計	685.00	<	1452.00	2.12

■耐力壁の配置

		X方向								Y方向									
		側端部（上）				側端部（下）				側端部（左）				側端部（右）					
存在壁量	階数	壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長	壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長	壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長	壁長	ヶ所数	倍率	有効壁長		
	1F	91.00	2	2.0	364.00	91.00	1	2.0	182.00	91.00	1	2.0	182.00	91.00	1	2.0	182.00		
						136.00	1	2.0	272.00	151.00	1	2.0	302.00	151.00	1	2.0	302.00		
		合計	364.00				合計	454.00				合計	484.00				合計	484.00	
必要壁量	階数	面積	屋根数値	必要壁量		面積	屋根数値	必要壁量		面積	屋根数値	必要壁量		面積	屋根数値	必要壁量			
	1F	4.00	11	44.00		4.00	11	44.00		4.00	11	44.00		4.00	11	44.00			
壁量充足率	階数	存在壁量/必要壁量			壁量充足率	存在壁量/必要壁量			壁量充足率	存在壁量/必要壁量			壁量充足率	存在壁量/必要壁量			壁量充足率		
	1F	364.00	/	44.00	8.27	454.00	/	44.00	10.32	484.00	/	44.00	11.00	484.00	/	44.00	11.00		
					1以上よりOK					1以上よりOK					1以上よりOK				



X方向加力時見付面積 Sc=1/100



Y方向加力時見付面積 Sc=1/100

■N値計算

階数	柱番号	柱両側の壁倍率の差 A1	筋かい補正值	押さえ込み係数 B1	引抜き減少係数 L	N 値	接合金物告示表 3	必要耐力 (kN)	設置接合金物告示表 3
1 F	1	2	-0.5	0.8	0.4	0.8	は	5.1	へ
	2	2	0.5	0.5	0.6	0.65	ろ	3.4	は
	3	2	-0.5	0.5	0.6	0.15	ろ	3.4	は
	4	0	1	0.5	0.6	-0.1	い	0.0	は

※平屋隅部は (へ) 以上

株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目02番地 TEL 024 (032) 5860 FAX 024 (032) 5861

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

耐力壁位置図 S=1/50

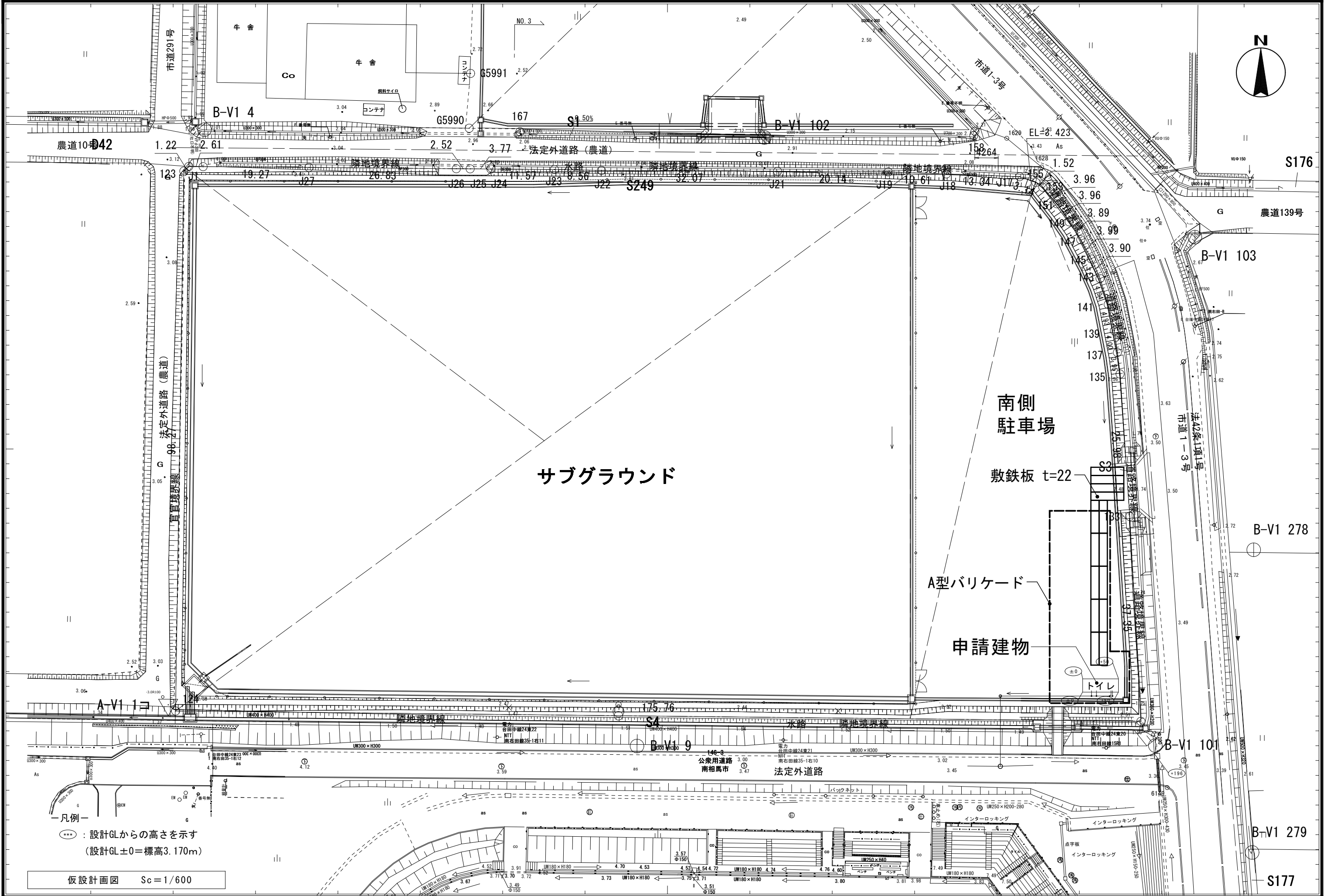
壁量計算 S=1/NON

見付面積求積図 S=1/50

N値計算 S=1/NON

執図 吉田 A 枚ノ内 26

担当 園分 令和 7年 6月



株式会社 山口建築設計事務所

郡山市八山田西丁目2番地 TEL 024 (832) 5860
FAX 024 (832) 5861

1級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1級建築士登録第110815号 吉田 優

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

仮設計画図

S=1/

600

S=1/

執図 吉田

A 枚/内 27

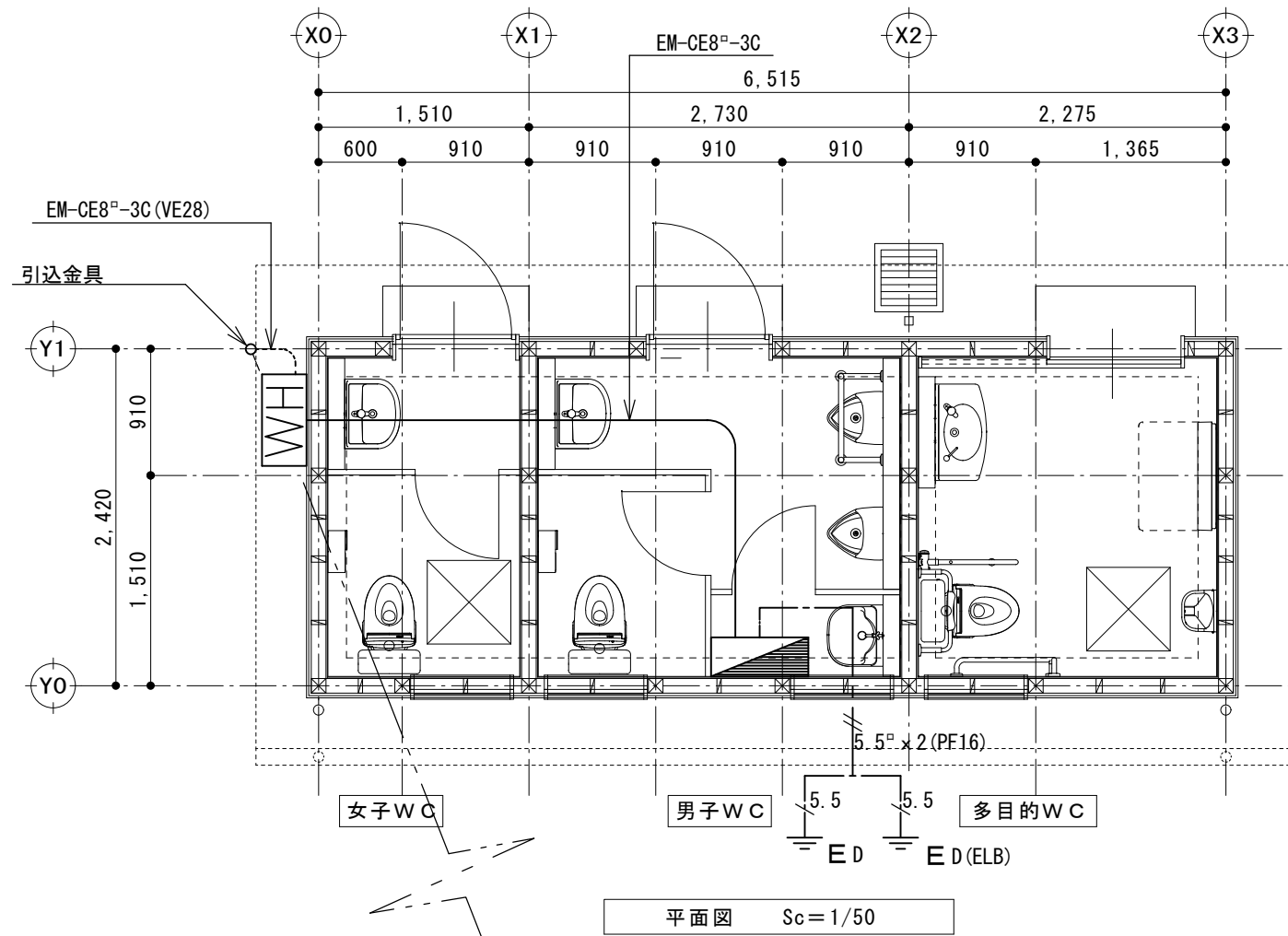
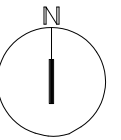
S=1/

S=1/

担当 園分

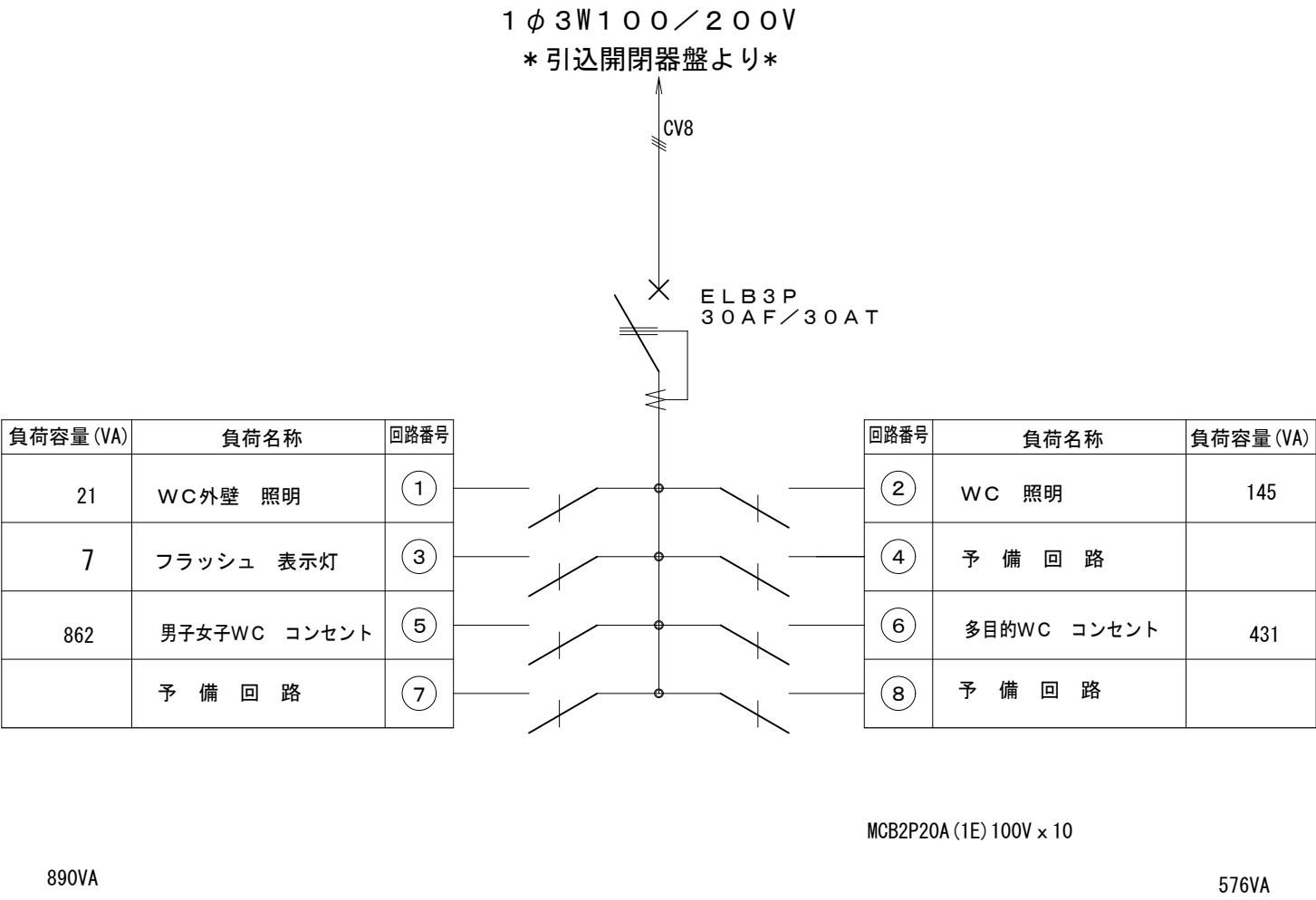
令和 7年 6月

項 目		特 記 事 項						
1 電 気 設 備 共 通 事 項	工事項目（電気設備工事） ○印を付したもの							
	建物種別及び屋外		1	2	3	4		屋 外
	○ 1	1 電灯（コンセント）設備						
		2 動力設備						
		3 電熱設備						
		4 雷保護設備						
		5 受変電設備						
		6 電力貯蔵設備						
		7 発電設備						
		8 構内情報通信網設備						
		9 構内交換（電話）設備						
		10 情報表示（時刻表示）設備						
		11 映像・音響設備						
		12 拡声設備						
		13 誘導支援設備						
	○	14 呼出設備						
		15 テレビ共同受信設備						
		16 監視カメラ設備						
		17 入退室管理設備						
		18 自動火災報知設備						
		19 自動閉鎖・非常警報設備						
		20 中央監視制御設備						
		21 防犯設備						
		22 外灯設備						
		23 構内配電線路						
		24 構内通信線路						
		25 テレビ電波障害防除設備						
	26 撤去工事							
工事項目の分類は、公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成24年版）を標準とする。								
項 目		特 記 事 項						
○ 1	機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置を示したものであり、正確な位置はさらに打合せを必要とする。						
○ 2	機 材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 【県：第1編1.5.1】 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 【県：第4編1.2.1】						
○ 3	機材、施工の試験	共通仕様書の各項の試験による。 【県：第1編1.5.3】						
○ 4	関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者（N T T等）の内規を厳守して完全に施工する。						
○ 5	耐震施工	（1）耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針（福島県土木部制定）」、 【県：第4編1.3.1】 及び、「建築設備耐震設計・施工指針（（一財）日本建築センター）」による。 （2）本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ○特定の施設（・甲類1 ・甲類2 ・乙類1 ・乙類2 ○乙類3） ・一般の施設（その他） （3）建築設備機器の設計用標準水平震度（Ks）は、下表による。						
		建築設備機器の設計用標準水平震度（K s）						
設 置 場 所		耐 震 安 全 性 の 分 類				一般の施設 その他		
		特定の施設		一般機器				
		甲類1,2 及び 乙類1,2,3		重要機器		重要機器 一般機器		
耐震クラス		耐震クラスS		耐震クラスA		耐震クラスB		
上層階、屋上及び塔屋		2. 0		1. 5		1. 0		
中間階		1. 5		1. 0		0. 6		
1階及び地下階		1. 0 (1. 5)		0. 6 (1. 0)		0. 4 (0. 6)		
注）：（ ）内の値は地階および1階（あるいは地表）に設置する水槽の場合に適用する ※上層階の定義は次による								
建 物 階 数		上 層 階		建 物 階 数		上 層 階		
2～6階建		最上階		10～12階建		上層3階		
7～9階建		上層2階		13階建		上層4階		
【重要機器】								
		・配電盤		・発電装置		・（ ）		
		・交換機		・自動火災報知受信機		・（ ）		
		・直流電源装置		・交流無停電電源装置（UPS）		・（ ）		
		・中央監視装置		・太陽光発電設備		・（ ）		
（4）設計用鉛直地震力		設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。						
（5）軽量機器等の耐震施工		上記以外の100kg以下の軽量な機器の据付け、取付けについては、取付下地を入念に施工、確認し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、据付けを行い落下等に留意する。						
（6）建物への配管引込部の耐震処理は（「F E P方式 ・地中箱方式」とする。 【標準図-電力31-33】		【標準図-電力71】						
（7）エキスパンジョイント部の配線は、標準図により配線する。 【標準図-電力34】		電線管端部にはﾌﾟﾛﾂｸｶﾞを設ける。						
○ 6	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。						
7	埋戻し土	土中埋設配管の埋戻し土		※根切り土中の良質土		・（ ）		（第1編2.2.1）
		配管保護部の埋戻し土		※山砂		・（ ）		
8	試運転調整	（1）試運転に係る費用は、請負者の負担とする。 （2）各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、機能確認報告書を監督職員に提出する。 ・照明装置 ・受変電設備 ・発電設備 ・構内交換設備 ・構内情報通信網設備 ・中央監視制御設備（自動制御設備との協調） ・太陽光発電設備 ・（ ） ・（ ）						
9	運転燃料	納入する（ 種別 ㎏ ）						
○ 10	配管工事	（1）特に指示なき電線管はねじなし電線管を使用し、P F管は一重管とする。 （第2編1.2.2） （2）埋込型分電盤からの立上がり予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF22）を1本、5個以上の場合（PF22）を2本程度天井まで立ち上げる。 （3）予備配管には、1. 2mm以上のビニール被覆鉄線を入線する。						
○ 11	支持金物 固定金具	（1）屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ステンレス製（SUS304） ・溶融亜鉛メッキ（HDZ35以上で配管等の仕様と整合） （2）屋外機器のアンカーボルトキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （3）振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。 （4）ビット内等多湿箇所の吊り金物、支持金物、固定金物類 ・溶融亜鉛めっき ・電気亜鉛めっき製 ・ステンレス製 （1）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ・屋外 ・居室 ・機械室 ・ ・配線室 ・共同溝内 ・						
12	電線管の塗装	床板で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。 外部に面する壁、天井には位置ボックス等を打ち込むことは望ましくないが、やむを得ず設ける場合には、保温や結露防止の処理を行う。						
13	インサート	（1）文字 ○標準文字入り ・文字無し ・県章入り文字付き （2）開閉用フック（ハンドル）の納入 ・する。[納品数：・1組 ・2組 ・（ ）組] ・しない （3）ボルトロック式等の仕様については、図示による。						
14	保温、結露防止	特記なき場合は、電線及びケーブルについて、E M（エマ777） ケーブルを使用する。						
16	ハンドホール マンホール蓋	（1）文字 ○標準文字入り ・文字無し ・県章入り文字付き （2）開閉用フック（ハンドル）の納入 ・する。[納品数：・1組 ・2組 ・（ ）組] ・しない （3）ボルトロック式等の仕様については、図示による。						
○ 17	環境に配慮した電線採用	特記なき場合は、電線及びケーブルについて、E M（エマ777） ケーブルを使用する。						
○ 18	盤 類	（1）盤類の仕様は下記のとおりとし、詳細は図面特記による。 ・公共建築工事標準仕様書 ○メーカー標準品 ・図示による （2）銘板には製造者及び請負者の連絡先を入れること。						
○ 19	機器の取付け	特記なき場合は、別表「機器の取付け高さ」による。 主要な幹線ケーブルは、ブルボックス、ハンドホール等内で、円回し等により余長を確保する。 なお、この際はケーブルを緊縛してはならない。						
○ 21	表示等	（1）プレートの表示 器具を安装しないものについては、下記の要領で用途を明示する。 （ 電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ベル、インター、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等 ） （2）幹線の表示 強電、弱電の幹線の幹線引出口、引込口、ブルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、先行、回路種別及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設ける。 （3）ブルボックス及びハンドホールの表示 ブルボックスの表面に用途表示を行う。						
○ 22	接地工事	1 既存の接地 ・利用する ・利用しない 2 接地を新設する場合は、以下による。 （1）接地埋設極は黄銅板製の刻記式とし、A種接地工事（柱上高圧機器を除く）、受電設備等のB種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること。 （2）接地極の材料は、下表による。（枚数及び本数は最低の値とする。）						
		接 地 極 の 種 類 記 号 接 地 極 の 材 料 備考						
		共同		E A、C、D		1枚 2本		
		A種接地工事		E A		6本		
		柱上高圧機器		E B p		2本		
		B種接地工事		E B		2本		
		C種接地工事		E C		6本		
		D種接地工事		E D		1本		
		構内交換機用		E t		1枚 2本		
		通信情報 直流電源装置（陽極）		E t p		1枚 2本		
		保安用（100Ω以下）		E A t		6本		
		保安用（1000Ω以下）		E L t		1本		
		拡声用増幅器（1000Ω以下）		E D t		1本		
		雷保護 避雷設備		E L		1枚 2本		JIS基準の場合に適用
		低圧避雷器（100Ω以下）		E L L		6本		
		他 測定補助用		E O		1本		
		接地極銅板：1. 5 t×900 ² 接地棒：14φ×1,500 L（一般用） ：10φ×1,000 L（外灯） ：10φ×1,000 L（測定補助用） 2ヶ所						
		（3）共用、単独の区分 ・共用 ○単独 ・（ ） （4）共用接地、連接接地の区分 ・共用接地 ・連接接地 ・（ ） （5）接地の共用 ①A種、C種、D種接地 ・共用 ・単独 ②B種接地 ・共用 ・単独 ③漏電遮断器回路の接地 ・共用 ○単独 ④接地極として構造体の利用接地（鉄骨造及び鉄筋コンクリート造） ・行う ・行わない ⑤通信機器等の接地 ・共用 ・単独 （6）構造体用接地用端子 ・設ける ○設けない （7）測定用補助接地端子極 ・設ける ○設けない						
		※接地工事については、施工前に現場土質等の状況により、設計図に示す接地方式で基準値を達成できない恐れがある場合は、監督員と協議を行うこと。						
23	L E D制御装置	※一般形（LN）、初期照度補正形（LJ）、連続調光形（LX、LZ）の種類については、図示による。						
○ 24	照度測定及び照度計算	（1）測定する箇所については、監督員との協議による。 （第2編2.18.2） （非常用の照明装置については、照度測定を実施する。） （2）主要な室の照明器具の設置にあたっては、施工前に施工図による照明器具配置上での照度分布図を提出すること。なお、主要な室の選定については、監督員と協議すること。						
25	受変電設備	（1）直列リアクトル ・油入 ・モールド （2）消火器は本工事に含む（種別 収納ボックス共 本） （3）危険等の表示板を設ける（銅板製メラミン焼付塗装） （4）高調波の流出対策については、「高調波抑制対策ガイドライン」による。						
26	発電設備	（1）設置条件（標準 m）（外気温度 ℃～ ℃） （2）消火器は本工事に含む（種別 収納ボックス共 本） （3）危険等の表示板を設ける（銅板製メラミン焼付塗装） （4）騒音対策（敷地境界地点騒音値 d b（A）以下） （5）排ガス対策（大気汚染防止法 福島県 ppm 以下） ※非常用は除く。						
27	構内情報通信網設備	ケーブルは種別毎に色分けし、露出部分（端末接続部分を除く）を保護する。 また、導通、対の配置、減衰量、長さ（UT Pは90m以下）、近端漏減衰量、A C Rの検査試験を行う。						
28	コンクリート貫通 ・はつり・穿孔	（1）貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物（電線類・配管類）の調査を行うこと。 （2）金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査（撮影）等による調査について監督員と協議すること。 （3）金属探知機及びX線内部探査（撮影）等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上で施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。						
29	あと施工アンカー	アンカーは原則として先付け工法とするが、やむを得ない場合は監督員と協議のうえ、あと施工アンカーを使用する。 特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や電線管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業者について協議すること。 （1）あと施工アンカー ・接着系アンカー（有機系） ・金属抵張系アンカー（打込式） （2）施工前に計画書を作成し、監督職員に提出する。 （3）施工確認試験（目視検査、接触検査、打音検査）を全数（ ※行う ・行わない ） （4）引張試験（ ・行う ※行わない ） 引張試験本数（ ※抽出 ・全数 ） 【引張試験対象設備】 ・（ ） ・（ ） ・（ ） ・（ ） ・（ ） 引張試験を抽出して行う場合は次による。 ①1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。 ただし、1日で同一径のものを複数員、複数の場所で施工する場合は、それぞれ行う。 ②ロットの合格判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。 ③不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。						
30	改修工事	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を施工前に行い、監督員に報告する。 ・既設機器の動作確認 ・照度測定 範囲（※居室 ※教室 ・指定する場所 ・（ ）） ・絶縁測定（ ・幹線 ・分岐回路 ・弱電ケーブル ） ・接地抵抗測定 ・導通試験						
【機器の取付け高さ】		機器取付高さは、図示が無ければ下表を標準とするが、機器の使用用途を考慮し、適宜調整すること。（監督員の指示により変更することがある）						
		名 称 測 点 取 付 高（mm）						
		取引用計器		地上 ～ 中心		約1, 8 0 0 ～ 約2, 0 0 0		
		引込開閉器		床上 ～ 中心		約1, 8 0 0 ～ 約2, 2 0 0		
		分電盤		床上 ～ 中心		約1, 5 0 0 ～ 約2, 1 0 0		
		洗面器		鏡上		約 1 0 0		
		ブラケット 階段踊場		床上 ～ 中心		約2, 0 0 0 ～ 約2, 5 0 0		
		屋外		床上 ～ 中心		約1, 5 0 0		
		一般		床上 ～ 中心		～ 約1, 3 0 0		
		車椅子用		床上 ～ 中心		～ 約1, 1 0 0		
		住宅		床上 ～ 中心		約1, 1 0 0		
				～				
				～				
				～				
		一般		床上 ～ 中心		約 3 0 0 ～		
		台上		台上 ～ 中心		約 2 0 0		
		土間		床上 ～ 中心		約 8 0 0		
		畳		床上 ～ 中心		約 1 5 0		
				～				
				～				
				床上 ～ 中心		約1, 5 0 0		
				～				
				床上 ～ 中心		約 3 0 0 ～		
				床上 ～ 中心		約2, 0 0 0 ～ 2, 5 0 0		
		端子盤		床上 ～ 下端		約 7 0 0 ～		
		保安器ボックス		床上 ～ 下端		約2, 0 0 0		
		電話位置ボックス壁、テレビ端子		コンセントに準じる				
		受信機、副受信機（壁掛型）		床上 ～ 操作部		約 8 0 0 ～ 1, 4 0 0		
		分布型感知器		床上 ～ 中心		約1, 7 0 0		
		発信機		床上 ～ 操作部		約 8 0 0 ～ 1, 4 0 0		
		表示灯		床上 ～ 中心		約1, 9 0 0		
		ベル		床上 ～ 中心		約2, 3 0 0		
		感知器試験機		床上 ～ 中心		約1, 5 0 0		
		呼出ブザー		床上 ～ 中心		約1, 5 0 0		
		トイレ呼出ボタン		床上 ～ 中心		約 4 0 0 、 8 0 0		
		押ボタン		屋外 床上 ～ 中心		約1, 5 0 0		
				屋内 床上 ～ 中心		約1, 3 0 0		
		インターホン（壁掛）		床上 ～ 中心		約1, 1 0 0		
		時計		床上 ～ 中心		約2, 3 0 0		
		警報盤		床上 ～ 中心		約1, 3 0 0		
		壁掛音量調節器		床上 ～ 中心		約1, 1 0 0 ～ 1, 8 0 0		
		スピーカー		床上 ～ 中心		約2, 3 0 0		
		表示器		床上 ～ 中心		約2, 3 0 0		
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～				
				～		</		



電力柱 (台田中線24東20) より引込

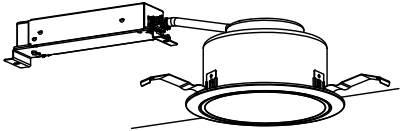
電 灯 盤住宅用分電盤（樹脂製、露出型）



照 明 器 具 姿 図

ALED11.6Wダウナイト

150形



5000K、Ra85、拡散タイプ
LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
光源遮光角30度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%）
器具光束：1640lm、消費電力：11.6W、電圧：100-242V
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150
XND1567WNLE9 相当品

BLED9.5Wブラケット

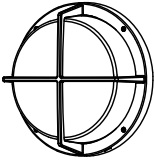
15形直管蛍光灯1灯器具相当



昼白色（5000K）、Ra83
器具光束840lm、消費電力9.5W、電圧100V
天井直付型・壁直付型
スイッチ付、拡散タイプ、両面化粧タイプ
カバー：プラスチック（乳白）
W=450 H=65 出しろ64
LGB85044LE1 相当品

CLED10.7ブラケット

30形丸形蛍光灯1灯器具相当

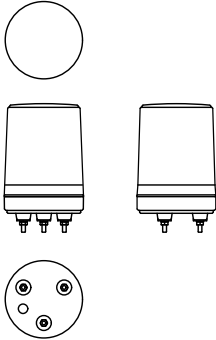


LEDフラットランプφ205 クラス1200 1灯（口金GX53-1a）
昼白色（5000K）、Ra83
器具光束920lm、消費電力10.7W、電圧100V
拡散タイプ、防雨型、ネジ方式
アルミダイカスト（シルバーメタリック）、カバー：アクリル（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
W=280 H=280 出しろ115
XLGE8116CF1 相当品

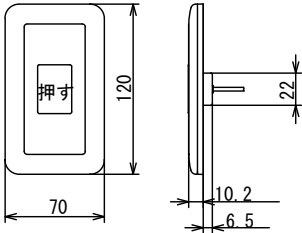
ELEDフラッシュ表示灯(赤)



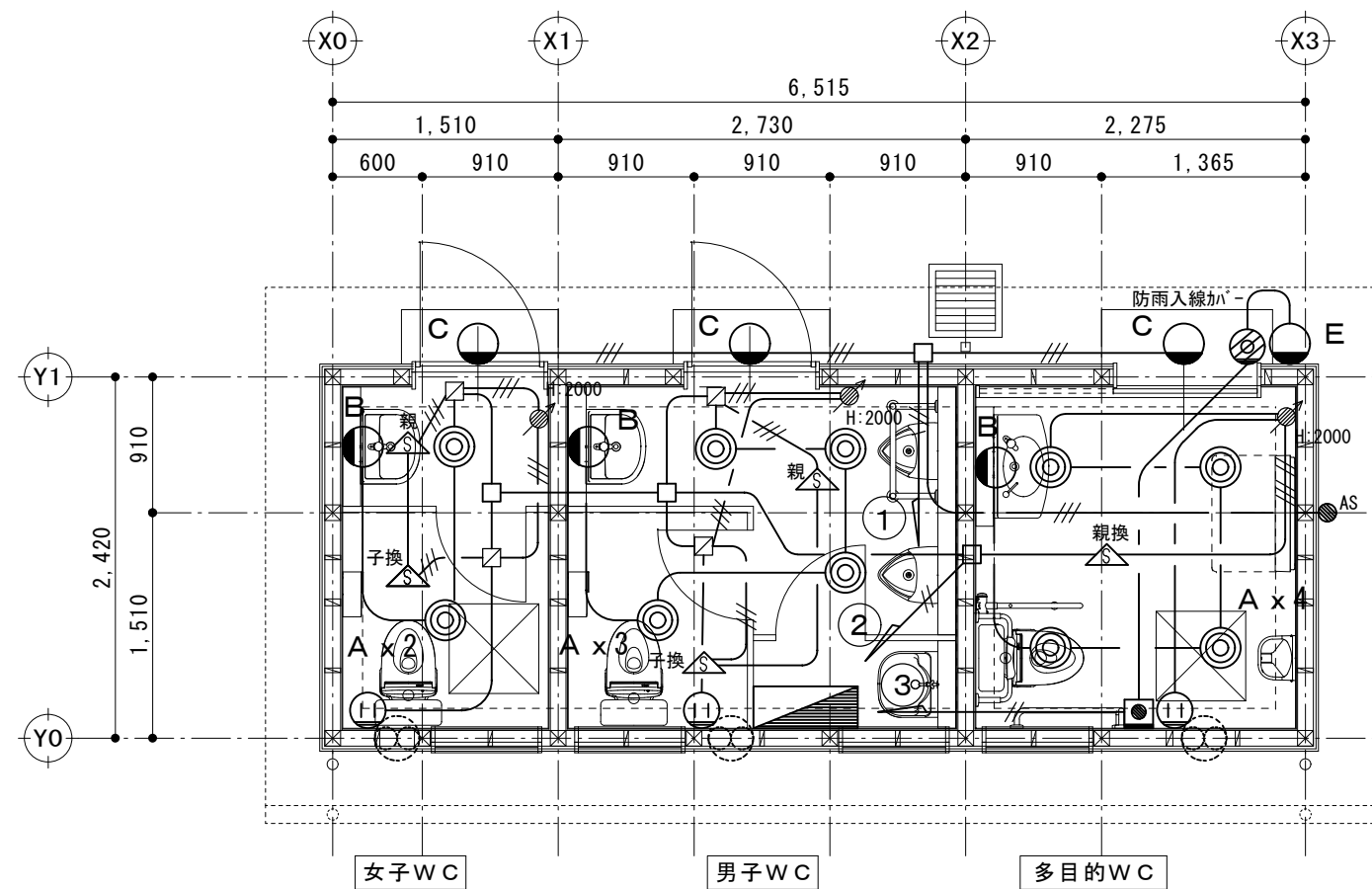
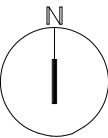
埋込押釦 常開形（a接点）



電源 AC100V
起動 外部Δ電圧接点
点滅回数 110回±10回/分
グローブ色 防塵塗水型 赤
壁面取付ブラケット 共
LFH-M2-R + SZ-007 相当品



防沫形プレート・リード線付
定 格 30V 3A（AC・DC両用）

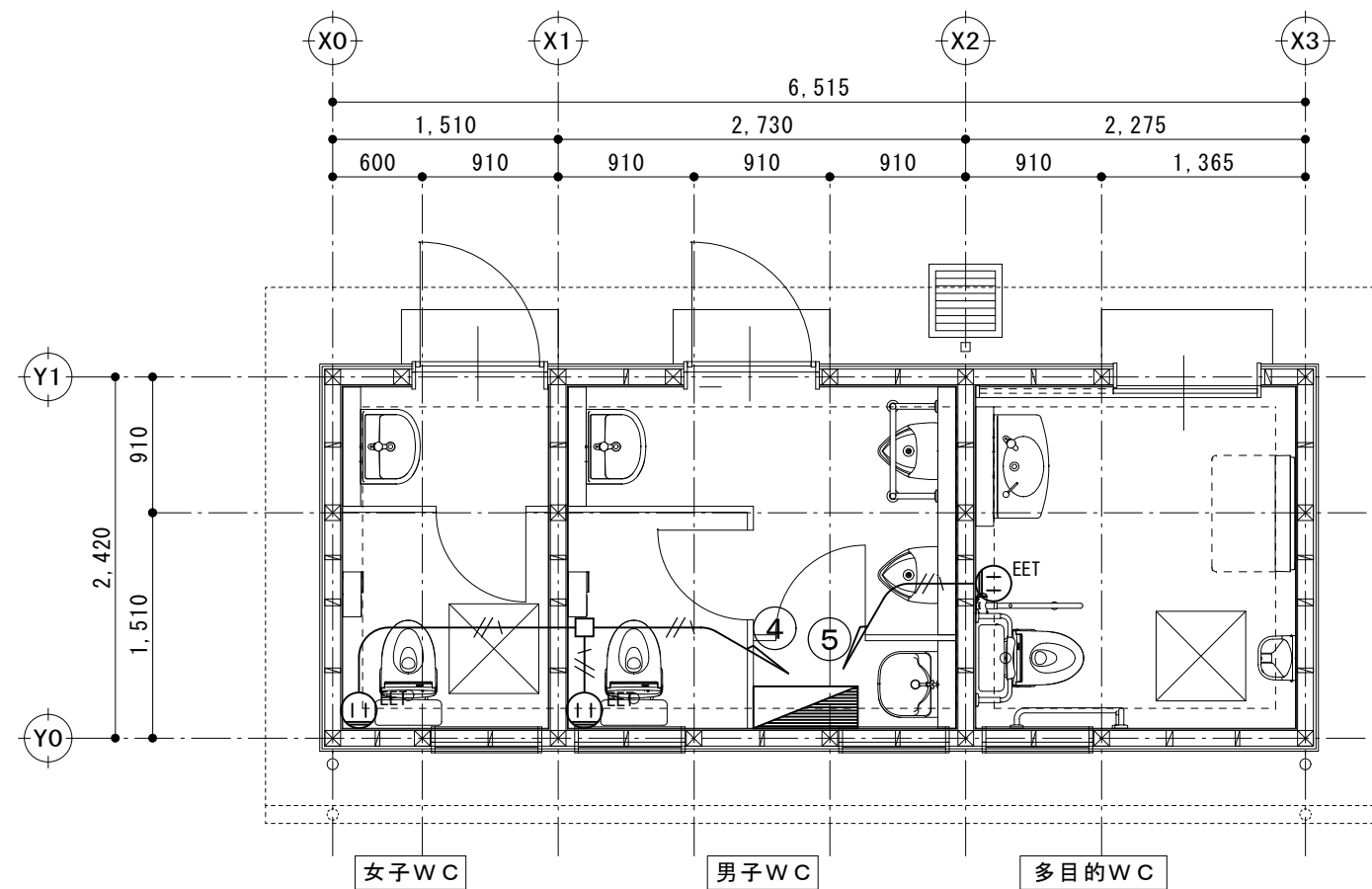
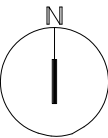


平面図 Sc=1/50

特記なき配線は、下記による。

記 号	名 称	摘 要	適合管
——	天井配線	EM-EEF 1. 6-2 C	P F 1 6
——//	天井配線	EM-EEF 1. 6-3 C	P F 1 6
——//	天井配線	EM-EEF 1. 6-2 C x 2	P F 1 6
——//	天井配線	EM-EEF 2. 0-2 C	P F 1 6
——//	天井配線	EM-EEF 2. 0-3 C	P F 2 2
⦿	操作ユニット	2 回路用	
△	人感センサー	天井埋込型	

立上り立下り配線は、適合管にて保護のこと。



平面図 Sc=1/50

特記なき配線は、下記による。

記 号	名 称	摘 要	適合管
—//—	天井配線	EM—EEF 2. 0—3 C	P F 2 2
立上り立下り配線は、適合管にて保護のこと。			

章

項目

特記事項

1

機械設備共通事項

1

工事項目（機械設備工事）○印を付したものを建物種別及び屋外

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

屋外

工事項目の分類は、公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成30年版）を標準とする。

項目

特記事項

○1

機器等の配置

設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする

○2

機材

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。[県：第1編1.5.1]
ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。[県：第5編1.1.4]

○3

機材、施工の試験

共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。[県：第1編1.5.3]

○4

耐震施工

（1）耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針（福島県土木部制定）」、及び、「建築設備耐震設計・施工指針（（一財）日本建築センター）」による。

（2）本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。
・特定の施設（・甲類1・甲類2・乙類1・乙類2○乙類3）
・一般の施設（その他）

（3）建築設備機器の設計用標準水平震度（Ks）は、下表による。

設置場所	耐震安全性の分類		
	特定の施設	一般の施設	
	甲類1.2及び乙類1.2.3	その他	
	重要機器	重要機器	
	一般機器	一般機器	
耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	0.6
1階及び地下階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注：（ ）内の値は地階および1階（あるいは地表）に設置する水槽の場合に適用する
※上層階の定義は次による

建物階数	上層階	建物階数	上層階
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階
7～9階建	上層2階	13階建	上層4階

【重要機器】
・高置水槽
・空気調和機
・ボイラー
・受水槽
・厨房機器
・冷却塔
・（ ）
・（ ）
・（ ）

（4）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（5）軽量機器等の耐震施工
上記以外の100kg以下の軽量な機器の据付け、取付けについては、取付下地を入念に施工、確認し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、据付けを行い落下等に留意する。

5

建物導入部の変位吸収

・図示の箇所に変位吸収配管を施工する。要領は標準図による。[標準図-施工4.5.6]
対象配管
・給水管
・消火管
・ガス管
・排水管
・フレキシブルジョイント
・ボールジョイント
・スリクッション
・（ ）
・（ ）
・（ ）

6

建物EXPJの変位吸収

・建築エキスパンジョイント部の配管要領は標準図による。[標準図-施工7.8]
対象配管
・給水管
・消火管
・ガス管
・排水管
・フレキシブルジョイント
・ボールジョイント
・スリクッション
・（ ）
・（ ）
・（ ）

○7

工事用電力、水、その他

本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。

○8

埋戻し土

土中埋設配管の埋戻し土
※根切り土中の良質土
※山砂
・（ ）
・（ ）
・（ ）
（第2編4.2.1）

○9

総合調整

各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。（第2編1.3.1～1.3.3）
○飲料水の水質の測定
○風量調整
○水量調整
・室内空気中の湿度測定
・室内気流及びじんあいの測定
・騒音の測定
○機器の絶縁抵抗測定
・（ ）
・（ ）
・（ ）

○10

試運転調整

試運転に係る費用は、受注者の負担とする。

11

自動制御装置、現場盤

中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。

12

運転燃料

納入する（種別）
kg
（第2編2.2.27）

○13

スリーブ

水密を要する部分には、つば付き銅管製を使用する。（第2編2.2.27）

○14

支持金物・固定金具

（1）屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類
・ステンレス製（SUS304）
・溶融亜鉛メッキ（HDZ35以上で配管等の仕様と整合）

（2）屋外機器のアンカーボルトキャップ（樹脂製）を取り付ける。

（3）振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。

（4）ピット内等多湿面所の吊り金物、支持金物、固定金物類
・溶融亜鉛めっき
・電気亜鉛めっき製
・ステンレス製

15

金属管の塗装

（1）下記部位に使用する金属管には塗装を施す。
・屋外
・居室
・機械室
・共同溝内

16

あと施工アンカー

アンカーは原則として先付け工法とするが、やむを得ない場合は監督員と協議のうえ、下記のとおり施工アンカーを使用する。特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や配管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業員について協議すること。
（1）あと施工アンカー
・接着系アンカー（有機系）
・金属拡張系アンカー（打込式）
（2）施工前に計画書を作成し、監督職員に提出する。
（3）施工確認試験（目視検査、接触検査、打音検査）を全数（※行う・行わない）
（4）引張試験（※行う・行わない）
引張試験本数（※抽出・全数）
【引張試験対象設備】
・（ ）
・（ ）
・（ ）
・（ ）
引張試験を抽出して行う場合は次による。
①1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。
ただし、1日で同一径のものを複数径、複数の場所で施工する場合は、それぞれ行う。
②ロットの合格判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。
③不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。

1

○17

インサート

床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

18

コンクリート貫通
・はつり・穿孔

（1）貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物（電線類・配管類）の調査を行うこと。

（2）金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査（撮影）等による調査について監督員と協議すること。

（3）金属探知機及びX線内部探査（撮影）等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。

19

電動機及び制御盤

（1）電動機の電源周波数は50Hzとする。

（2）制御盤の仕様は下記のとおりとし、詳細は図面特記による。
・受注製作品（県仕様品）
・既製品
（3）ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は種別毎に予備品を納入する。

（4）水中ポンプ付属ケーブルの最小太さは2.0mm2以上とし、中間接続はしないこと。

20

絶縁継手

図示の箇所に設ける。仕様は標準図による。[標準図-施工3]

21

配管溶接部の非破壊検査

・浸透探傷検査（PT）又は磁粉探傷検査（MT）
・放射線透過検査（RT）

2

空気調和設備

1

設計温度

	外気条件		室内（調整目標値）					
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

2

冷暖房の能力

空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ型空気調和機の温度条件はJIS条件による

3

ばい煙速度計

・設ける（電源は、付属制御盤の2次側より取り出すものとし、配管配線とも本工事に含む）
・設けない（第3編1.1.3）

4

煙道

・鋼板厚さは煙道幅300φ以下は3.2mm、300φを超えるものは4.5mmとする。（第3編1.1.2）
・図示による

5

ダクト工法

低圧ダクトとする。（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）（第3編2.2.1）

6

長方形ダクト工法

・アングルフランジ工法
・コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）

7

風量測定口

取付け箇所は図示による。取付け方法は監督員の指示による。（第3編2.2.5.5）

8

チャンパー等

（1）外壁に面するガラリに直接取り付けのチャンパー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りに排水すること（第3編1.14.6）

（2）シーリングディフューザー形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること
（a）ネック径がφ200以下のもの
400×400×250H
（b）ネック径がφ200をこえるもの
500×500×300H
（3）ブリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること
（a）シングル形
200×（L+100）×300H
（b）ダブル形
250×（L+100）×300H

9

防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー

標準仕様書によるほか、下記による
（1）復帰方式
遠隔式（電動式（定格入力にDC24V0.7A以下））
（2）復帰動作
順送り
（第3編1.15.7～1.15.9）

10

弁類

・JIS又はJV5K
・JIS又はJV10K
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
・合成ゴム製
・ベローズ形ステンレス製
（第2編2.2.8）
・合成ゴム製
・ベローズ形ステンレス製
（第2編2.2.9）
・ベローズ形
・スリーブ形
（第2編2.2.7）

11

防振継手

・合成ゴム製
・ベローズ形ステンレス製
（第2編2.2.9）

12

フレキシブルジョイント

・合成ゴム製
・ベローズ形ステンレス製
（第2編2.2.7）

13

伸縮管継手

・ベローズ形
・スリーブ形
（第2編2.2.7）

14

温度計

取付部は下記による
温度計は円形指示計（バイメタル式φ100）とする
・熱源機器の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・ボイラーの温水管（返り）
・空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置後の冷温水管（送り、返り）
・熱交換器の温水管（送り、返り）
・冷温水ヘッダー（送り）及び冷温水ヘッダーの各返り管
・空気調和機（パッケージ形を含む）のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト
qw34及びレタンチャンパー
（第2編2.3.2）
（第3編1.14.14）

15

圧力計

取付部は下記による
・熱源機器の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・空気調和機の冷温水管（送り、返り）
・熱交換器の温水管（送り、返り）
・冷温水ヘッダー（送り、返り）
・冷温水ヘッダー（送り、返り）
（第2編2.3.1）

16

瞬間流量計及び測定タッピング
（32mmビード管流量計用）

（1）熱源機器の冷温水管（送り又は返り）
・瞬間流量計
・タッピング
（2）熱源機器の冷却水管（送り又は返り）
・瞬間流量計
・タッピング
（3）ボイラー又は熱交換器の温水管（送り又は返り）
・瞬間流量計
・タッピング
（4）空気調和機の冷温水管（送り又は返り）
・瞬間流量計
・タッピング
（5）冷温水ヘッダーの各返り管
・瞬間流量計
・タッピング
（第2編2.3.8）

17

油面制御装置

制御盤には下記の端子を設けること。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする
・給油ポンプ制御
・満油警報
・遠隔警報
・電磁弁制御
・返油ポンプ制御
・減油警報
・漏洩警報
（第2編2.3.5）

18

消音内貼り

（1）施工する場所は、図示したダクト及びチャンパー類とする

（2）内貼りチャンパー類の寸法表示は、外寸法とする

19

ファンコイルユニット

吹出口
・ユニバーサル形
調整弁
・流量調整弁
・定流量弁
（第3編1.7.4）

20

保温

（1）機器の保温材
※図示による

（2）ダクトの保温材
※図示による

21

予備品

・ファンコイルユニットの付属品
・フィルターは各型番台数の1/2以上
・設置台数の100%
・自動巻取形エアフィルター用フィルター
・各1巻
・設置台数の100%
・折込形エアフィルター、プレフィルター（アルミ枠付）
・各サイズ毎の1/2以上
・設置台数の100%

3

換気設備

1

ダクト

（1）低圧ダクト
・コーナーボルト
（・共板フランジ
・スライドオンフランジ）工法
（第3編2.2.1）
（2）高圧ダクト
・アングルフランジ工法
・スパイラルダクト
・塩化ビニル管

2

排気フード

排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による（第3編1.14.8）
・ステンレス鋼板（補強共）
・フード囲いは、上記フードと同材質とすること
・フードの内部周囲のといには、黄銅製コック又はプラグを取り付けること
（第2編3.1.4）

3

ダクトの保温

・有（保温の種別：※図示による）
・無
（第2編3.1.4）

4

他の設備項目の適用

下記のもの、空気調和設備の当該項目を適用する
（1）風量測定口（2）チャンパー等（3）防煙ダンパー（4）消音内貼り（5）ダクトの吊り及び支持

4

排煙設備

1

ダクト

・亜鉛鉄板
・普通鋼板（厚1.6mm以上）
（第3編2.2.4）

2

排煙口の形式

・スリット形
・バネル形

3

排煙口開放装置

・ワイヤー式
・電気式（遠隔操作機能・要・不要）
（第3編1.15.5）

4

排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる

5

自動制御設備

1

中央監視制御

・有（・本工事
・別途電気設備工事）
・無
（第4編1.5.1）

2

計装用配線

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記が無ければ金属管配線とする。
天井内隠蔽の配線は、図面に特記が無ければケーブル配線とする。
（第4編1.3.3）

3

屋内キャビネット

・鋼板（厚1.6mm以上）
・ステンレス鋼板（厚1.2mm以上）
（第4編1.3.3）

6

衛生設備器具

○1

一般事項

機器及び仕様は機器表による
衛生陶器の色は監督員の指示による
（第5編1.1.2）

2

小便器用節水装置

個別感知フラッシュ方式（・小便器一体型
・小便器分離型（・埋込み
・露出））
（第5編1.1.2）

○3

大便器

・節水Ⅱ形
○節水Ⅰ形
・一般形
（第5編1.1.2）

○4

大便器便座

・普通便座
○暖房便座
暖房便座を設置する場合の、付加機能は次による
・温水洗浄機能（水道直結給水方式とする
加熱方式（・貯湯式
・瞬間式））
・温風乾燥機能
・脱臭機能
・騒音機能
（第5編1.1.6）

○5

水栓

・一般水栓
※節水型水栓
（第5編1.1.7）

6

自動水洗

（1）機器表による
（2）自動水洗の電源供給方法（※AC100V
・電池式
・発電式）
（第5編1.1.7）

7

擬音装置

（1）機器表による
（2）擬音装置の電源供給方法（※AC100V
・電池式）
（第5編1.1.7）

7

給水設備

1

量水器（造成工事）

（1）親メーター（・貸与品
・買い取り）（※直読式
・バルブ式）
（2）子メーター（・貸与品
・買い取り）（※直読式
・バルブ式）
（第5編1.8.4）

2

量水器樹（造成工事）

（1）親メーター用（・水道事業者の指定品
・標準図）
（2）子メーター用（・水道事業者の指定品
・標準図）
（第5編1.8.4）

○3

弁類

（1）水道直結部分はJIS又はJV10Kとする。
（2）その他の部分はJIS又はJV5Kとする
ただし、特記部分はJIS又はJV10Kとする。
（第2編2.2.1）

4

引込納付金等

・要（別途支出）
・不要
（第2編2.2.22）

5

緊急遮断弁

・有（・機械式
・電気式）
・無
（第2編2.2.22）

6

試験

中水を利用する場合の通水試験は、雑用水系統に着色水を使用して誤接続がないか確認すること
（第2編2.9.3）

8

排水設備

1

放流納付金等

・要（・本工事
・別途工事）
・不要
（第2編2.9.4）

○2

洗面器等の排水管

洗面器等に直結する排水管の寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする
3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験手を取付ける
（第2編2.9.4）

○3

満水試験継手

排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと
（第2編2.9.4）

○4

試験

排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと
（第2編2.9.4）

○5

屋外排水樹用ふた

○屋外プラスチック樹用
県章：※無し
・入り
おすい、雨水等の標準文字：※入り
・無し
・無し
・有り（図示による）
開閉具納品：・1個
・（個）
・屋外プラスチック樹用
県章：※無し
・入り
おすい、雨水等の標準文字：※入り
・無し
・無し
・有り（図示による）
耐荷重：※図示による
構造：※蝶番ロック式、蝶番袋穴式、鎖式の区分は、図示による。
開閉具納品：・1個
・（個）
・コンクリート樹用
県章：※無し
・入り
おすい、雨水等の標準文字：※入り
・無し
・無し
・有り（図示による）
耐荷重：※図示による
開閉用フック（ハンドル）納品：・1組
・2組
・（組）
※無し
・有り（仕様、構造等は図示による）
開閉具納品：・1個
・（個）

9

給湯設備

1

弁類

給水設備の当該事項による。
（第2編2.2.1）

2

保温

保温の種別は、標準仕様書による。
（第2編3.1.5）

3

その他

貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りの流しに間接排水すること
（第2編3.1.5）

10

消火設備

1

屋内消火栓箱

屋内消火栓箱の仕様は以下による
・HB-1A
・HB-1B
・HB-1AT
・HB-1BT
・HB-2A
・HB-2B
・HB-4A
・HB-4B
（第5編1.5.2.2）

2

屋外消火栓箱

・鋼板（1.6mm）
・ステンレス鋼板（1.5mm）
屋外消火栓箱の仕様は以下による
・HB-20
・HB-21
（第5編1.5.4.2）

3

保温

保温が必要な場合は図示による。
（第2編3.1.5）

11

厨房設備

1

熱調理器の熱源

・都市ガス
・液化石油ガス
・電気
（第5編1.6.1）

2

厨房機器類

仕様性能等は図示によることとし、機器の寸法は概略寸法とする。
（第5編1.6.1）

3

転倒防止

熱調理器、高さか1.0mを超える厨房機器は、床または壁に固定する。
（第5編2.2.6）
[標準図-施工75]

12

ガス設備

1

充てん容器

・別途工事
（・50kg×本
・kg×本）
・本工事
（・50kg×本
・kg×本）
本立て
（第6編2.1.7）

2

集合装置

（・（a）
・（b））による。また、容器用固定具は鋼製、溶融亜鉛メッキ仕上げとし、鎖はステンレス製とする
[標準図施工74]
（第6編2.1.7）

3

転倒防止等

（・（a）
・（b））による。また、容器用固定具は鋼製、溶融亜鉛メッキ仕上げとし、鎖はステンレス製とする
[標準図施工74]
（第6編2.1.7）

4

ガスメーター

（1）親メーター（・貸与品
・買い取り）（※直読式
・バルブ式）
（2）子メーター（・貸与品
・買い取り）（※直読式
・バルブ式）
（第5編1.5.4.2）

5

引込負担金等

・要（別途支出）
・不要
（第5編1.5.4.2）

13

浄化槽設備

1

処理能力

処理対象人員
人
処理水量
m3/日
流入BOD
mg/L
（第8編1.1.1）

2

型式

・ユニット形
・現場施工形
（第8編1.1.1）

3

放流水質性能

BOD
mg/L以下
除去率
%以上
（第8編1.1.1）

4

水質表の提出
（BOD、SS）

完成引渡し後6ヶ月後に放流水質性能等を記入した水質表を提出すること
（第8編1.1.1）

5

施工票

処理能力、放流水質、処理方式、施工年月日等を記入したSUS製又は鋼板製のものを設ける
（第8編1.1.1）

共通事項

※受注者が設計仕様に基づき任意に選定する機器類を設置する場合は、電源工事が本工事・別途工事にかかわらず、設置する機器類に対して電源（電圧、電流、開閉器容量等）や配線容量が適合していることを確認すること。なお、確認は電源工事施工前に行うこと。
また、適合していない場合は、監督員と協議を行うこと。
（設計段階における機器類の電源容量等は、想定機器から求めたものであり、受注者が選定する機種によっては、電源容量等の不足が生じる場合があることから、確認を要するものである。）
※雷保護設備がある建築物の屋上等に機器類を設置する場合は、雷保護領域内に納まることを確認すること。また、雷保護設備がない建築物でも屋上等に機器類を設置することにより、雷保護設備が必要になる場合があるので、確認すること。確認の結果、雷保護領域内に納まらない場合や新たに雷保護設備が必要になる場合は、監督員と協議すること。

株式会社

山口建築設計事務所

1 級建築士事務所 福島登録第12(602)0028号

管理建築士 1 級建築士登録第110815号 吉田 優

変更事項

みちのく鹿島球場
サブグラウンドトイレ建築 工事設計図

機械設備工事特記仕様書（1）

S=

NON

S=

S=

執図 吉田

M 枚/内 01

担当 二宮

令和 7 年 6 月

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考									
		配 管 途 中	隠 べい 前	埋 戻し 前	配 管 終了後													
○ 1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MP a 以上	60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。									
・ 2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 4	給 湯 管	○	○	○	○	水圧試験	上記2及び3に準ずる。	60分										
・ 5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	<table><tr><td>管 種</td><td>初 圧</td><td>60分後</td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.45MP a 以上</td></tr><tr><td>ポリブテン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.55MP a 以上</td></tr></table>	管 種	初 圧	60分後	架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上	ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上	60分	60分後に規定の圧力以下の場合は再試験を行う。 再試験は、共通仕様書による。
							管 種	初 圧	60分後									
架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上																
ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上																
〔注〕継手部分の漏水の有無を目視確認する。																		
○ 6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験		30分										
	排水管(屋外埋設管)			○		煙 試 験	刺激性の濃煙 250 P a	15分										
・ 7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍	60分										
・ 9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MP a のいずれか大なる圧力 (7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力)	60分	連結送水管送水口等									
・ 10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 11	粉 末 消 火 配 管				○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 12	冷温水、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
・ 13	蒸 気 配 管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍 (ただし、最小0.2MP a)	30分										
・ 14	油 配 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍	30分										
・ 15	冷 媒 配 管		○		○	気密試験 (空気又は不燃性ガス)	<table><tr><td>冷媒ガスの種類</td><td>気密試験圧力</td></tr><tr><td>R 2 2</td><td>3.0 MP a</td></tr><tr><td>R 4 0 7 C</td><td>3.3 MP a</td></tr><tr><td>R 4 1 0 A</td><td>4.15MP a</td></tr></table> 〔注〕(1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをバーージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が-0.1MP a 以下になってからさらに15分以上真空引きし、密閉放置して漏れないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 室内外ユニットの連絡配線は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。	冷媒ガスの種類	気密試験圧力	R 2 2	3.0 MP a	R 4 0 7 C	3.3 MP a	R 4 1 0 A	4.15MP a	外部に発泡液を塗布して漏れのない事。その後24時間放置して漏れのない事。	周囲温度変化による圧力変化の補正を行う。	
冷媒ガスの種類	気密試験圧力																	
R 2 2	3.0 MP a																	
R 4 0 7 C	3.3 MP a																	
R 4 1 0 A	4.15MP a																	
・ 16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MP a (ただし、温水コンセント接続後は0.1MP a) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
○ 17	通 水 試 験				○	通水試験	・ 給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2 p p m 検出されるまで消毒を行う。 ・ 排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ・ 通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・ 給湯設備～給水設備に準ずる。											
○ 18	水 質 試 験				○	簡易試験 (9項目)	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度		福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例									
・ 19	ポ ン プ				据 付 完了後	水圧試験	最高吐出圧力(運転範囲における最高全揚程＋最高押込み圧力)の1.5倍 (ただし、最小0.4MP a)	3分	給水設備、排水設備、給湯設備、空気調和設備各種ポンプ									
・ 20	塩 素 滅 菌 装 置				据 付 完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。											
・ 21	水 槽 類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。 飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。	12時間										

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

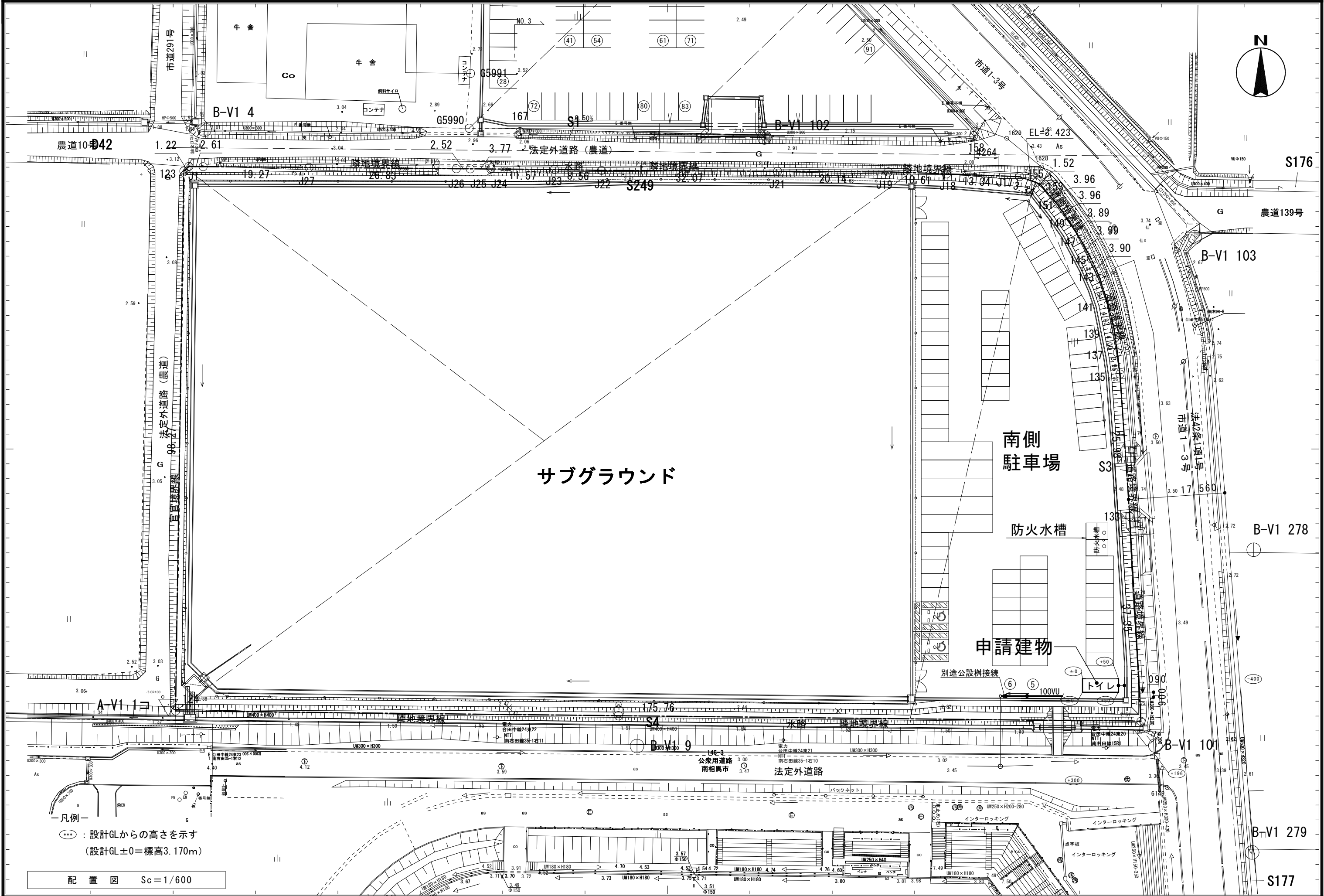
項 目		配管 途 中	試 験 時 期			試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
			隠 べい 前	埋 戻し 前	配管 終了後				
・ 22	鋼 製 ポ イ ラ ー				据 付 完了後	水圧試験	・ 最高使用圧力が0.42MP a 以下のものは、最高使用圧力の2倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ 最高使用圧力が0.42MP a を超え1.5MP a 以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MP a を加えた圧力 ・ 最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MP a を加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 23	鑄鉄製ボイラー				据 付 完了後	水圧試験	・ 蒸気ボイラーは、0.2MP a ・ 温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ セクションは、最高使用圧力が0.2MP a 以下のボイラーは0.4MP a、最高使用圧力が0.2MP a を超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・ 24	真空式温水発生機				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 25	無圧式温水発生機				○	満水試験		30分	
・ 26	鑄鉄製温水発生機				○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MP a	10分	
・ 27	温水発生機に組込む熱交換器				○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MP a を加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 28	冷 凍 機				○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水系路
・ 29	遠 心 冷 凍 機				○	気密試験	真空95 k P a とし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50 P a 以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・ 30	吸収冷凍機 直だし吸収冷水機 小形直だし吸収冷水機ユニット				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MP a	10分	
・ 32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍 (ただし、最小0.5MP a)		
・ 33	貯 湯 タ ン ク 熱 交 換 器 ヘ ッ ダ ー				据 付 完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 $P a = P \times \sigma n / \sigma a$ $P a$: 補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P : 補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σn : 試験時の温度における材料の許容引張応力 σa : 使用温度における材料の許容引張応力		
・ 34	密閉形隔膜式膨張タンク				据 付 完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・ 35	地下オイルタンク				据 付 完了後	水圧試験	70 k P a 以上	10分	

2. 浄化槽設備

項 目		配管 途 中	試 験 時 期			試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
			隠 べい 前	埋 戻し 前	配管 終了後				
・ 1	槽 類				工 事 完了後	満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
・ 2	汚水管及び汚泥管	○		○		満水試験		30分	
・ 3	ポ ン プ 吐 出 管			○	○	水圧試験	最小圧力0.75MP a	60分	
・ 4	消 泡 管	○		○	○	通水試験			
・ 5	空 気 管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

3. ガス設備

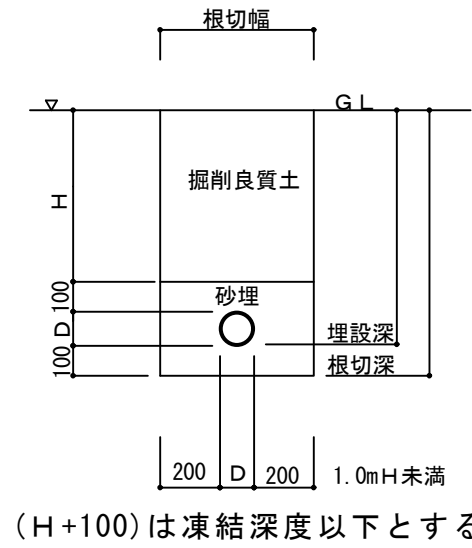
項 目		配管 途 中	試 験 時 期			試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
			隠 べい 前	埋 戻し 前	配管 終了後				
・ 1	都 市 ガ ス	○	○	○	○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款
・ 2	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、 高圧側1.56MP a、低圧側8.4 k P a 以上10.0 k P a 以下	供給管等の内容積	
								10L以下	
								10L～50L	
								50L超過	
						点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付後に行う。		



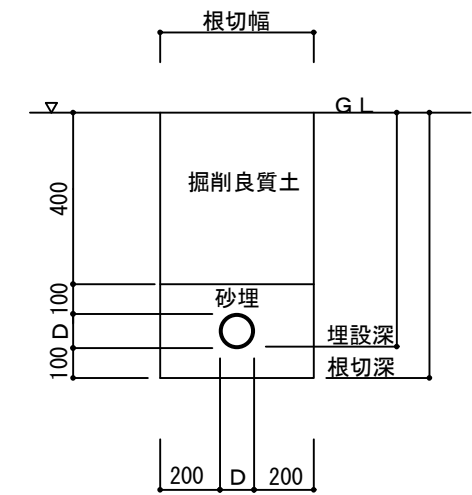
配置図 Sc=1/600

凡 例 表				
記 号	名 称	材 質	仕 様	備 考
—————	給 水 管	水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管	J W W A K 1 1 6 S G P ・ V B	管 端 防 蝕 継 手 使 用
————— P P	給 水 管	水道用ポリエチレン1種二層管	J I S K 6 7 6 2	金 属 継 手 使 用
—————┐	汚 水 管	排水用硬質塩化ビニール管	J I S K 6 7 4 1 (V P 一 般 管)	
—————	雑 排 水 管	排水用硬質塩化ビニール管	J I S K 6 7 4 1 (V P 一 般 管)	
-----	通 気 管	排水用硬質塩化ビニール管	J I S K 6 7 4 1 (V P 一 般 管)	
————— V U	屋 外 排 水 管	排水用硬質塩化ビニール管	J I S K 6 7 4 1 (V U)	
⊘	給 水 栓			
⊗	床 排 水 金 物		T 3 A	
⓪	床 上 掃 除 口		C O A	
-----┐	通 気 金 物	S U S 製		
—————✕—————	仕 切 弁	5 0 以 下 青 銅 ・ 6 5 以 上 鑄 鉄	J I S 1 0 K ・ J I S 5 K	給水管に使用する65A以上のバルブはナイロンコート製とする
◎	汚 水 桝	小 口 径 塩 ビ 桝	インパート桝	
○	雨 水 桝	小 口 径 塩 ビ 桝	た め 桝	

【埋設配管要領図】

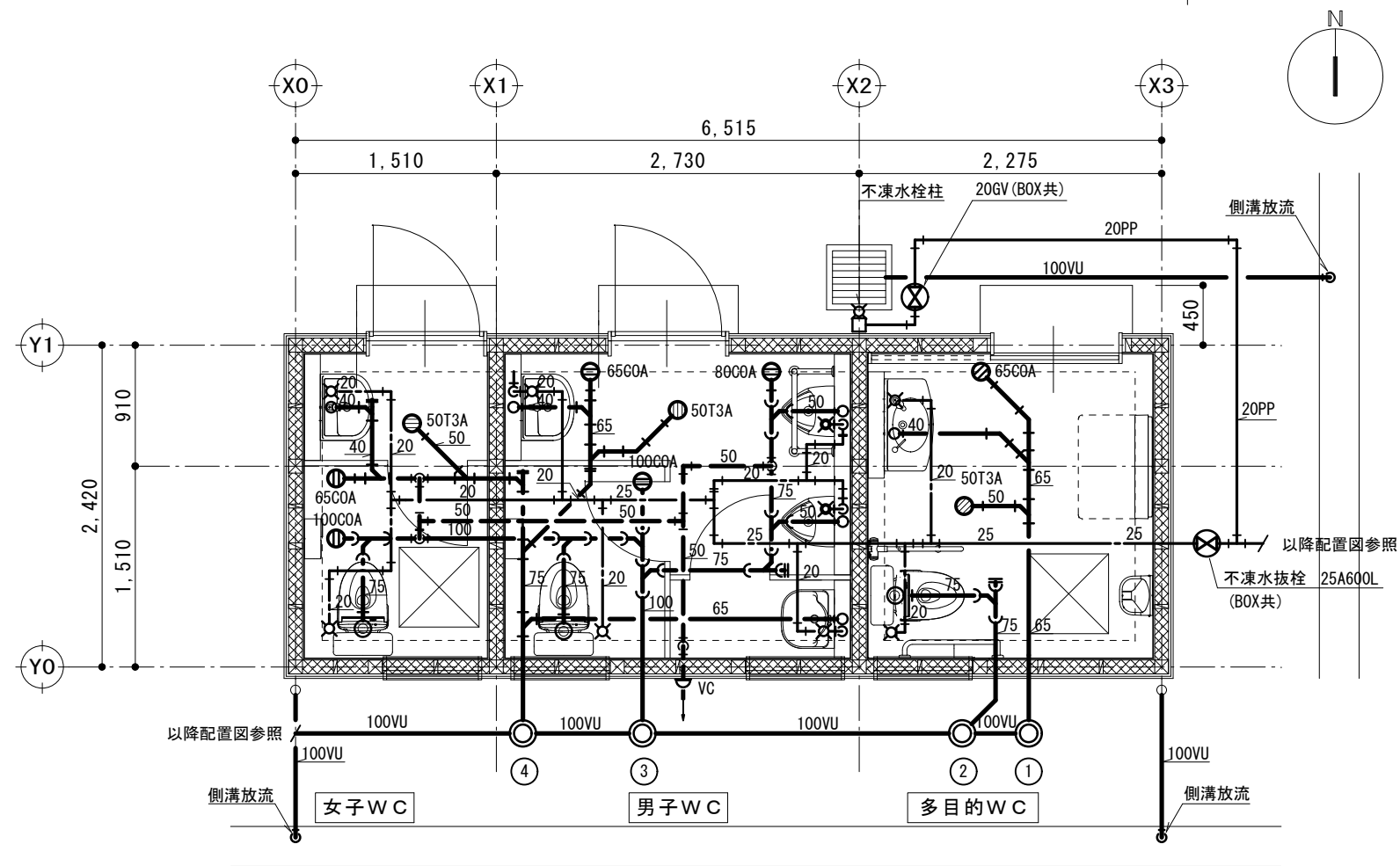


埋設排水管

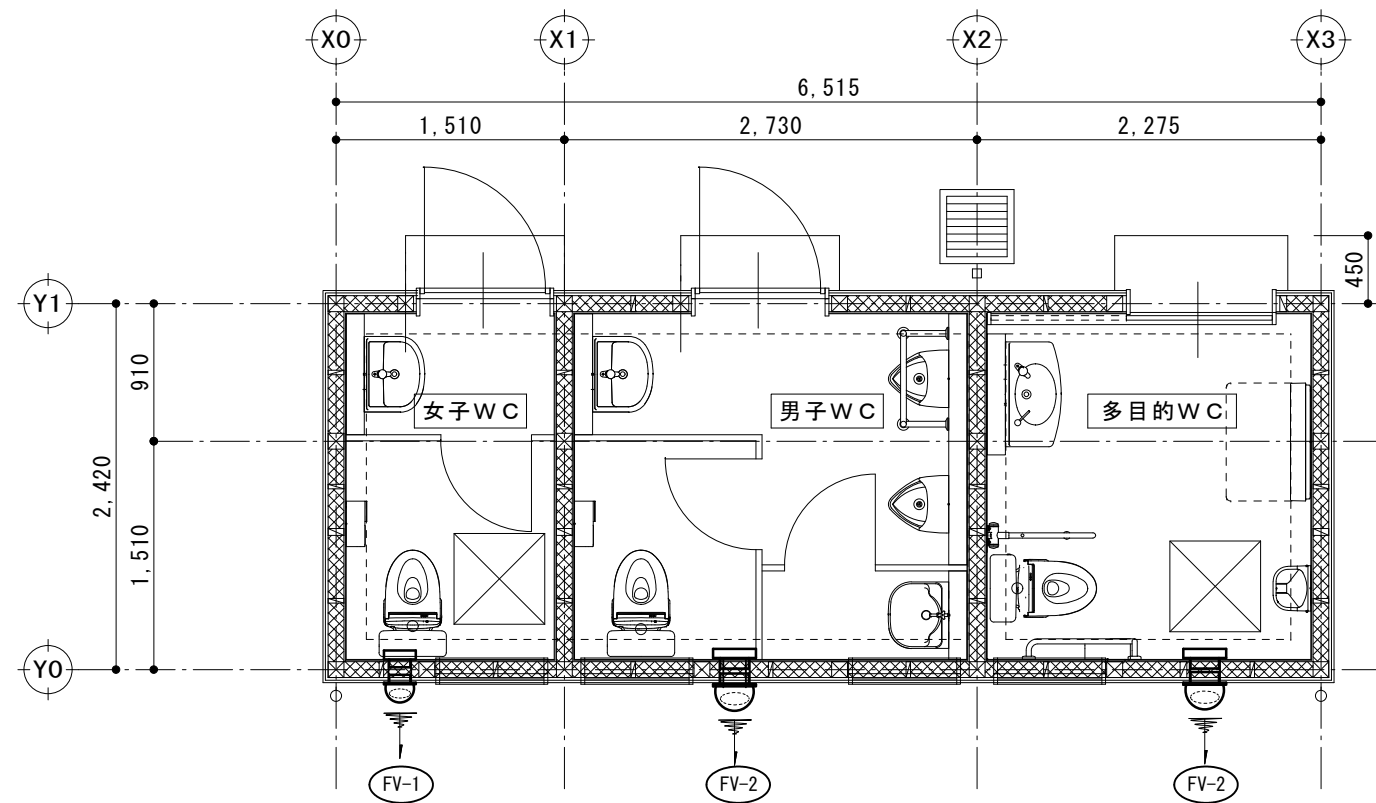


埋設給水管

衛 生 器 具 表・機 器 表							
名 称	仕 様	部屋名 備考	女 子	男 子	多 目 的	外	合
			W C	W C	W C	部	計
洋風便器（C1200S）	洗浄便座一体型(流動式)、リモコン温水洗浄便座、蓋固定、掃除口付、便座蓋なし		1	1			2
	2連式SUSタイプ紙巻器、その他標準付属品共						
多目的用便器（C111R）	床置床排水大便器（高座面式）流動式、リモコン温水洗浄便座蓋固定、掃除口付、便座蓋なし				1		1
	2連式SUSタイプ紙巻器、その他標準付属品共						
手すり	樹脂被覆 固定式P型、L=700 その他標準付属品共				1		1
手すり	樹脂被覆 L型、L=700 その他標準付属品共				1		1
洗面器（L410）	壁掛け袖付洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共				1		1
小 便 器（U520）	壁掛小便器 +FV その他標準付属品共			2			2
手すり	小便器用 SK-203S同等品、630×300×1200H その他標準付属品共			1			1
洗 面 器（L420）	壁掛洗面器 自閉式水栓 その他標準付属品共		1	1			2
化 粧 鏡	盗難防止型 600×800 その他標準付属品共		1	1	1		3
マ ル チ シ ン ク	小型 SK500(同等品) 固定金具、横水栓(レバー式)、排水金物共 その他標準付属品共			1			1
ベビーチェアー	YKA15S(同等品) その他標準付属品共				1		1
ベビーシート	YKA25S(同等品) その他標準付属品共				1		1
不凍水栓柱	角型1200L、横水栓共					1	1



平面図 Sc=1/50



平面図 Sc=1/50

【樹リスト】										
樹番号	サイズ	仕様	蓋	樹深度 GL	基準深度 BL	設置地盤高 EL	配管口径 (A)	樹間距離 (m)	勾配 (%)	備考
1	100-200	90L	樹脂蓋	650 H	-0.650	0.000				
2	100-200	90Y	樹脂蓋	670 H	-0.663	0.000	100	0.50	2.0	(2.60)
3	100-200	90Y	樹脂蓋	720 H	-0.714	0.000	100	2.40	2.0	(2.13)
4	100-200	90Y	樹脂蓋	740 H	-0.735	0.000	100	0.90	2.0	(2.33)
5	100-200	90Y	樹脂蓋	980 H	-0.978	0.000	100	12.00	2.0	(2.03)
6	100-200	ST	樹脂蓋	1,060 H	-1.059	0.000	100	3.90	2.0	(2.08)
公設樹				1,090 H	-1.082	0.000	100	1.00	2.0	(2.30)

機 器 番 号	機 器 名 称	台 数	仕 様	動 力			備 考
				相	電 圧	容 量	
FV-1	排気ファン	1	パイプ用ファン 150φ×100CMH×10Pa 付属品： SUS製パイプフード(防鳥アミ付)	1	100	0.0086	女子WC
FV-2	排気ファン	2	パイプ用ファン 200φ×175CMH×10Pa 付属品： SUS製パイプフード(防鳥アミ付)	1	100	0.0085	男子WC 多目的WC